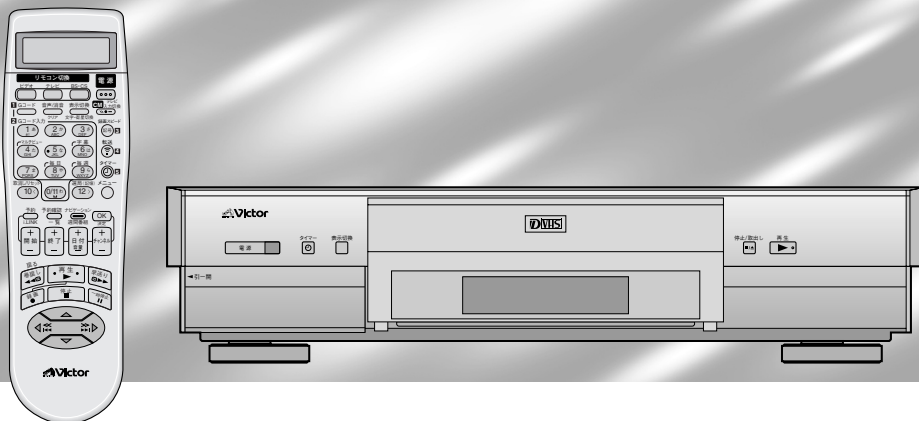
デジタルハイビジョンビデオ

型名 **HM-DH30000**

D-VHS MTP/NTSC i.S-VHS BS Hi-Fi

Super VHS ET Gコード® DOLBY DIGITAL

DIGITAL Hi-Vision Video

HM-DH30000

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(4〜9ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LPT0468-001C

主な特長

＊ Gコード（またはG-CODE）は、ジェムスター社の登録商標です。
Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

D-VHSとは？

D-VHSテープを使った新規格のデジタルメモリーシステムです。デジタル動画など大量な情報を記録しなければならないマルチメディア用メモリーとして開発されました。

D-VHSの特長

1. 他のデジタルメディアとは桁違いの大容量
   テープメディアの特性を活かし、44GBから50GBと、ディスク系記録メディアの10倍もの容量を低コストで実現。
2. 先端IT技術を活かしての高画質HSモード
   DVDの3～4倍の高ビットレート=28.2Mbpsで最大3.5～4時間記録可能。
3. 高密度記録を活かしての高画質長時間STDモード
   DVDの1.5～2倍の高ビットレート=14.1Mbpsで最大7～8時間記録可能。
4. 大容量を活かしての長時間LS3モード
   S-VHS程度の高画質のビットレート=4.7Mbpsなら、最大21～24時間記録可能。
5. 現行VHS、S-VHSとの上位互換性
   高性能S-VHSとして従来のソフト資産を再生、アナログソースをS-VHS/VHSテープに記録可能。
6. ビットストリーム記録方式
   デジタル放送のビットストリームを、HD映像・マルチ映像・マルチチャンネル音声・付加データまで、そのまま記録可能。
   MPEG2エンコーダー／デコーダー内蔵により、アナログ放送・ソフトもデジタル化してビットストリーム記録。

著作権保護技術について

この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては、許可を受けています。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。
　私的録画補償金の問い合わせ先
　〒107-0052
　東京都港区赤坂5丁目3番6号　赤坂メディアビル
　社団法人　私的録画補償金管理協会
　　TEL 03-3560-3107（代）
　　FAX 03-5570-2560
なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

もくじ

最初にお読みください

設置と接続をするときは

ビデオを見る／録画する

録画を予約する

BS デジタルを録画する／見る

便利な機能

その他

安全上のご注意

ご使用の前にお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

●注意(警告を含む)が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

●してはいけない行為(禁止行為)を示す記号

禁止

水場での使用禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為(強制、指示行為)を示す記号

一般的指示

プラグをコンセントから抜く

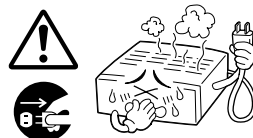
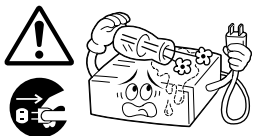
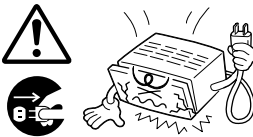
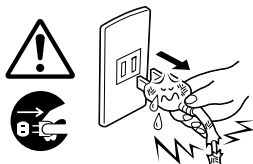
お断り

- ビデオ本体やリモコンなどのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。
- この「安全上のご注意」には、本製品に該当しない内容も記載されています。

⚠警告

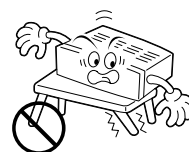
万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

■ 火災や感電の原因となります。

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。

- 内部に水や物が入ってしまったとき。

- 落としたり、キャビネットが破損したとき。

- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。

■ **このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、販売店に修理を依頼してください。**

■ **お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。**

不安定な場所に置かない

■ ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

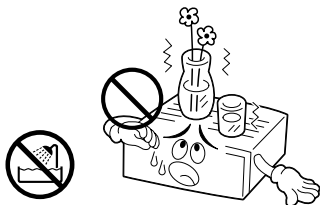
■ 火災や感電の原因となります。

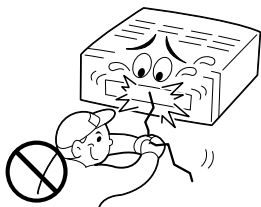
⚠警告

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

■ 頭からかぶると窒息の原因となります。

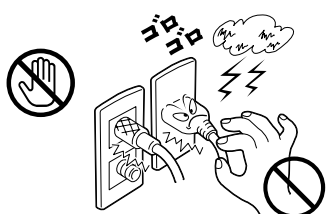
この機器の上に水の入ったもの(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かない

■ 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

内部に物を入れない

■ 通風孔やカセット出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

ぬらさない

■ 火災や感電の原因となります。
■ 風呂場では使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグにはふれない

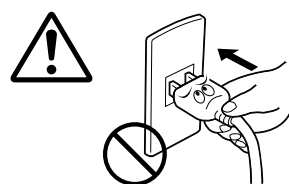
■ 感電の原因となります。

電源プラグは、すぐに抜ける場所にあるコンセントに差しこむ

■ 本機に異常が発生したときに、電源プラグをコンセントからすぐ抜けるようにしてください。

この機器の(カバー、キャビネット)は外したり、改造しない

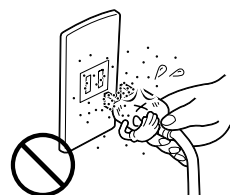
■ 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店に依頼してください。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。

電源コードを傷つけない

■ 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- 電源コードを熱器具に近づけない。

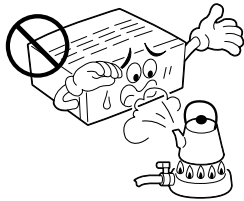
電源プラグの電極、およびコンセントにほこりや金属を付着したまま使用しない

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。

この機器の電源コンセント(ACアウトレット)に、(ヒーター、ドライヤーや電磁調理器)などの消費電力の大きい機器をつながない
[電源コンセント(ACアウトレット)付機種]

■ 接続する機器の消費電力が、本体の電源コンセントに表示されている電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。

安全上のご注意(つづき)

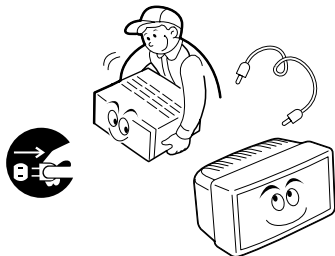
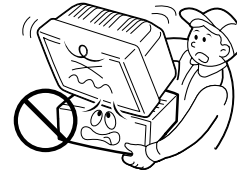
⚠注意

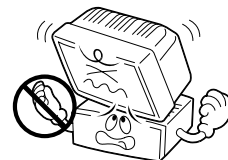
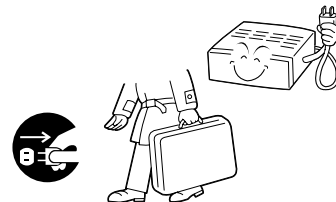
次のような所には置かない
■ 火災や感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う
■ 指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。

通風孔をふさがない
■ 通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

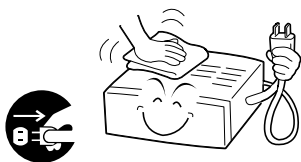
次のことに注意してください。
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
- じゅうたんや布団などの上に置かない。
- テーブルクロスなどを掛けない。
- 横倒し、逆さま(あおむけ)にしない。

■ 通風孔を塞いだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。

移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす
■ 接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
■ カセットテープも取り出しておいてください。

この機器の上に他の機器を載せたまま移動しない
■ 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

カセットの出し入れ口に手を入れない
■ 手をはさまれて、けがの原因となることがあります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

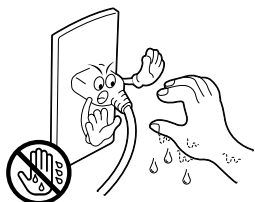
この機器の上に重い物を置いたり、乗ったりしない
■ テレビなどの重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。
また、重みでカバー(キャビネット)が変形して、内部の部品が破損・故障し、火災や感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く

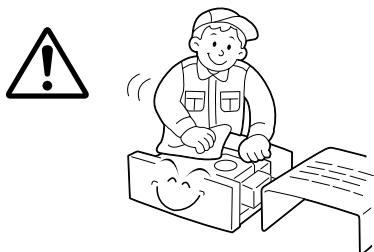
■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

■ 電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。

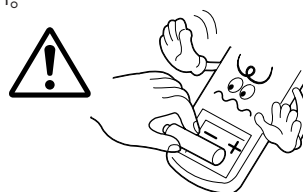
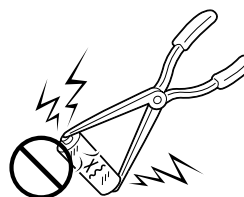
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

■ 感電の原因となることがあります。

1年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

■ 内部にホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。

■ 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

電池の安全上のご注意

取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災、けがや周囲を汚す原因となりますので、次のことをお守りください。

- 電池はプラス(＋)とマイナス(－)の表示通り入れる。
- 指定以外の電池を使用しない。
- 種類の異なる電池や新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使わない。

- 電池(電池ケース)のプラス(＋)、マイナス(－)をショートさせない
- 加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく

■ もし、液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふき取ってください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

きれいな画面でご覧いただくために

長い間ご使用になるうちにビデオヘッドが汚れて、再生しても映像や音声が出なくなることがあります。
このようなときは、別売のクリーニングテープでビデオヘッドをクリーニングしてください。

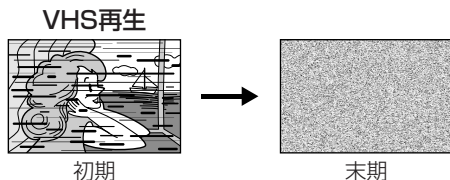
■ ビデオヘッドが汚れるとこんな症状になります

- 映像が不鮮明または映らない、音声が出ない。
- 映像がモザイク画(ブロック状のノイズ)になる。
- 映像に黒色やモザイク画の横しまが出る。
- 映像が止まる。(静止画になる)
- 灰色の画面になる。
- ザラザラした画面になる。(ＶＨＳ再生)

VHS再生

初期　　末期

D-VHS再生

ブロックノイズ　　静止画　　灰色の画面

■ D-VHS専用のクリーニングテープ(ビクターD-VHSビデオヘッドクリーナー TCL-DVS)を使ってビデオヘッドをクリーニングしてください

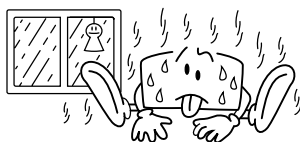
- 誤動作を防ぐために､ビデオナビゲーション機能を「切」にしてください。（☞105ページ参照）
- お使いになるときは、クリーニングテープの説明書をお読みください。

本機には、D-VHS専用のクリーニングテープ以外は使用しないでください。

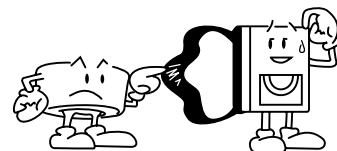
■ ビデオヘッドが汚れる原因は

- 高温、多湿なところで使う
- ほこりの多いところで使う
- 長時間使う
- 傷や汚れのあるテープを使う
- カビの生えたテープを使う
- 何度も使ったテープを使う

……などです。

● 高温･多湿(梅雨時期など)

● 空気中のほこり

● 長時間の使用など

● テープの傷､汚れなど

■ クリーニングテープを使っても鮮明な映像にならないときは

- ヘッドが磨耗している場合があります。お買い上げの販売店または、ビクターサービス窓口にご相談ください。
- ＶＨＳ再生では、トラッキングがずれているときでもザラザラした画面になることがあります。こんなときは、トラッキングを手動で調節してください。

■ 定期点検を行ってください

- 長い間ご使用になるうちに、機械部分が汚れたり磨耗したりします。
  性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ1000時間の使用をめどに点検整備をされることをおすすめいたします。

大切な録画の前に

■ テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
■ 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画·録音されていることを確かめてください。
■ 万一、本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画·録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

大切な記録を消さないために

■ 大切な録画済みテープは、誤消去を防ぐため、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。
■ ふたたび録画するときは、セロハンテープを二重に貼ってください。

つゆつきにご注意

■ **つゆつきとは**
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき」(または結露)といいます。
■ **つゆつきが発生すると**
ビデオ内部のヘッドドラムに水滴が付き、それにテープが貼り付いて、テープやビデオを傷めてしまいます。
■ **次のようなときにつゆつきになりやすい**ので、ご注意ください。
- ビデオを、寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- 急に部屋を暖房したとき
- エアコンなどの冷風が直接当たるところ
- 湿気の多いところ

■ **つゆつきになりそうなときは、**あらかじめビデオの電源を入れておくと、内部の熱で発生しにくくなります。
■ 再生ができないなどの症状が出たら、つゆつきの可能性があります。ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

ビデオ使用中は

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近付けないでください。映像·音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりするおそれがあります。

長期間ご使用にならないときは

長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、動作させてください。

キャビネットのお手入れは

■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げてください。ご使用の際は、その注意書にしたがってください。
■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
■ 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

アンテナは

■ 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
■ 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
■ アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。
■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

ビデオカセットテープは

■ ビデオカセットは D VHS 、S VHS、VHSタイプをお使いください。
■ 録画済みテープに新しく録画するときは、前に録画されたものは消されます。
■ ビデオカセットテープは、裏返しでは使えません。
■ ビデオカセットテープのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることはしないでください。
■ テープを走行させないで、何度も出し入れしないでください。テープに傷を付けることがあります。
■ 使用後は、テープを始めまで巻き戻しておいてください。

ビデオカセットテープの保管は

■ 次のような所はさけて保管してください。
- 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
- 直射日光が当たるところやストーブの近く
- 磁気の発生するところ

■ 落としたり衝撃を与えないでください。
■ テープの巻き取りにむらがあるとテープを傷めます。きれいに巻き直してください。
■ ケースに入れて、立てて保管してください。

BSデジタル放送について

BS デジタル放送の特長

ＢＳデジタル放送の特長は、４つあります。

1. 高画質

デジタルハイビジョン放送は従来の標準放送（525本）に比べて走査線の数が1125本と多いため、きめの細かい高画質の画像をお楽しみいただけます。
本機ではBSデジタルハイビジョン放送に対応したHSモードで、高画質をそのままのクオリティーで録画できます。

2. 高音質

放送方式は、従来のハイビジョン放送（3.1ch）からさらに高音質で立体サラウンドの5.1chに変わりました。
本機にAAC 5.1ch対応のアンプとスピーカー（6本）を接続することにより最新の映画を劇場さながらの臨場感あふれるサウンドでお楽しみいただけます。

3. 高機能

各放送局からの多彩なデーターサービスを受けることができるデーター放送をご覧いただけます。ハイビジョン放送などを受信中にBSチューナーリモコンのデータボタン（dボタン）を押すとデーター放送のメニュー画面が表示されます。（右図参照）見たい放送局を選び決定ボタンを押すと各社のデーター放送画面からサービスを受けることができます。
番組内容に関連する解説や料理のレシピ等をお楽しみいただけます。

データー放送の画面イメージ

4. 多チャンネル

BSデジタル放送では、デジタル技術の進歩により情報をコンパクトにして送ることができるようになりました。
従来のBS放送に比べてデジタルハイビジョン（HD）の放送を７チャンネル、標準画質（SD）の放送を３チャンネル放送します。
テレビ放送だけでも、合計10チャンネルの放送となりました。

BSデジタル放送チャンネル一覧

（網掛け）: デジタルハイビジョン

チャンネル	放送局
1	NHKデジタルBS-1
2	NHKデジタルBS-2
3	NHKデジタルハイビジョン
4	BS日テレ
5	BS朝日
6	BS-i
7	BSジャパン
8	BSフジ
9	デジタルWOWOW
10	スターチャンネル
デジタル音声放送	―
データ放送	―

（2000年12月現在）

BS デジタル放送とは

BS デジタル放送にはいくつかの放送があります。

マルチプログラム（ ）

BS デジタル放送でチャンネルを複数に分割して、独立した標準テレビ放送（SD）として放送するサービスです。
本機では、D-VHS モードで再生時、テレビ画面にマルチプログラムアイコンが表示されてリモコンのチャンネル＋／－ボタンで番組を切り換えることができます。

	A放送局		
	○○○ ch	□□□ ch	○△□ ch
7時	サッカー中継（デジタルハイビジョン放送）		
8時	サッカー中継（標準テレビ放送）	ニュース（標準テレビ放送）	アニメ（標準テレビ放送）
9時	ドラマ（デジタルハイビジョン放送）		

マルチビュー（ ）

BS デジタル放送で複数の画面（ビュー）を標準テレビ放送（SD）として同時に放送するサービスです。
特に、スポーツ中継などアングルを変えて見たいときに便利です。
本機では、D-VHS モードで再生時､テレビ画面にマルチビューアイコンが表示されてリモコンのマルチビュー[4]ボタンで番組を切り換えることができます。

臨時編成サービス

野球中継などが延長になったときに、引き続き標準テレビ放送（SD）で放送するサービスです。
野球の後に放送される映画等もデジタルハイビジョン（低レート）で定刻に見ることができます。臨時編成チャンネルへは、視聴者が切り換えます。
野球中継が終わると、自動的に元のチャンネルに戻ります。

降雨対応放送

激しい雨による映像・音声の遮断を軽減するために、通常の放送に加えて、降雨に強い方式で同じ番組を並行して送ります。BS チューナーは受信状態を判断して自動（または手動）で降雨対応画面（静止画や粗い動画）への切り換えを行ないます。
また、降雨時用信号を「マルチビュー」の一画面を用いて送られることがあれば、HS モードなら通常放送と同時に記録し、再生時に状態の良い方を選ぶことも可能です。

設置と準備の進めかた

自分で本機の接続を行うときは、次の順序に従ってください。

付属品を確かめる
☞13ページ

本機のリモコンで操作するテレビのメーカーを設定する
☞31ページ

● 他メーカー製のテレビを使いたいときや、2台以上のビクター製のビデオデッキ、BS/CSチューナーを使いたいときに、設定が必要になります。

アンテナとテレビをつなぐ
☞34、40ページ

● BS放送を受信するには、BSアンテナ（別売）が必要になります。

受信チャンネルを設定する
（必ず設定してください）
☞43ページ

● 通常は「一括チャンネル合わせ」を行えば、それでチャンネル設定は終了です。
● 必要ならば、「受信チャンネル合わせ」を個々のチャンネルに対して行います。(☞50ページ)

ガイドチャンネルを設定する
☞58ページ

● 「一括チャンネル合わせ」だけでチャンネル設定を行ったときは、必要ありません。

日付と時刻を設定する
☞61ページ

以上で設置と準備が終わりました。

この取扱説明書の見かた

■「リモコン」または「本体」のどちらのボタンで操作できるかイラストでお知らせしています。
リモコンまたは本体のどちらのボタンでも操作できるときは、リモコンのボタンを使って説明していますが、本体にある同じマークや名前のボタンでも、同様の操作ができます。

リモコンで操作できます。

本体で操作できます。

■操作手順の中のボタン名称については[ ]で囲って表示しています。
例　メニューボタン→[メニュー]

■「D-VHS記録」または「S-VHS/VHS記録」のどちらのテープで操作できるかイラストでお知らせしています。

D-VHS 記録したテープで操作できます。

S-VHS/VHS 記録したテープで操作できます。

■本文中の記号の見方

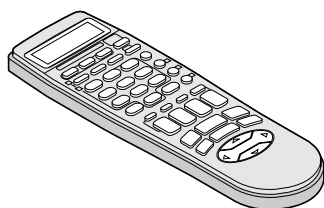
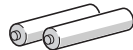
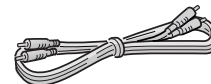
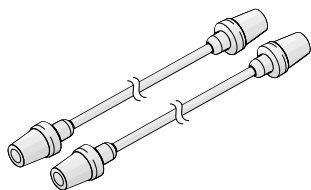
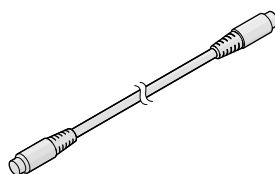
操作上の注意などが書かれています。

機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

参照ページや参照項目を示しています。

キーポイントやテクニックをまとめて説明しています。

付属品を確かめる

箱を開け、次の付属品がそろっているかを確かめてください。

乾電池の入れかた

リモコンに乾電池を入れるときには、⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。

乾電池交換の目安は

リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

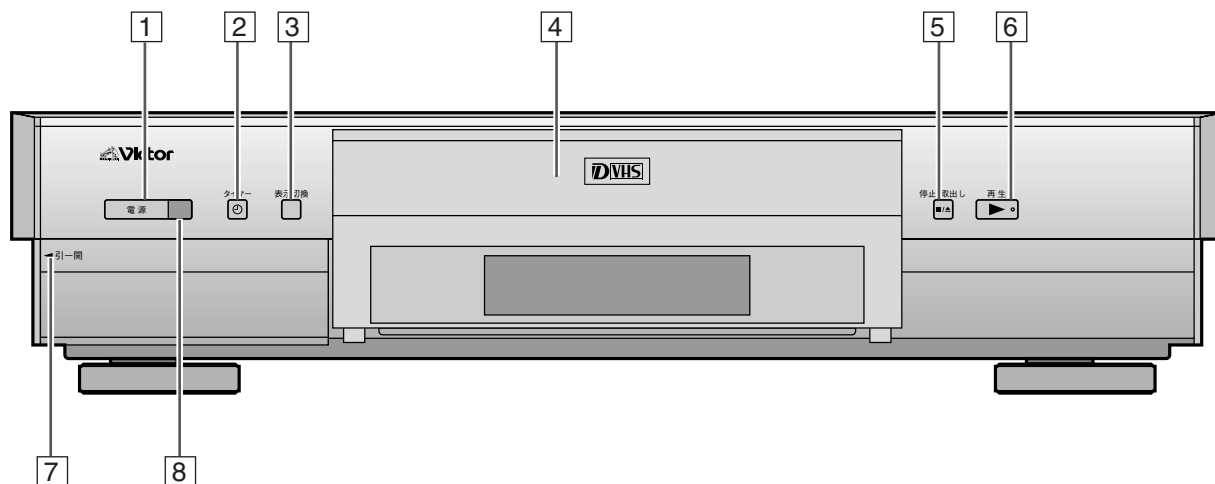
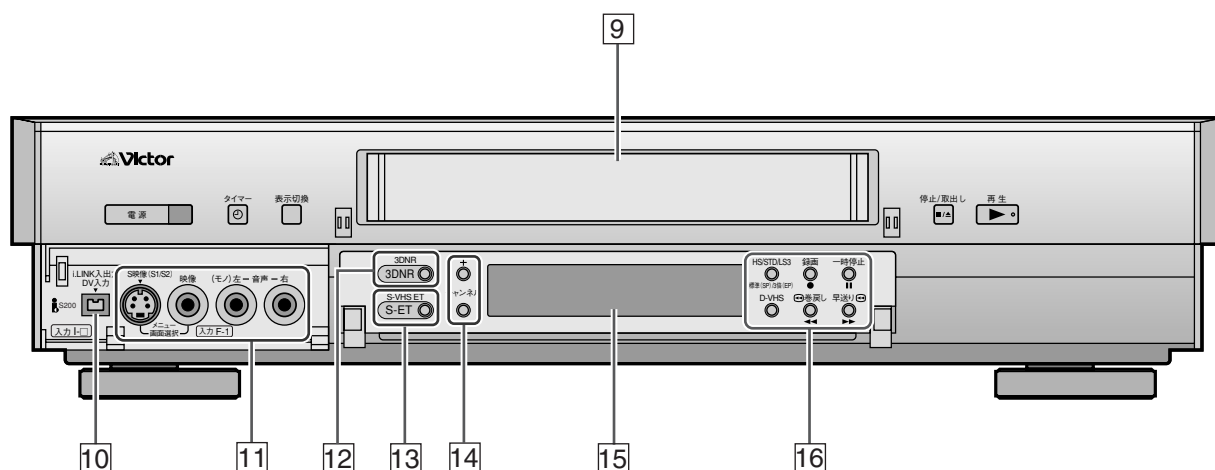
乾電池についてのご注意

- 付属の乾電池は動作確認用です。
- 長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を抜き、しばらくしてから再度乾電池を入れ、操作してください。

乾電池を交換するときは

- 単３乾電池をご使用ください。
- ２本とも新しいものと交換してください(使用済みのものを混ぜないでください)。
- 乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- 乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
- 交換後、テレビの操作ができないときは、リモコンの設定をやり直してください（☞31 ページ）。

各部の名称

（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

1 **電源ボタン**
電源を入／切します。

2 **タイマー（⏲）ボタン**（☞69, 71 ページ）
録画予約を設定／解除します。

3 **表示切換ボタン**（☞65 ページ）
テープ残量や時計表示などを切り換えます。

4 **正面扉**
手前に引いて開きます。

5 **停止／取出し（■／⏏）ボタン**
再生や録画を止めたいときに押します。
停止中に押すとテープを取り出すことができます。

6 **再生（▶）ボタン**（☞63 ページ）
テープの再生を始めます。

7 **前面端子扉**
手前に引いて開きます。

8 **リモコン受光部**

9 **テープ出し入れ口**

10 **i.LINK 端子**（☞76, 118, 127 ページ）
別売のi.LINKコード（S200以上）をBSデジタルチューナーやデジタルCS チューナーとつなぎます。また、D-VHSテープにデジタルダビングするときやデジタルビデオカメラからダビングするときに使用します。

- **「S200」の表記について**
i.LINK 対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINK 端子の周辺に表記されています。i.LINKの最大データ転送速度は、約100／200／400 Mbps* が定義されており、それぞれS100、S200、S400 と表記されます。最大データ転送速度が異なる機器を接続した場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。
*Mbps とは
「Mega bits per second」の略で、「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。200 Mbps ならば、1 秒間に 200 メガビットのデータを送ることができます。

11 **映像／音声入力端子**
ビデオカメラなどからダビングしたいときに使います。

12 **3DNR ボタン／ランプ**（☞108 ページ）
S-VHS／VHS モードで３次元のNR（ノイズ低減回路）を働かせるときに「入」にします。

13 **S-VHS ET ボタン**（☞113 ページ）
VHSテープにS-VHSの画像で記録するときに押します。
S-ET ランプ（☞113 ページ）
S-VHS ET ボタンを押したときなどに点灯します。

14 **チャンネル／トラッキングボタン**
（☞66、111 ページ）
チャンネル切換、トラッキング調節などを行うときにお使いください。

15 **本体表示窓**
ビデオの操作状態を表示します。

16 **テープ操作ボタン**

HS／STD／LS3／標準(SP)／3倍(EP)ボタン
（☞66 ページ）
録画スピードを切り換えるときに使います。

D-VHS ボタン（☞62 ページ）
D-VHS テープに S-VHS ／ VHS 記録するときに押します。
再度押すと、D-VHS モードになります。

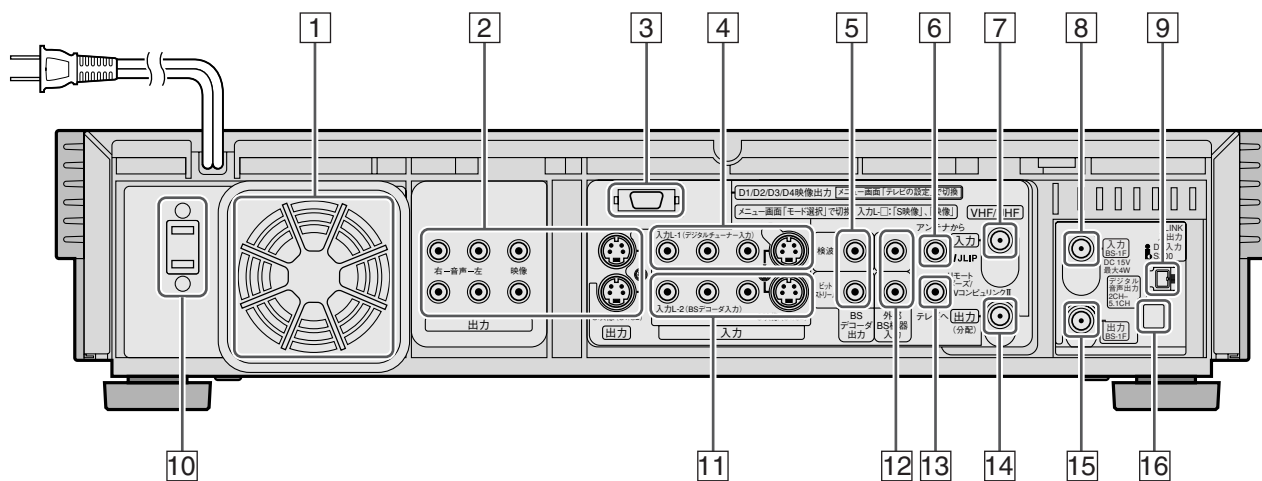
録画（●）ボタン（☞66 ページ）
録画を始めます。
録画中に繰り返し押すと、録画時間を30分単位で設定できます。

一時停止（⏸）ボタン（☞64、108 ページ）
再生中や録画中に押すと、一時停止します。
再生一時停止中に、繰り返し押すと、コマ送り再生ができます。

巻戻し（◀◀）ボタン（☞63、64 ページ）
再生中に押すと、映像を見ながら巻戻しができます。
停止中はテープを巻戻します。

早送り（▶▶）ボタン（☞63、64 ページ）
再生中に押すと、映像を見ながら早送りができます。
停止中は、テープを早送りします。

（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

本体背面

1 **ファン**
- 内部の温度上昇を防ぐものです。
  取り外さないでください。
- ファンの周りをふさがないように設置してください。

2 **S映像、映像/音声出力端子**（☞40、117ページ）
テレビ（または他のAV機器）の映像/音声入力端子とつなぎます。

3 **D1／D2／D3／D4映像出力端子**（☞40ページ）
デジタル放送の1125iまたは750pに対応したコンポーネント（色差出力）端子です。デジタル放送に対応したD1～D4端子入力付きのテレビと別売のコンポーネントビデオコードで接続することにより、高解像度で豊かな色彩の画像をご覧になれます。
- 本機の音声出力端子とテレビを音声コードで接続してください。D端子だけの接続では、音声はテレビから出力されません。
- 本機とテレビの接続方法を「メニュー ー モード選択ー入出力設定」画面で設定してください。（☞41ページ）

4 **入力L-1端子（デジタルチューナー入力）**
（☞76、127ページ）
i.LINK対応のBSデジタルチューナーやデジタルCSチューナーなどのS映像（または映像）/音声出力端子とつなぎます。
通常の入力端子としても使えます。
S映像と映像の入力切換は「メニュー ー モード選択ー入出力設定」画面で設定してください。（☞26、28ページ）

5 **BSデコーダ出力端子**
検波出力端子： BSデコーダーの検波入力端子とつなぎます。（☞120ページ）
ビットストリーム出力端子：
BSデコーダーのビットストリーム入力端子とつなぎます。（☞120ページ）

6 **JLIP端子**
JLIP端子付きのビクター製ビデオデッキHR-X7などを接続します。詳しい説明は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

7 **アンテナ入力端子（☞34ページ）**
VHF/UHFアンテナをつなぎます。

8 **BSアンテナ入力端子（☞36ページ）**
BSアンテナをつなぎます。

9 **i.LINK端子**（☞76、118、127ページ）
別売のi.LINKコードをBSデジタルチューナーやデジタルCSチューナーとつなぎます。また、デジタルビデオカメラからデジタルダビングするときにも使用します。

10 **コンセント**（☞120ページ）
BSデコーダーなどの電源コードをつなぎます。

11 **入力L-2端子**（☞116、120ページ）
BSデコーダーなどを接続します。
通常の入力端子として使用するときは、S映像と映像の入力切換を「メニュー ー モード選択ー入出力設定」画面で設定してください。（☞26、28ページ）

12 **外部BS機器入力端子**
検波入力端子： BS内蔵テレビなどの検波出力端子とつなぎます。（☞120ページ）
ビットストリーム入力端子：
BS内蔵テレビなどのビットストリーム出力端子とつなぎます。（☞120ページ）

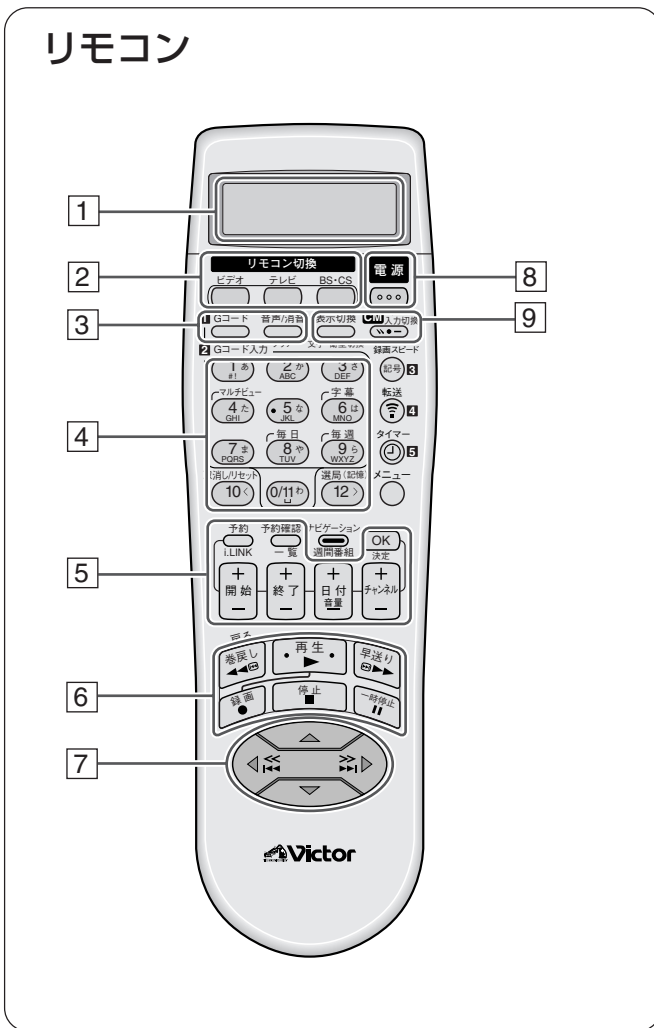
13 **リモートポーズ/AVコンピュリンクⅡ端子**
リモートポーズ端子（☞116ページ）
編集端子付きのビクター製ビデオカメラなどを接続します。詳しい説明は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
AVコンピュリンクⅡ端子（☞130ページ）
AVコンピュリンク端子付きのビクター製テレビ、オーディオシステムなどを接続します。詳しい説明は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

14 **アンテナ出力端子**（☞35ページ）
テレビのアンテナ入力端子とつなぎます。

15 **BSアンテナ出力端子（☞36ページ）**
BS内蔵テレビのBSアンテナ入力端子とつなぎます。

16 **デジタル音声出力端子**（☞131ページ）
AAC5.1チャンネル/ドルビーデジタル対応デコーダー/PCM入力を持ったアンプなどと接続します。

(☞ページ)の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

リモコン

1 **液晶表示窓**

通常は操作できる機器をVTR A (B、C、D)／TV／BS／CSで表示しています。Gコード予約をするときは、入力したGコード番号と録画スピード「HS-SP」「STD-SP」「LS3-EP」 を表示します。

2 **リモコン切換(ビデオ用／テレビ用／BS／CS用)ボタン**

- ビデオを操作するときは、ビデオボタンを押します。
- テレビを操作するときは、テレビボタンを押します。
- ビクターBS／CSチューナーを操作するときは、BS／CSボタンを押します。(☞32 ページ)

3 **Gコードボタン／音声消音ボタン**

Gコードボタン(☞68 ページ)

Gコードを入力するときに押します。

音声／消音ボタン(☞107 ページ)

- 聞きたい音声を選びます。
- 音声を消したいときに押します。

4 **チャンネル切換ボタン／メーカー指定ボタン／Gコード入力ボタン(0～9)／文字入力ボタン(1～12)**

- ビデオ、テレビ、BS／CSチューナーのチャンネルを切り換えます。
- お使いのテレビメーカーを指定して、本機のリモコンでテレビを操作できるようにします。(☞31 ページ)
- お使いのBS／CSチューナーのメーカーを指定して、本機のリモコンでBS／CSチューナーを操作できるようにします。(☞32 ページ)
- Gコードを入力するときに使います。(☞68 ページ)
- タイトルを入力するときに使います。(☞96 ページ)

5 **新・快速予約設定ボタン**

- 録画予約を設定します。(☞70 ページ)
- 音量ボタンでテレビ音量調節(+／−)をします。(☞31 ページ)
- チャンネル+／−ボタンでビデオチャンネルを切り換えます。(☞66 ページ)

予約ボタン(☞70 ページ)

録画予約を始めるときに使います。

予約確認ボタン(☞72 ページ)

録画予約を確認したいときに押します。

6 **テープ操作ボタン**(☞63, 66 ページ)

巻戻し(◀◀)、再生(▶)、早送り、(▶▶)、録画(●)、停止(■)、一時停止(❚❚)

- 巻戻し(戻る)ボタンは、タイトルを入力するときや、メニュー設定操作時に使用します。(☞26 ページ)

7 **メニュー選択△／▽／◁／▷ボタン**

- メニュー項目を選択します。(☞24、26 ページ)
- 頭出し再生(|◀◀／▶▶|)をします。(☞106ページ)
- 可変速再生(<<／>>)をします。(☞110ページ)

8 **電源ボタン**

リモコン切換で選択された機器の電源を入／切します。

9 **表示切換(衛星切換)／CMボタン**

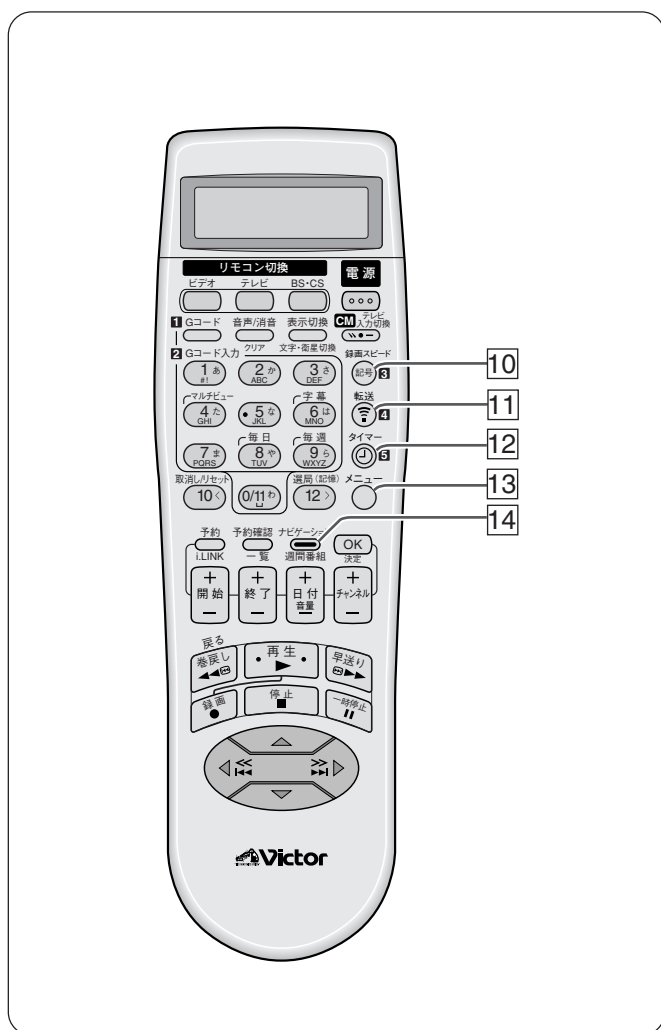
表示切換(衛星切換)ボタン

- 本体表示窓やテレビ画面のカウンター表示などを切り換えます。(☞65 ページ)
- 衛星A(パーフェクTVサービス!)と衛星B(スカイサービス)を切り換えます。(☞33 ページ)

CMボタン

CMスキップサーチ(☞108ページ)やオートCMカット(☞112ページ)に使います。

テレビ入力切換ボタン(☞31 ページ)

リモコン切換でテレビを選択したときに、テレビの入力を切り換えます。

10 **録画スピードボタン**（☞66 ページ）
- 録画スピードを切り換えるときに使います。

11 **転送ボタン**（☞68 ページ）
入力した G コードを本体に転送するときに押します。

12 **タイマーボタン**（☞69, 71 ページ）
録画予約を設定／解除します。

13 **メニューボタン**（☞24, 26 ページ）
メニューを表示したり、終了します。

14 **テレビ入力切換／週間番組／ナビゲーションボタン**
ナビゲーションボタン（☞87 ページ）
リモコン切換でビデオを選択したときに、録画した番組のタイトル画面が表示されます。
週間番組ボタン（☞33 ページ）
リモコン切換で CS を選択したときに、CS 放送の週間番組表を表示します。

リモコンの液晶表示について

本機のリモコンはビデオ／テレビ／BS/CS チューナーの操作ができ、液晶表示窓に操作できる機器(VTR/TV/BS/CS)が表示されます。お買い上げ時と、乾電池を交換したときには VTR A(A コード)になります。

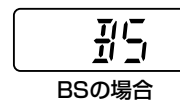
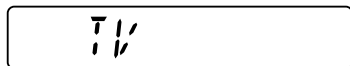
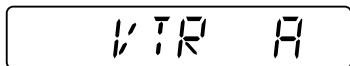
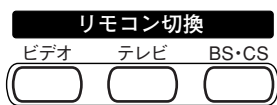
- ビデオの操作ができるとき (A コードのとき)

VTR A

- テレビの操作ができるとき

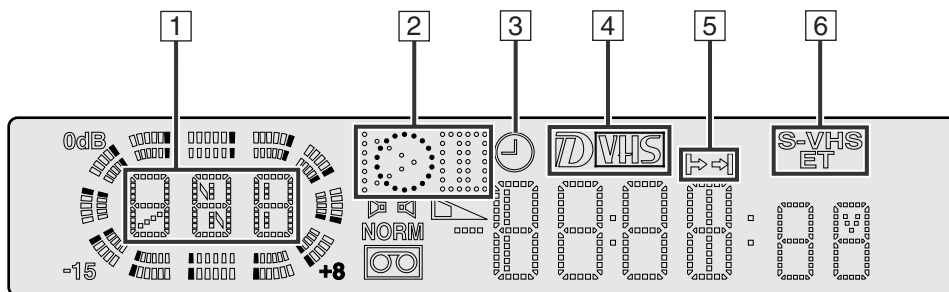
TV

- BS/CS デジタルチューナーの操作ができるとき

BSの場合　CSの場合

- 操作を切り換えたいとき

操作したい機器のボタンを押します。液晶表示窓の表示も変わります。

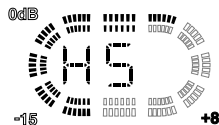
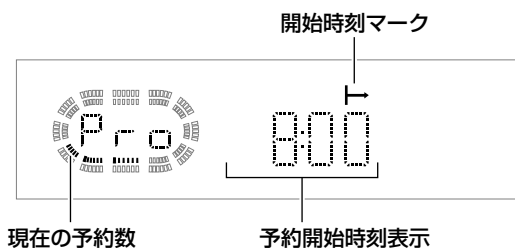
- 表示部に TV が表示されていても、次の操作は切り換えずに行うことができます。
  - ・**ビデオの基本操作**
    操作後 TV 表示に戻ります。
  - ・**タイマー予約**や **G コード予約**の操作
    テレビを操作するときには、TV に切り換えてから操作します。
  - ・**メニュー**を呼び出す操作
    テレビを操作するときには、TV に切り換えてから操作します。

(☞ ページ)の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

本体表示窓

1 **録画スピード/タイマープログラム表示**
楕円のトラック表示内に 3 文字以内で表示します。

録画スピード表示(☞66 ページ)
S-VHS/VHS モードのときに表示します。
SP :録画スピードが「SP(標準)」のときに表示します。
EP :録画スピードが「EP(3倍)」のときに表示します。

D-VHS モードのときに表示します。
Aut :録画スピードが「オート」のときに表示します。
HS :録画スピードが「HS」のときに表示します。
STD :録画スピードが「STD」のときに表示します。
LS3 :録画スピードが「LS3」のときに表示します。

例 HS モードを表示

タイマープログラム表示(☞70 ページ)
Pro :予約ボタンや予約確認ボタンを押したときに表示します。
Err :Gコードデーターのガイドチャンネルエラーのときに表示します。

2 **テープ走行表示**

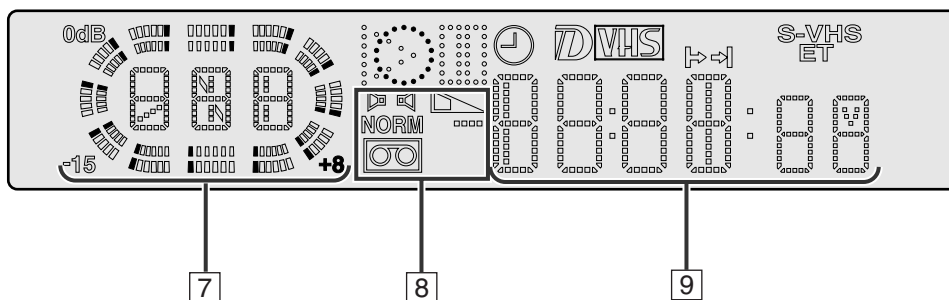
3 **タイマー(◷)表示**(☞69、71 ページ)
予約録画待機中のときに点灯します。

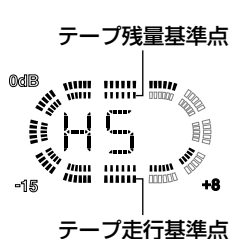
4 **D-VHS表示**(☞66 ページ)
D-VHS モードで記録ができるときに点灯します。

5 **開始終了時刻マーク**(☞68、70 ページ)
表示窓で録画予約の確認をしているときに、開始時刻がカウンターに表示されているときは「↦」、終了時刻が表示されているときは「⇥」を表示します。

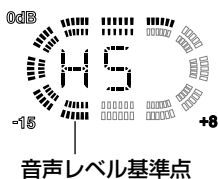
6 **S-VHS /ET 表示**(☞113 ページ)
S-VHS :S-VHSモードで記録ができるときに点灯します。
S-VHS ET :S-VHS ET モードで記録ができるときに点灯します。

（☞ページ）の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

本体表示窓

7 **ドライブガイド**（☞26、28 ページ）
メニュー画面の「モード選択ー機能設定ードライブガイド」を選び「テープ走行表示」または「音声レベル表示」のどちらかに切り換えます。

「テープ走行表示」の場合
内周：テープ残量表示　　外周：テープ走行表示

テープ残量は、**テープ残量基準点**の右側から時計回りに 1 つづつ消灯してゆきます。テープの始めでは内周が全て点灯します。

テープ走行は、**テープ走行基準点**から時計回りまたは反時計回りに 1 つづつ点灯または消灯を繰り返します。

「音声レベル表示」の場合
内周：右音声表示　　外周：左音声表示

音声レベル基準点

音声レベル表示は、**音声レベル基準点**から時計回りに 1 つづつ点灯してゆきます。最大は+8までの 10 段階表示です。

8 **音声表示／カセット表示／テープ残量**

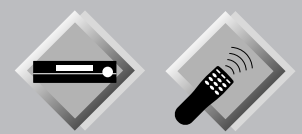
音声表示（☞107 ページ）
出力する音声を表示します。
：Hi-Fi 音声または D-VHS モードを選択中に点灯します。
NORM　：ノーマル音声を選択中または、再生中に点灯します。

カセット（ ）表示
本機にカセットが入っているときに点灯します。

テープ残量（ ）表示（☞65 ページ）
テープ残量が表示されているときに点灯します。

9 **カウンター / チャンネル / タイマー予約表示**
テープの走行時間、残量、時計、チャンネルやタイマー予約時の時刻などを表示します。
チャイルドロック動作時は、中央の「CL」が点灯します。

チャイルドロック
本機の電源を切るとき、リモコンの電源ボタンを約 10 秒間、押し続けるとチャイルドロックになり、本体のすべての操作ボタンが働かなくなります。（本体の表示部に「CL」が表示されます）ただし、リモコンのタイマーボタンのみ働きます。
解除するには、もう一度リモコンの電源ボタンを約 10 秒間押し続けて電源を入れてください。
予約録画待機中にチャイルドロックモードにするときは、予約設定したあとタイマーボタンを押す前に、チャイルドロックモードにしてください。

画面表示

画面に出る表示で動作を確認する

各操作ボタンを押すと、操作内容をテレビ画面に約5秒間表示します。
（モード選択画面のオンスクリーンが「オート」または「入」のとき）

受信チャンネルの音声
チャンネルを切り換えたときに、次のような表示をします。
Bモード：Bモード放送受信時
ステレオ：ステレオ放送受信時
主　：二カ国語放送受信時
（モード選択画面の二カ国語音声録音が「主」の場合）
主＊副：二カ国語放送受信時
（モード選択画面の二カ国語音声録音が「主＊副」の場合）

カテゴリー名（接続機器の種類）

i.LINK機器番号（接続順に割り付け）

ブランド名（接続機器の製造メーカー）

機種名

音声出力
左　右：ステレオ音声
左　　：左側の音声
左　右：右側の音声
ノーマル：ノーマル音声
ミックス：ミックス音声

テープの走行状態

映像フォーマット
［HD（高品位放送）／SD（標準放送）］

録画スピード
（HS／STD／LS3／標準／3倍）

カセットの有無

テープ走行の向き

番組の頭出し番号／頭出し信号の書込み
（「頭出し書き込み」表示が約2秒間点滅する）

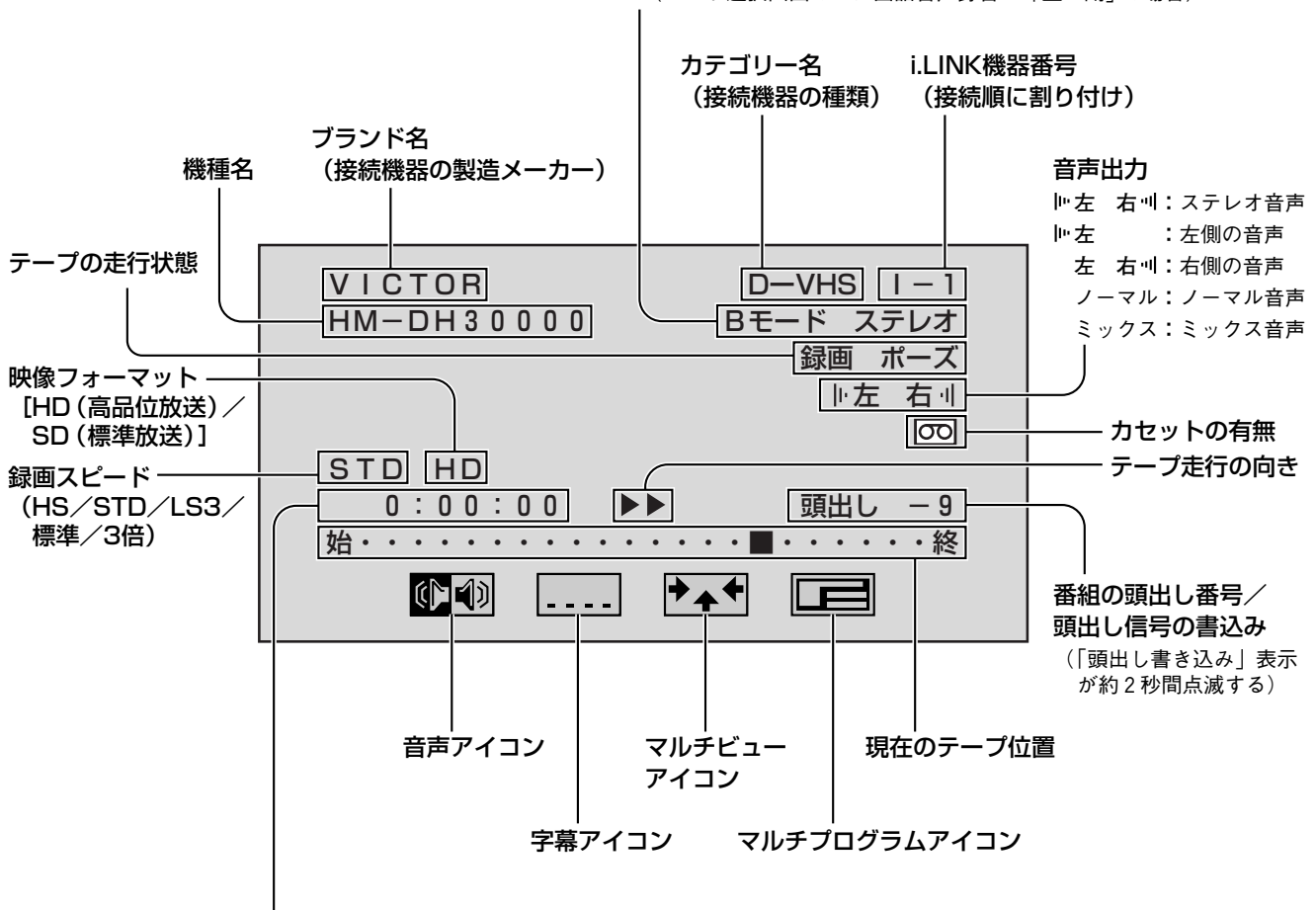
VICTOR
HM－DH30000
D―VHS　I－1
Bモード　ステレオ
録画　ポーズ
左　右
STD　HD
0：00：00　頭出し　－9
始・・・・・・・・・・・・・・・■・・・・・・・終

音声アイコン

マルチビューアイコン

現在のテープ位置

字幕アイコン

マルチプログラムアイコン

カウンター／テープ残量／時計／ワンタッチタイマーの録画時間

● カウンター
0：00：00

● テープ残量
標準
残量　1：35

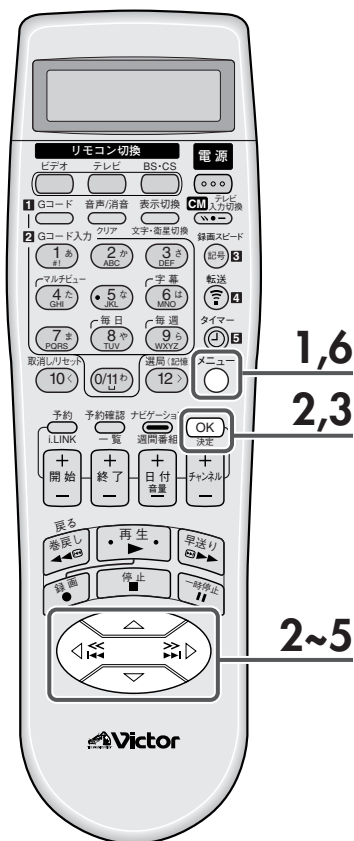
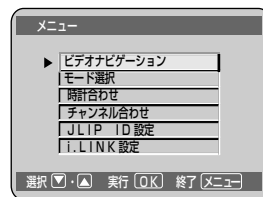
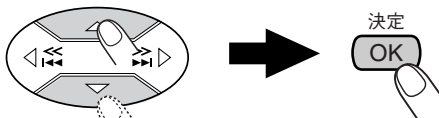
● 時計
12月24日　月曜
午後　　3：35

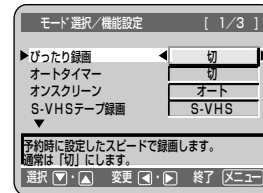
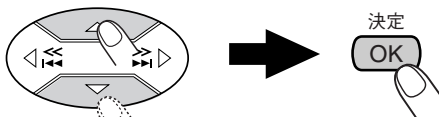
● 録画時間
OTR　2：00

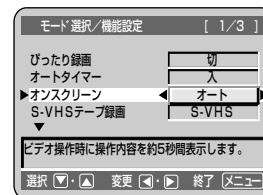
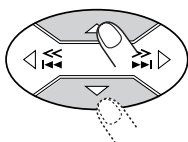
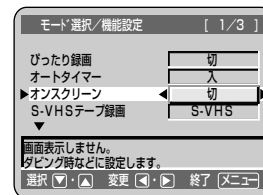
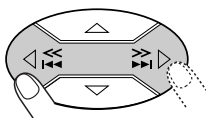
画面表示を出したくないときは

ダビング時、本機を再生側で使用するときは、テレビ画面に出る文字を記録しないよう「切」にします。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△／▽]を押して、「モード選択」を選び[OK]を押す

▶を「モード選択」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「機能設定」を選び[OK]を押す

▶を「機能設定」に合わせてから、

4 [△／▽]を押して、「オンスクリーン」を選ぶ

5 [◁／▷]を押して、「切」を選ぶ

6 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

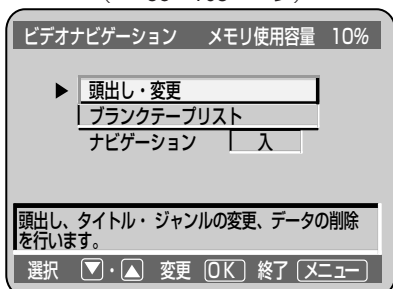
- オンスクリーン「切」でも、次のようなときは、テレビ画面に文字を表示します。
  - 録画一時停止状態のとき
  - グレーバックのとき
  - リモコンのCMボタンを押したとき(☞112ページ)

メニュー画面

メニュー
▶ ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

ビデオナビゲーション画面

(☞86〜105ページ)

ビデオナビゲーション　メモリ使用容量 10%
▶ 頭出し・変更
ブランクテープリスト
ナビゲーション　入
頭出し、タイトル・ジャンルの変更、データの削除を行います。
選択 ▼・▲ 変更 OK 終了 メニュー

・番組検索などをしたいときに使用する画面です。

モード選択画面

(☞25、27〜29ページ)

モード選択
▶ 映像設定（S–VHS／VHS）
音声設定
入出力設定
機能設定
BS設定
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

・お買い上げ時の設定を変えるときに使用する画面です。

時計合わせ画面

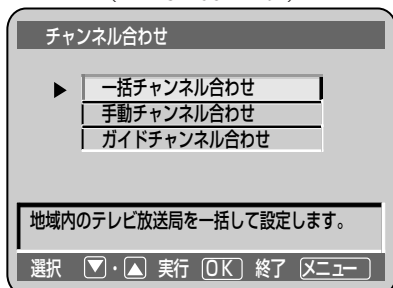
(☞61ページ)

時計合わせ
年　2001年
月日　12月24日　月曜日
時刻 ◀ 午前10：00 ▶
ぴったりクロック　3チャンネル
選択 ▼・▲ 変更 ◀・▶ 終了 メニュー

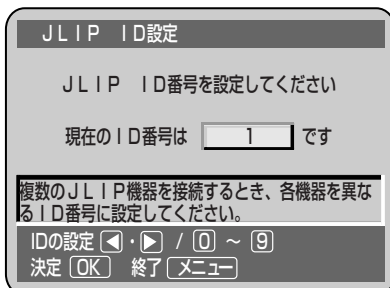
・ビデオ本体の時計を合わせるときに使用する画面です。

チャンネル合わせ画面

(☞43〜60ページ)

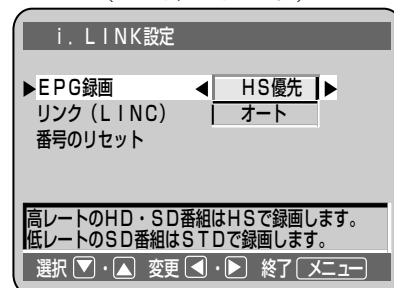
チャンネル合わせ
▶ 一括チャンネル合わせ
手動チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
地域内のテレビ放送局を一括して設定します。
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

・受信チャンネルを設定するときに使用する画面です。

JLIP ID設定画面

JLIP ID設定
JLIP ID番号を設定してください
現在のID番号は　1　です
複数のJLIP機器を接続するとき、各機器を異なるID番号に設定してください。
IDの設定 ◀・▶ / 0 〜 9
決定 OK　終了 メニュー

・JLIPのID番号（1〜99まで）を設定するときに使用する画面です。

i. LINK設定画面

(☞29、119ページ)

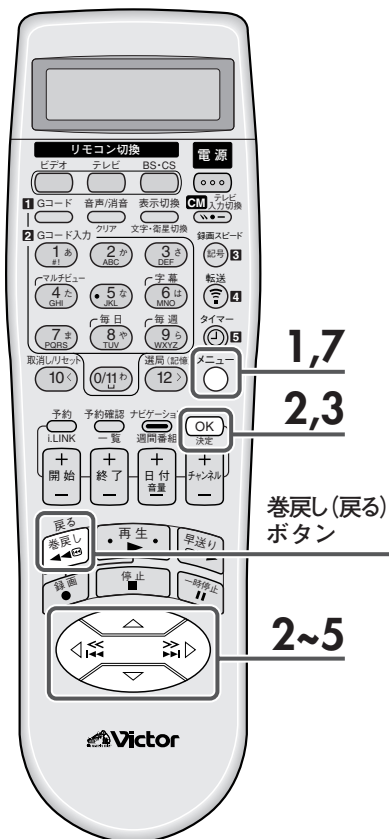
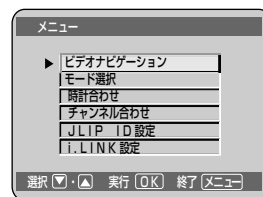
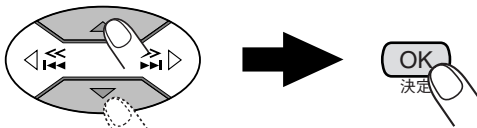
i.LINK設定
▶EPG録画 ◀ HS優先 ▶
リンク（LINC）　オート
番号のリセット
高レートのHD・SD番組はHSで録画します。
低レートのSD番組はSTDで録画します。
選択 ▼・▲ 変更 ◀・▶ 終了 メニュー

・i. LINKの設定を変更するときに使用する画面です。

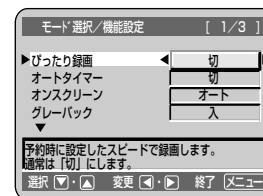
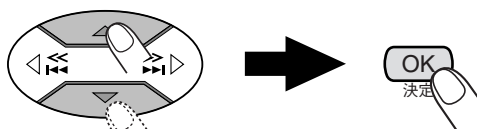
モード選択画面

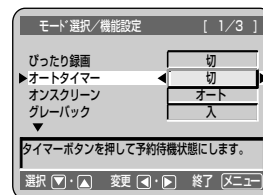
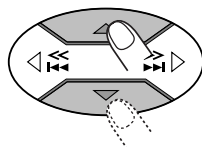
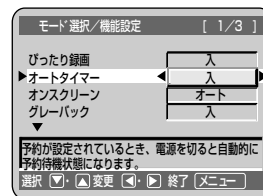
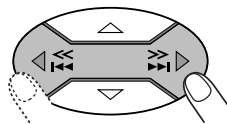
モード選択
映像設定（S−VHS／VHS）
音声設定
入出力設定
機能設定
BS設定
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー
映像設定画面
モード選択／映像設定（S−VHS／VHS）
テープレベルアップ 入
インテリジェントピクチャー オートピクチャー
映像 シャープ
Vスタビライズ 切
テープに合わせて最適な状態で録画・再生をします。
通常は「入」にします。
選択 ▼・▲ 変更 ◀・▶ 終了 メニュー
音声設定画面
モード選択／音声設定
DV音声記録 音声1
光デジタル音声出力 ダイレクト
ミックス音声 切
二カ国語音声録音 主
i.LINK接続でDV機器からダビングするとき、
音声1の2チャンネル（L／R）を記録します。
BS設定画面
モード選択／BS設定
BS音声 テレビ音声
BSアンテナ電源 切
通常は「テレビ音声」にします。
入出力設定画面（1/2）
モード選択／入出力設定 [1/2]
テレビの設定1 D3・HD入力
テレビの設定2 ワイドテレビ
前面映像入力F－1 映像
背面映像入力L－1 映像
本機とテレビの接続方法を選択します。
D3端子かHD入力端子(YPB PR)へ接続します。
入出力設定画面（2/2）
モード選択／入出力設定 [2/2]
背面映像入力L－2 映像
映像入力端子の信号を入力します。
（L－2）
機能設定画面（1/3）
モード選択／機能設定 [1/3]
ぴったり録画 切
オートタイマー 切
オンスクリーン オート
グレーバック 入
予約時に設定したスピードで録画します。
通常は「切」にします。
機能設定画面（2/3）
モード選択／機能設定 [2/3]
ディスプレイオフ 表示する
ドライブガイド テープ走行表示
S−VHSテープ録画 S−VHS
GRT録画ロック 切
電源「切」のとき、本体表示窓に時計を表示します。
機能設定画面（3/3）
モード選択／機能設定 [3/3]
コントロール切換 AVコンピュリンクII
AVコンピュリンクII／リモートポーズ端子を、
AVコンピュリンクII端子として使用します。

お買い上げ時の設定を変える

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△ ／▽]を押して、「モード選択」を選び[OK]を押す

▶を「モード選択」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、設定を変えたいメニューを選び[OK]を押す

▶を「機能設定」に合わせてから、

4 [△／▽]を押して、設定を変えたい項目を選ぶ

5 [◁／▷]を押して、設定を変える

6 必要に応じて手順3 〜5 をくり返して、他の設定も変更する

●巻戻し(戻る)ボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

7 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

「モード選択/映像設定(S-VHS/VHS)画面」の内容について

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

テープレベルアップ	入／切	テープに合わせた最適な状態で録画・再生したいときに「入」にします。
インテリジェントピクチャー	オートピクチャー	通常は、このポジションでお使いください。
	ダビング	ダビングするときに選択します。
	ソフト	レンタルビデオなどでノイズが目立つときに選択します。
	アニメ	アニメーションなどを再生するときに選択します。
映像	シャープ	再生する映像の輪郭をクッキリさせます。 通常は「シャープ」にしてください。
	ノーマル	ノイズが目立つときは「ノーマル」にします。
Vスタビライズ	切／入	S-VHS/VHSで録画したテープを再生中に画面が上下に揺れるときは「入」にします。 通常は「切」にしてください。

「モード選択/音声設定画面」の内容について

DV音声記録	音声1 / 音声2 / フル音声	i.LINK端子から入力されるデジタルビデオカメラからの音声信号は最大4チャンネルあります。本機ではこのうちの2チャンネルを選択して録画します。どの2チャンネルを記録するかをここで設定します。 （DV音声が4チャンネル：32kHzの場合） 音声1　：音声1の2チャンネル（L/R）を記録します。 音声2　：音声2の2チャンネル（L/R）を記録します。 フル音声：音声1と音声2をミックスして記録します。 （DV音声が2チャンネル：48kHzの場合） もともと2チャンネルなので、そのまま記録します。

メニュー設定	音声モード	D-VHS L-chの音声	DVHS R-chの音声
音声1	32kHz/12bit	DV音声1 L-ch	DV音声1 R-ch
	48kHz/16bit	DV L-ch	DV R-ch
音声2	32kHz/12bit	DV音声2 L-ch	DV音声2 R-ch
	48kHz/16bit	DV L-ch	DV R-ch
フル音声	32kHz/12bit	DV音声1L+DV音声2L	DV音声1R+DV音声2R
	48kHz/16bit	DV L-ch	DV R-ch

光デジタル音声出力	2CH PCM	MPEG2.AACまたはドルビーデジタル方式に対応した機器がない場合に選択します。 D-VHSのMPEG記録音声をPCMに変換して出力します。
	ダイレクト	BSデジタル放送の音声は MPEG2.AAC（Advanced Audio Coding）方式の音声で送られて来ます。本機は、ドルビーデジタルで記録されたテープの再生にも対応していますので、音声にどちらかの方式が含まれているときは、デジタル音声出力端子から、それぞれのビットストリーム信号が出力されます。MPEG2.AACまたはドルビーデジタル方式に対応した機器に接続するときに選択します。
ミックス音声	切／入	Hi-Fi音声とノーマル音声の両方を聞きたいときは「入」にします。 通常は「切」にしてください。
ニカ国語音声録音	主	ニカ国語放送のとき主音声（日本語など）だけを録音します。
	主＊副	ニカ国語放送のときは主音声と副音声の両方を録音します。外国語を録音するときは「主＊副」にします。再生・録画時に音声切換ボタンで聞きたい音声を選んでください。

「モード選択/入出力設定画面」の内容について

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

項目	設定	内容
テレビの設定1	D3・HD入力	テレビにD3端子またはHD入力端子がある場合に選択します。 525i、525p、1125iの映像フォーマットに対応しています。
	D4入力端子	テレビにD4端子がある場合に選択します。 525i、525p、750p、1125iの映像フォーマットに対応しています。
	D1・S映像	テレビにD1端子がある場合またはD1端子がなくてもS端子がある場合に選択します。 525iの映像フォーマットに対応しています。
テレビの設定2	ワイドテレビ	ワイドテレビ(画面サイズ16:9)のときに選択します。
	4:3テレビ	画面サイズが4:3のテレビのときに選択します。
前面映像入力F-1	映像	前面の映像入力端子（F-1）の信号を入力するときは「映像」にします。
	S映像	前面のS映像入力端子（F-1）の信号を入力するときは「S映像」にします。
背面映像入力L-1	映像	背面の映像入力端子（L-1）の信号を入力するときは「映像」にします。
	S映像	背面のS映像入力端子（L-1）の信号を入力するときは「S映像」にします。
背面映像入力L-2	映像	背面の映像入力端子（L-2）の信号を入力するときは「映像」にします。
	S映像	背面のS映像入力端子（L-2）の信号を入力するときは「S映像」にします。

「モード選択／機能設定画面」の内容について

項目	設定	内容
ぴったり録画	切／入	標準モードでタイマー録画中にテープが不足する場合、途中で自動的に3倍モードに切り換わり、録画切れを防ぎます。120分テープに2時間以上の番組を収めたいときは「入」にします。通常は「切」にしてください。 D-VHS記録時は、ぴったり録画は働きません。
オートタイマー	切	通常は「切」にしてください。
	入	予約待機中にビデオを使用したいとき、タイマーボタンを押して⌚表示を消さなくても、ビデオの電源を入れるだけで操作できます。操作後、ビデオの電源を切ると自動的に予約待機状態になります。タイマーボタンの操作を忘れがちな方に便利です。
オンスクリーン	オート	ビデオ操作時に、操作の内容を約5秒間、テレビ画面に表示します。
	入	常時、カウンター（または残量／時計／チャンネル）を表示します。
	切	ダビング時、本機を再生側で使用するときは、テレビ画面に出る文字を記録しないように「切」にします。
グレーバック	入	放送のないチャンネルはグレー画面（グレーバック）になります。
	切	電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは「切」にします。
ディスプレイオフ	表示する／表示しない	本機の電源が「切」のとき、本体表示窓に時計を表示するか、しないかの設定です。「表示しない」を選ぶと、時計表示が消灯して省エネになります。
ドライブガイド	テープ走行表示	本体表示窓のトラック表示部分を「テープ走行」表示と「テープ残量」表示に設定するときに選択します。
	音声レベル表示	本体表示窓のトラック表示部分を「音声レベル」表示に設定するときに選択します。
	切	本体表示窓のトラック表示部分を出したくないときに選択します。
S-VHSテープ録画	S-VHS	S-VHSテープにはS-VHS記録、VHSテープにはVHS記録します。
	VHS	S-VHSテープにVHS記録するときは「VHS」にします。
GRT録画ロック	切	通常は「切」にします。
	入	録画中のゴースト低減動作を設定します。録画開始約1分後の状態でロックします。
コントロール切換	AVコンピュリンクII	AVコンピュリンク端子付きのアンプやテレビと接続したときに選択します。
	リモートポーズ	編集端子付きのビクタービデオカメラなどと接続したときに選択します。

「モード選択／BS設定画面」の内容について

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

BS音声	テレビ音声／独立音声	BS放送の独立音声を聞きたいときは「独立音声」にします。 通常は「テレビ音声」にしてください。
BSアンテナ電源	切／入	本機からBSアンテナに電源を供給しないときは「切」、供給するときは「入」にします。

「i.LINK設定画面」の内容について

<table>
<tr><td rowspan="5">EPG録画</td><td>HS優先</td><td>BSデジタル番組を録画するときの録画スピードの設定です。
・高レートの番組はHSモードで録画します。
・低レートの番組はSTDモードで録画します。</td></tr>
<tr><td>LS3優先</td><td>BSデジタル番組を録画するときの録画スピードの設定です。
・高レートの番組はHSモードで録画します。
・低レートの番組（525p）はSTDモードで録画します。
・低レートの番組（525i）はLS3モードで録画します。</td></tr>
<tr><td>強制STD</td><td>すべての番組をSTDモードで録画します。
画質と時間を重視するときに選択します。</td></tr>
<tr><td>強制LS3</td><td>すべての番組をLS3モードで録画します。
長時間録画したいときに選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">
<table>
<tr><td rowspan="2" colspan="2"></td><td colspan="2">HS優先</td><td colspan="2">LS3優先</td><td colspan="2">強制STD</td><td colspan="2">強制LS3</td></tr>
<tr><td>録画方式</td><td>録画モード</td><td>録画方式</td><td>録画モード</td><td>録画方式</td><td>録画モード</td><td>録画方式</td><td>録画モード</td></tr>
<tr><td rowspan="6">画像
フォーマット
（i.LINK入力）</td><td>マルチ番組</td><td rowspan="6">ビットストリーム記録</td><td rowspan="4">HS</td><td rowspan="5">ビットストリーム記録</td><td rowspan="4">HS</td><td>1画面</td><td rowspan="6">STD</td><td>1画面</td><td rowspan="6">LS3</td></tr>
<tr><td>1125i</td><td rowspan="3">ダウンコンバート記録</td><td rowspan="4">ダウンコンバート記録</td></tr>
<tr><td>750p</td></tr>
<tr><td>525p（高レート）</td></tr>
<tr><td>525p（低レート）</td><td rowspan="2">STD</td><td>STD</td><td rowspan="2">ビットストリーム記録</td></tr>
<tr><td>525i</td><td>ビットレート変換</td><td>LS3</td><td>ビットレート変換</td></tr>
</table>
マルチ番組：マルチビュー、マルチプログラム番組のことです。
ビットストリーム記録：i.LINK端子に入力された信号をそのままテープ上に記録することを「ビットストリーム記録」といいます。
ビットレート変換：ビットレートを変換して、長時間モードで記録します。（☞141ページ）
また、5-1チャンネルのAAC音声も、2チャンネルのMP2音声に変換して記録します。
１画面：マルチビュー、マルチプログラム番組の中の現在見ている番組だけを録画します。
ダウンコンバート記録：入力信号を525iに変換して録画します。（☞141ページ）
また、5-1チャンネルのAAC音声も、2チャンネルのMP2音声に変換して記録します。
</td></tr>
<tr><td rowspan="2">リンク（LINC）</td><td>オート</td><td>本機から他のi.LINK機器を選択できます。i.LINK機器の番号を確認するときは、チャンネル＋／−ボタンを押して、表示窓またはテレビ画面に出る表示で確認してください。（☞77ページ）
通常は「オート」にします。</td></tr>
<tr><td>切</td><td>本機から他のi.LINK機器を選択できません。ただし、他のi.LINK機器またはデジタルビデオカメラなどから本機が選択された場合は通信できます。通信しているときは、「I-1」などを表示します。</td></tr>
<tr><td>番号のリセット</td><td colspan="2">i.LINK機器番号の欠番を解消したいときや番号を変更したいときに選択します。</td></tr>
</table>

2台以上のビクタービデオを操作する

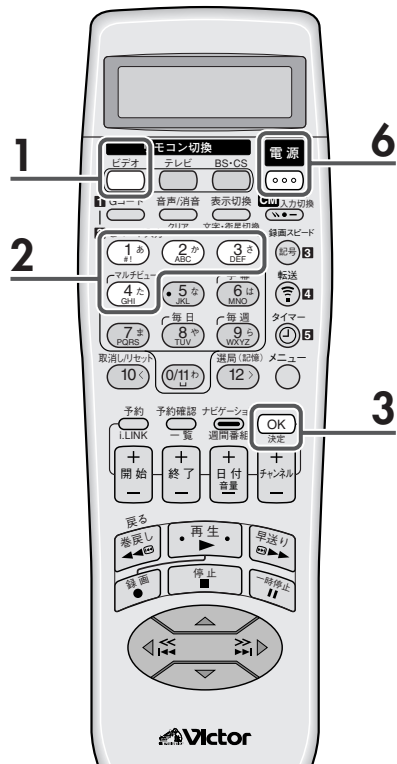
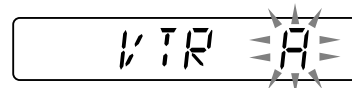
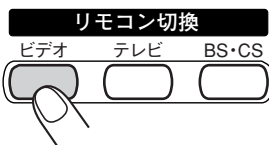
リモコンコードを変更する

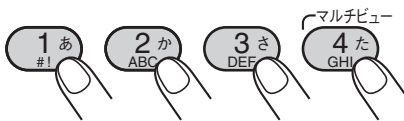
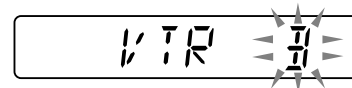
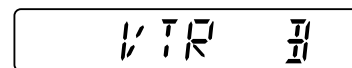
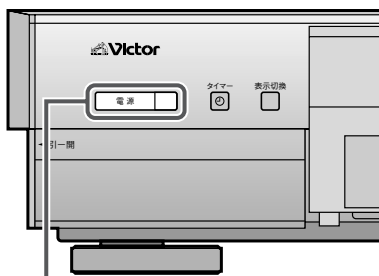
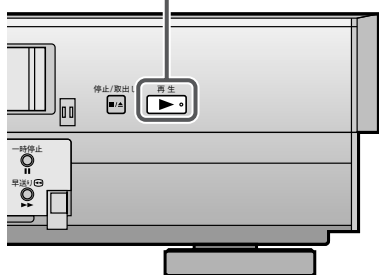
お買い上げ時には、本機のリモコンは「Aコード」に設定されています。
2台以上のビクタービデオをお使いになるときは、それぞれのリモコンコードを別のコード(A、B、C、D)にしてください。ビデオ操作するときに、2台以上が同時に同じ動きをすることはありません。

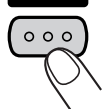
4　5

準備
- リモコンはビデオデッキに向けて操作します。

1 [ビデオ]を2秒以上押す

(2秒以上押し続ける)

2 数字ボタンを押してコードを設定する

- 「Aコード」にするときは、[1]を押します。
- 「Bコード」にするときは、[2]を押します。
- 「Cコード」にするときは、[3]を押します。
- 「Dコード」にするときは、[4]を押します。

3 [OK]を押す

4 本体の[電源]を押して、電源を切る

5 本体の[再生]を5 秒以上押して、本体表示窓にA(またはB、C、D)を表示させる

6 リモコンの[電源]を押す

- 本体表示窓にリモコンコードの表示が点滅します。
- リモコンの電源ボタンを押して、本体の電源が入るかどうか確認してください。もし入らないときは、もう1度、手順**1**～**6**の操作をやり直してください。

(液晶表示窓には、VTR Bが表示されています)

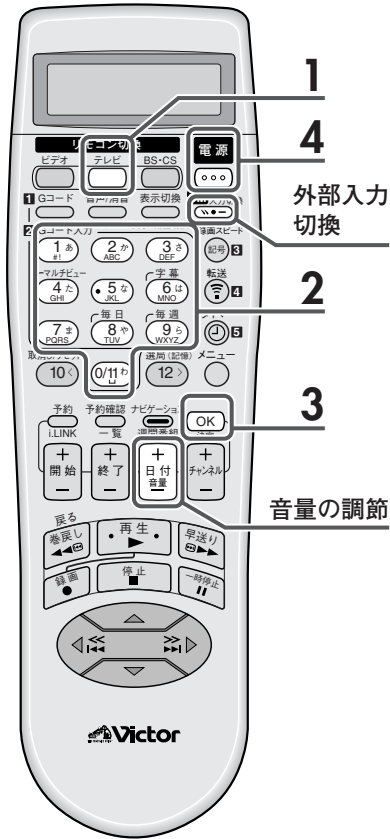
お願い

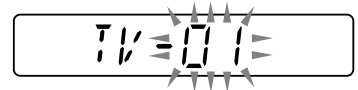
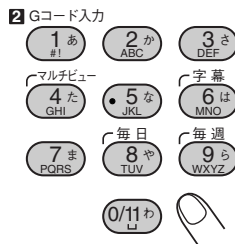
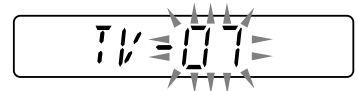
- リモコンの電池をはずすと、お買い上げ時の設定に戻ります。(VTR Aに戻ります。)
  電池を交換したときなどは、もう1度設定し直してください。

リモコンでビクター以外のテレビを操作する

他のメーカーのテレビを操作できるようにする

本機のリモコンで、国内メーカー12社のテレビを操作できます。お買い上げ時には、ビクター製テレビの操作（電源の入/切、チャンネルの切換、外部入力の切換、音量の調節）ができるようになっています。
他社のテレビを操作できるようにするには、次の設定を行ってください。

準備
- テレビの電源を切っておきます。

1 [テレビ]を2秒以上押す

（2秒以上押し続ける）

2 数字ボタンを押して、メーカー番号(2桁)を入力する

例：お手持ちのテレビが東芝製のときは、数字ボタンの０／１１と７の順に押します。

メーカー名	メーカー番号	メーカー名	メーカー番号	メーカー名	メーカー番号
ビクター	01	日立	06	パイオニア	11
松下	02、03	東芝	07	NEC	12
三菱	04	三洋	08、09	フナイ	13
ソニー	05	シャープ	10	アイワ	14

3 [OK]を押す

4 [電源]を押す

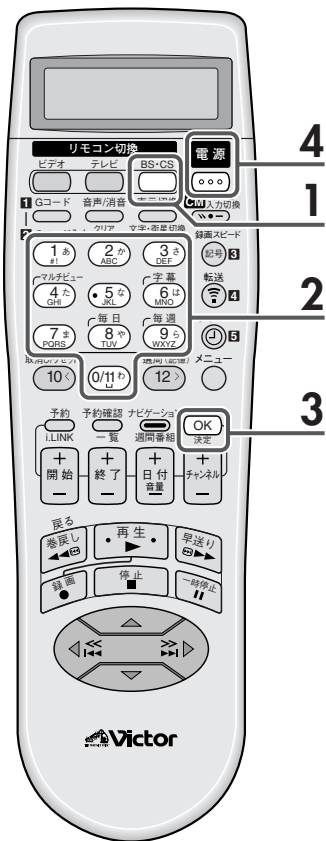
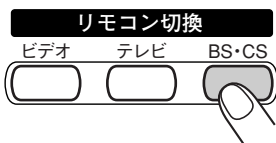
- 本機のリモコンの電源ボタンを押して、テレビの電源が入れば、設定は完了です。
  テレビの電源が入らないときは、もう1度同じ操作をしてください。
- 松下製や三洋製のテレビをお使いのときは、もうひとつのメーカー番号を入力してください。

ご注意
- テレビによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。

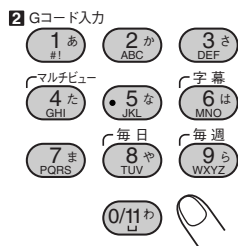
お願い
- リモコンの電池をはずすと、設定が消えてしまいます。電池を交換したときなどは、もう１度設定し直してください。

他のメーカーのCSチューナーを操作できるようにする

お買い上げ時には、ビクター製i.LINK端子付きBSデジタルチューナーとデジタルCSチューナーの操作ができるようになっています。
ソニー製のデジタルCSチューナーを操作できるようにするには、次の設定を行ってください。

準備
- デジタル CS チューナーの電源を切っておきます。

1 [BS・CS]を押して、表示を「BS」にしてから[BS・CS]を2秒以上押す

（2秒以上押し続ける）

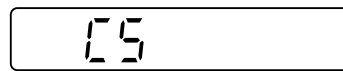
2 数字ボタンを押して、メーカー番号（2桁）を入力する

ビクター：01、ソニー：02です。

例：お手持ちのデジタルCSチューナーがソニー製のときは、数字ボタンの0／11と2の順に押します。

3 [OK]を押す

CS

4 [電源]を押す

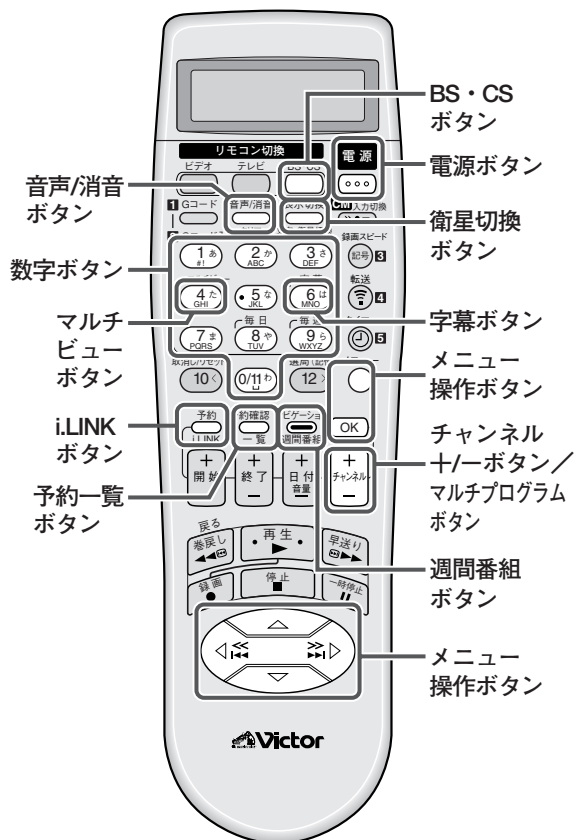
- 本機のリモコンの電源ボタンを押して、デジタルCSチューナーの電源が入れば、設定は完了です。
デジタルCSチューナーの電源が入らないときは、もう1度同じ操作をしてください。

ご注意

- BSデジタルチューナーはビクター製のみ操作可能です。
- デジタルCSチューナーまたはBSチューナーによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。

お願い

- リモコンの電池をはずすと、設定が消えてしまいます。電池を交換したときなどは、もう１度設定し直してください。

リモコンでBS/CSチューナーを操作する

BSチューナーを操作するときは、BS･CSボタンを押して、リモコン表示窓に「BS」を表示させます。
CSチューナーを操作するときは、BS･CSボタンを押して、リモコン表示窓に「CS」を表示させます。

ボタン	働き
BS・CS ボタン	リモコンでBSやCSチューナーを操作したいときに、リモコン表示窓に「BS」または「CS」を表示させます。
電源ボタン	BSまたはCSチューナーの電源を入／切します。
衛星切換ボタン *	押すたびに衛星B（スカイサービス）と衛星A（パーフェクTV!サービス）が切り換わります。
数字ボタン	チャンネルを選ぶときに使います。
チャンネル+/−ボタン	チャンネルを選ぶときに使います。
i.LINK ボタン *	デジタルCSチュナーで本機をLINCするときに使います。
週間番組ボタン	EPG（週間番組表）を表示します。
予約一覧ボタン	予約した番組の一覧を表示します。
メニュー操作ボタン	メニューを表示します。 画面上の項目を選び、決定します。
音声 / 消音ボタン **	ステレオ/二重音声を切り換えるときに使います。
マルチビューボタン **	アングルを切り換えるときに使います。
字幕ボタン **	字幕を表示させたり、やめたりするときに使います。
マルチプログラムボタン **	番組を切り換えるときに押します。

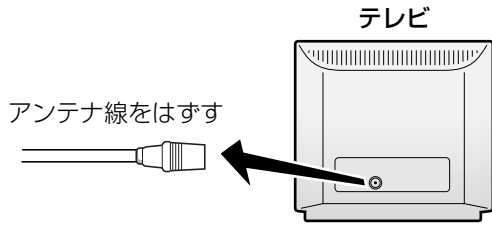
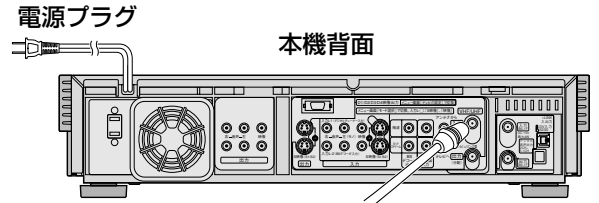
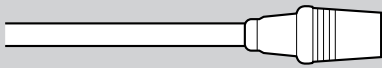
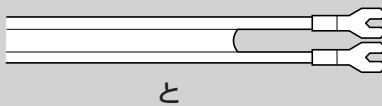
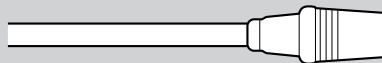
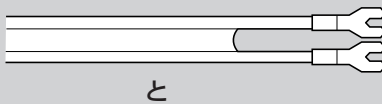
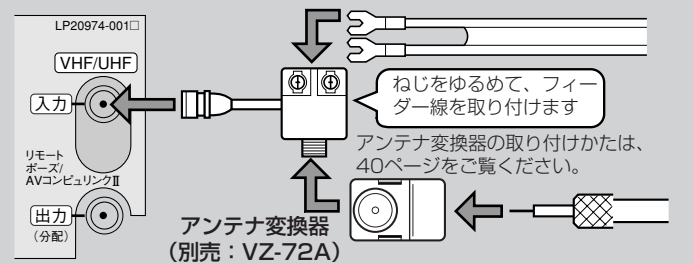
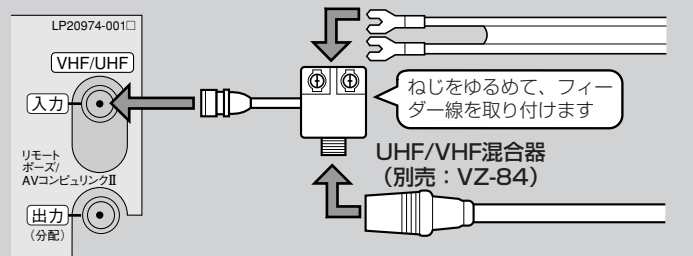
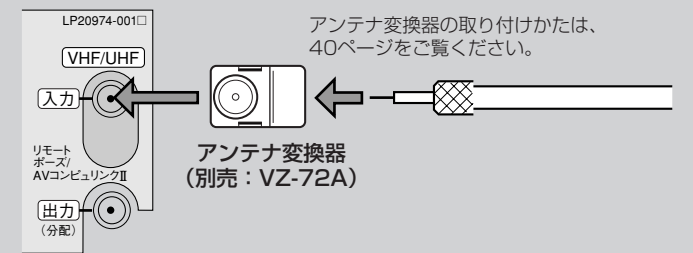
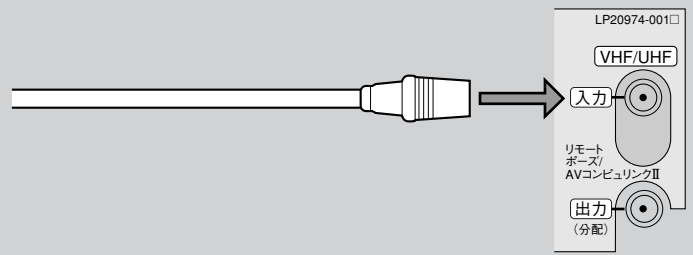
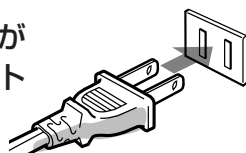
*** ：CS チューナーのみ操作できます。**

**** ：ビクター製 BS デジタルチューナーのみ操作できます。**

• お使いの BS または CS チューナーの取扱説明書もご覧ください。

アンテナをつなぐ

1 アンテナ線をテレビからはずす（使用中のテレビがある場合）

- アンテナ線の形を確認してください。

2 アンテナ線を本機につなぐ

電源プラグは、すべての接続が終了してから、壁のコンセントに差し込みます。

ご注意

- アンテナ変換器の形状が大きいものは、本機背面のアンテナ入／出力端子に差し込めないことがあります。このようなときは、小型のアンテナ変換器（当社製品のVZ-72Aなど）に交換することをおすすめします。

映像入力端子のないテレビをお使いのかたは、別売のRFモジュレーターユニットUB-450が必要です。

3 本機とテレビをつなぐ

40〜42ページもご覧ください。

LP20974-001□
VHF/UHF
入力
ビュリンクⅡ
出力
（分配）

アンテナコード
（付属）

VHF /UHF

LP20974-001□
VHF/UHF
入力
ビュリンクⅡ
出力
（分配）

下図のように
加工します。

アンテナコード
（付属）

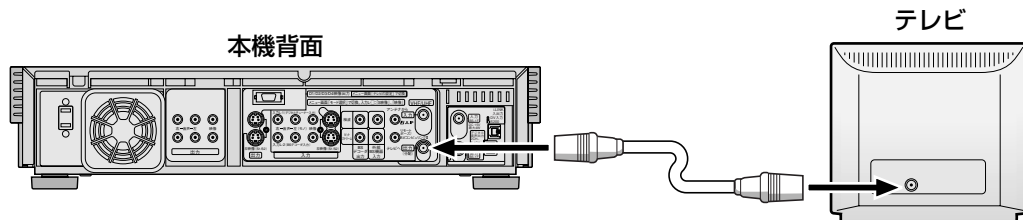
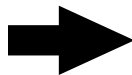
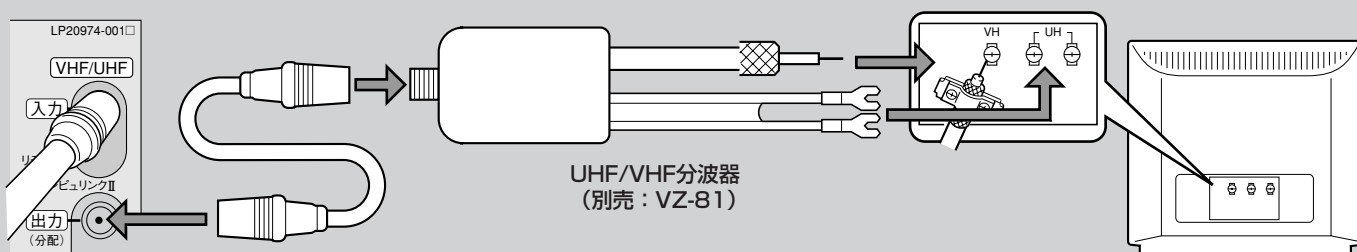
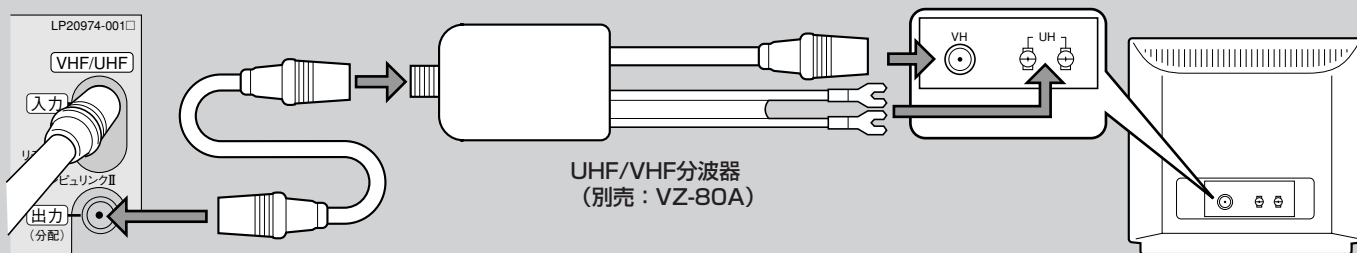
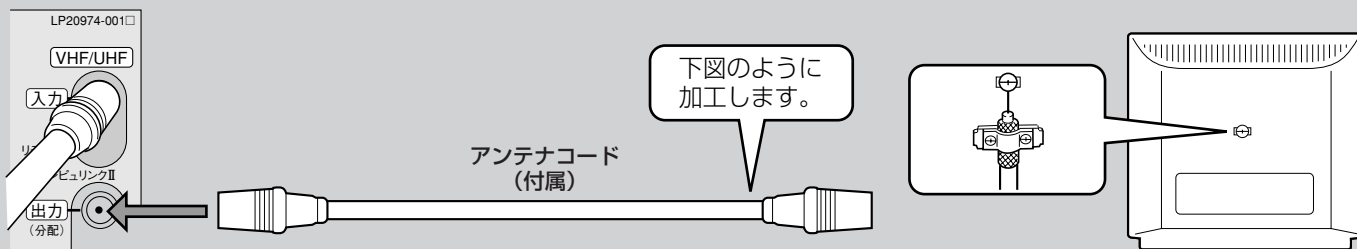
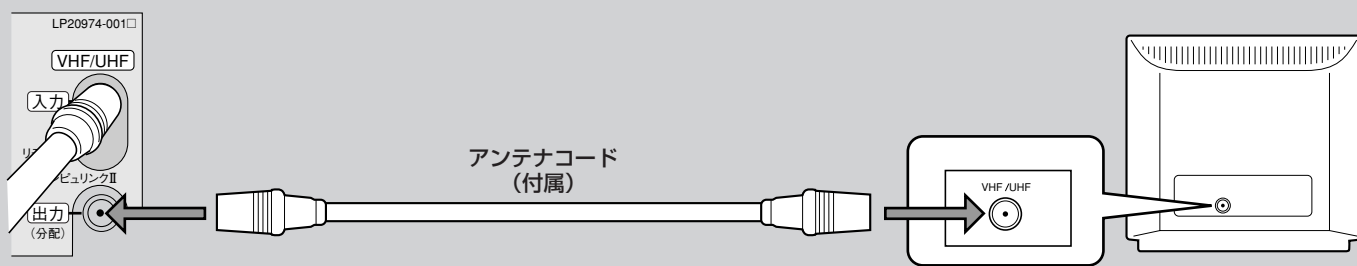
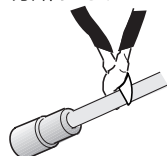
LP20974-001□
VHF/UHF
入力
ビュリンクⅡ
出力
（分配）

VH
UH

UHF/VHF分波器
（別売：VZ-80A）

LP20974-001□
VHF/UHF
入力
ビュリンクⅡ
出力
（分配）

VH
UH

UHF/VHF分波器
（別売：VZ-81）

本機に付属のアンテナコードを加工するときは

切断する。	すじを入れ、切り取る。	あみ線を折り返す。	芯線を傷つけないように。	芯線を出し、テレビに接続する。

BSアンテナをつなぐ

BS（衛星）放送について

BS(衛星)放送を受信するには、専用のBSアンテナ(別売)が必要になります。

日本の南西、赤道上空約 36,000km にある放送衛星を経由してテレビ電波を受信するシステムです。
BS5 チャンネルは WOWOW と St.GIGA を有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また、専用の BS デコーダーが必要になります。（120 ページ参照）

アンテナコネクターのつなぎかた

BSアンテナ端子

アンテナコード（付属）

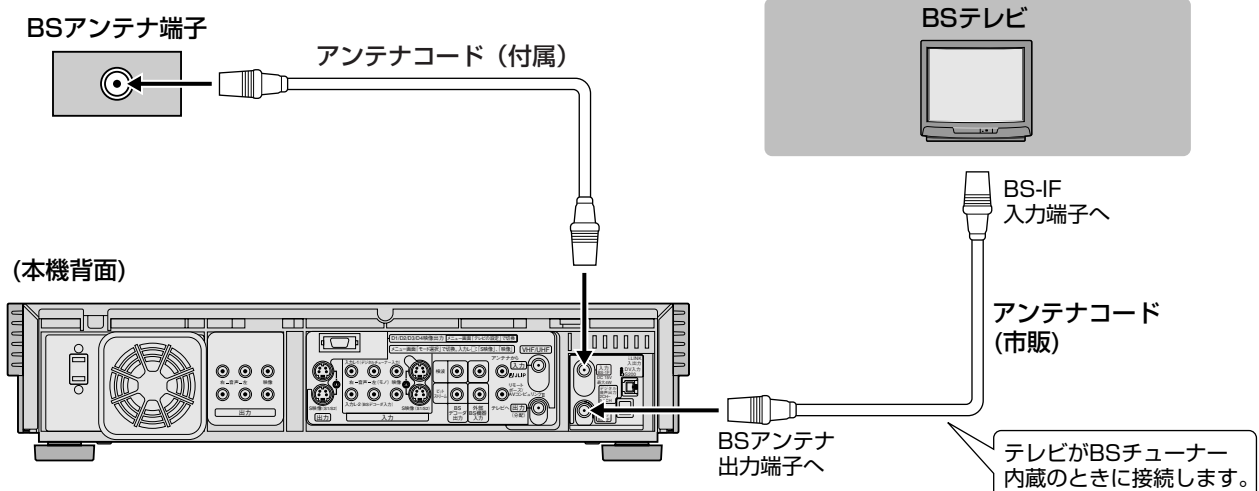
BSテレビ

BS-IF
入力端子へ

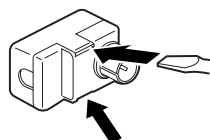
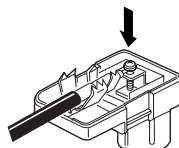
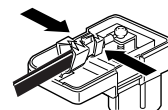
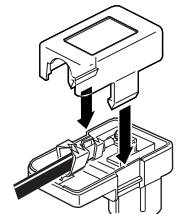
(本機背面)

アンテナコード
(市販)

BSアンテナ
出力端子へ

テレビがBSチューナー
内蔵のときに接続します。

- BS と VHF/UHF の電波が混合されているときは、分波器が必要になります。
- BS アンテナの設置については、BS アンテナの取扱説明書も合わせてご覧ください。

接続が終わったら、以下の設定をしてください。（37 ～ 39 ページ参照）
1. メニューで「BS アンテナ電源」を設定する
2. 放送されている BS チャンネルを選ぶ
3. BS アンテナの向きを調節する

■ アンテナ変換器の使いかた

BSアンテナに電源を供給する

BSアンテナの接続後に、以下の設定が必要になります。
BSアンテナの電源を本機から供給するかどうかを設定します。

準備

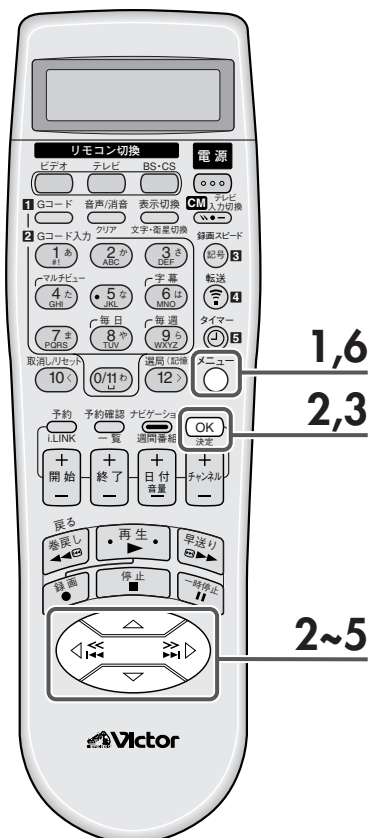
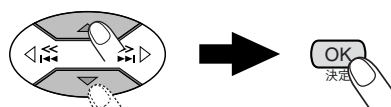
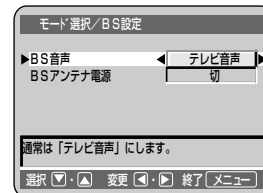
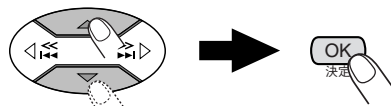
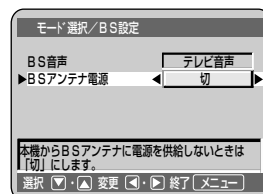
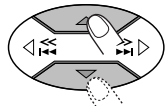
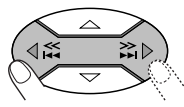
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△／▽]を押して、「モード選択」を選び[OK]を押す

▶を「モード選択」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「BS設定」を選び[OK]を押す

▶を「BS設定」に合わせてから、

4 [△／▽]を押して、「BSアンテナ電源」を選ぶ

5 [◁／▷]を押して、「入」を選ぶ

- 押すたびに、設定の「入／切」が切り換わります。

切　BS放送を共同受信しているとき（マンションなど）本機からはBSアンテナに電源を供給しません。

入　BS放送を個別で受信しているとき 本機からBSアンテナに電源を供給します。

6 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

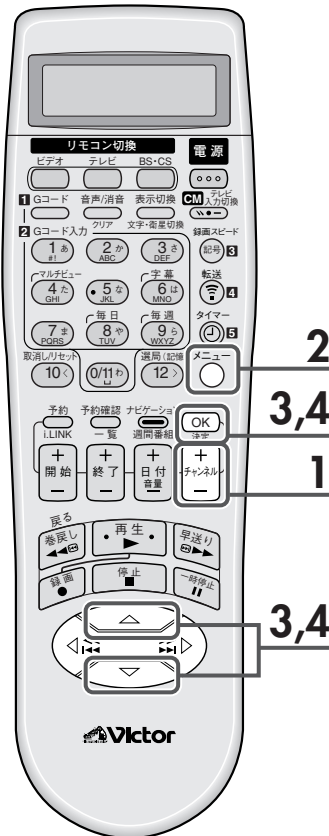
分波器などをお使いのとき

- 本機の他にもBS機器を使っていて、分波器などをお使いのときは、本機にBSアンテナを接続して、メニューの「BSアンテナ電源」を「入」に、他機の設定は「切」にしてお使いください。

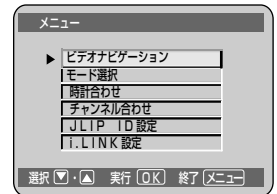
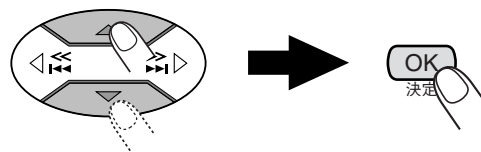
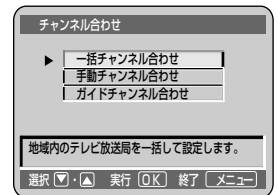
BSアンテナの向きを調節する

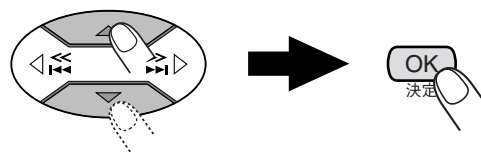
BS入力レベルの表示を見ながら、BSアンテナが正しく衛星の方向を向くように調節してください。
BSアンテナの取扱説明書もご覧ください。

準備

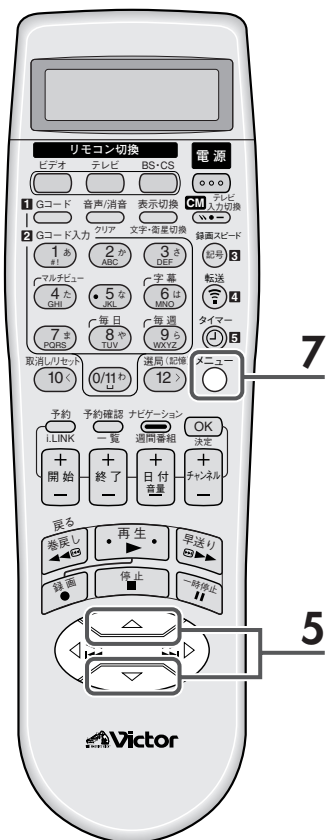
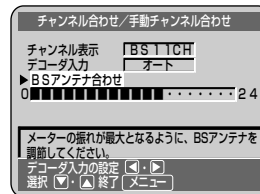
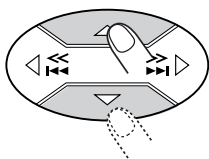
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [チャンネル＋／ー]を押して、放送のあるBSチャンネルを選ぶ

- 本体のチャンネル＋/ーボタンでも操作できます。

2 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

3 [△／▽]を押して、「チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

▶を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

4 [△／▽]を押して、「手動チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

▶を「手動チャンネル合わせ」に合わせてから、

BS放送が受信しにくい天候

- 雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着したりすると、電波が弱くなり一時的に画面や音声に雑音が入ったり、ひどい場合には、まったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるものでBSアンテナや本機の故障ではありません。

5 [△／▽]を押して、「BSアンテナ合わせ」を選ぶ

- BS番組をうまく受信していないと、ノイズ画面になります。

6 テレビ画面で確認しながら、BSアンテナの向きを調節する

- BS入力レベルの数値が最大になるように調節します。

7 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

BS 入力レベルの表示について

- BS入力レベルの表示は、信号と雑音の比を目安として表したもので、電波の強さを示しているわけではありません。映像がきれいに映っていれば、レベルの大小は関係ありません。

本機とテレビをつなぐ

ビデオを見るために、本機とテレビの映像／音声端子どうしを接続する

テレビにS映像入力端子があるときは、本機のS映像出力端子とつないでください。
テレビにD(D1／D2／D3／D4)端子入力があるときは、本機のD1／D2／D3／D4映像出力端子とつないでください。

ビデオやBS放送を見るときは、テレビで本機をつないでいる「外部入力」を選びます。
- 「外部入力」の選びかたは、お持ちのテレビの取扱説明書をご覧ください。

音声出力端子へ
(赤)
(白)
音声コード
音声入力端子へ
(赤)
(白)

S映像コード
S映像出力端子へ
S映像入力端子へ

右－音声－左
映像
出力
S映像（S1/S2）
出力
LP30811-001□

テレビにS映像入力端子がない場合は、別売の映像コードを使って、本機の映像出力端子とテレビの映像入力端子を接続してください。

本機背面

テレビ

コンポーネントビデオコードは、下記の当社製品をご使用ください。
VX-DS110（1m）
VX-DS120（2m）

D1/D2/D3/D4
映像出力端子へ
コンポーネントビデオコード
（D-D）（別売）
D端子
入力へ

テレビにD（D1/D2/D3/D4）端子入力がある場合は、接続してください。

または

D1/D2/D3/D4
映像出力端子へ
コンポーネントビデオコード
（D-ピンプラグ×3）（市販）
コンポーネント映像
入力端子へ
Y（緑）
CB（青）
CR（赤）

テレビにD（D1/D2/D3/D4）端子入力がなく、コンポーネント映像入力（Y/CB/CR）端子がある場合は、接続してください。

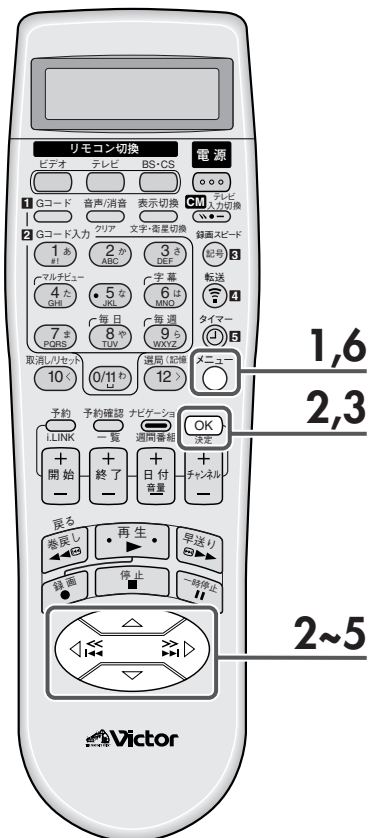
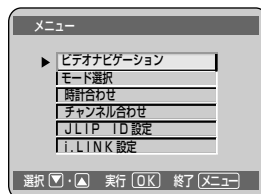
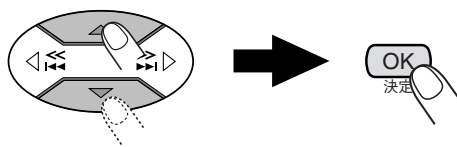
：信号の流れ

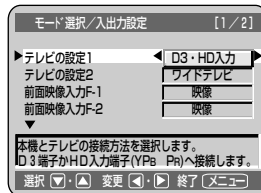
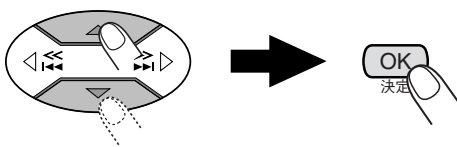
D端子入力付きテレビをお持ちのかたへ
- コンポーネントビデオコードおよび音声コードもつないでください。
- 当社製テレビで、ビデオ1入力端子がY/CB/CR端子とS映像端子を兼用しているときは、市販のコンポーネントビデオコード（D-ピンプラグ ×3）とS映像／音声コード（ビデオ2入力端子へ）の両方の接続をしてください。

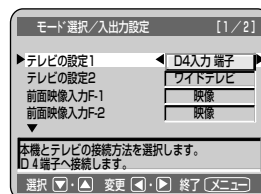
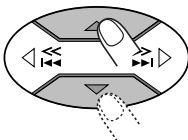
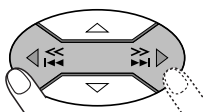
テレビとの接続を設定する

本機とテレビを接続するときにＤ端子出力の設定をおこないます。ご使用のテレビのＤ端子の仕様を確認してから設定してください。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△／▽]を押して、「モード選択」を選び[OK]を押す

▶を「モード選択」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「入出力設定」を選び[OK]を押す

▶を「入出力設定」に合わせてから、

4 [△／▽]を押して、「テレビの設定1」を選ぶ

5 [◁／▷]を押して、項目を選ぶ

- 押すたびに設定が切り換わります。

D3・HD入力	テレビのD3端子かHD入力端子へ接続するとき
D4入力端子	テレビのD4端子へ接続するとき
D1・S映像	テレビのD1端子かS映像端子へ接続するとき

6 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

画面サイズを設定する（4：3 通常テレビをお持ちのかたへ）

4：3テレビをご使用のときは，メニュー設定が必要です。
16：9（横長）テレビをご使用のかたは設定の必要はありません。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [メニュー]を押して､｢メニュー｣画面を表示させる

メニュー
▶ ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
JLIP ID 設定
i.LINK 設定
選択 ▼・▲　実行 OK　終了 メニュー

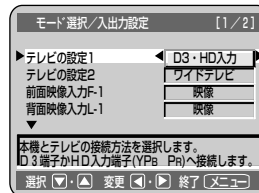
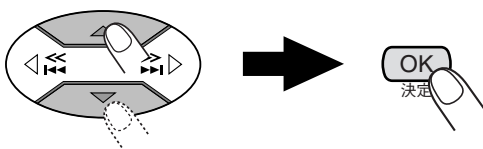
2 [△ ／▽]を押して､｢モード選択｣を選び[OK]を押す

モード選択
▶ 映像設定（S–VHS／VHS）
音声設定
入出力設定
機能設定
BS設定
設定 ▼・▲　実行 OK　終了 メニュー

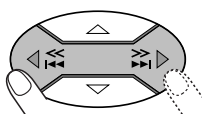
▶を「モード選択」に合わせてから､

3 [△ ／▽]を押して､｢入出力設定｣を選び[OK]を押す

モード選択／入出力設定	[1／2]
▶テレビの設定1	D3・HD入力
テレビの設定2	ワイドテレビ
前面映像入力F-1	映像
背面映像入力L-1	映像

本機とテレビの接続方法を選択します。
D 3 端子かHD入力端子(YPB PR)へ接続します。
選択 ▼・▲　変更 ◀・▶　終了 メニュー

▶を「入出力設定」に合わせてから､

4 [△／▽]を押して､｢テレビの設定2｣を選ぶ

5 [◁／▷] を押して､｢4:3テレビ｣を選ぶ

- 押すたびに設定が切り換わります。

ワイドテレビ 横長で画面が16：9のテレビのときに選択します。
4：3テレビ 従来の4：3画面のテレビのときに選択します。

S1映像入力端子付きの4：3テレビをお持ちのかたは、「ワイドテレビ」に設定してください。

6 [メニュー]を押して､終了する

メニュー画面が消えます。

4：3テレビをお持ちのかたへ
- 「テレビの設定2」を「ワイドテレビ」にしたときは、縦長の画像になる場合があります。

ワイドテレビをお持ちのかたへ
- 「テレビの設定 2」を「4：3 テレビ」にしたときは、字幕が見えなかったり、画面の端が欠ける場合があります。通常は「ワイドテレビ」に設定してください。
- 画像サイズの判別をするために、本機とテレビの接続は、D 端子またはＳ映像端子で接続することをおすすめいたします。

ご注意
- ダウンコンバート記録時は、画面サイズの設定に関係なく、縦長の画像になります。

受信チャンネルを設定する

受信チャンネル設定の流れ

本機は、お住まいの地域番号を入力するだけで、チャンネルを自動的に設定します。
また、Gコード録画予約をするためのガイドチャンネルも自動的に設定されます。

一覧表どおりに、全部の放送局が受信できたら、チャンネル設定は終了です。

- 新たにチャンネルを追加したいとき：
  ☞50ページの操作をしてください。
- 受信チャンネルにゴーストが出るとき：
  ☞52ページの操作をしてください。
- 受信チャンネルの映りが悪いとき：
  ☞54ページの操作をしてください。
- 不要なチャンネルを受信できなくしたいとき：
  ☞56ページの操作をしてください。

CATVをご覧になるときは

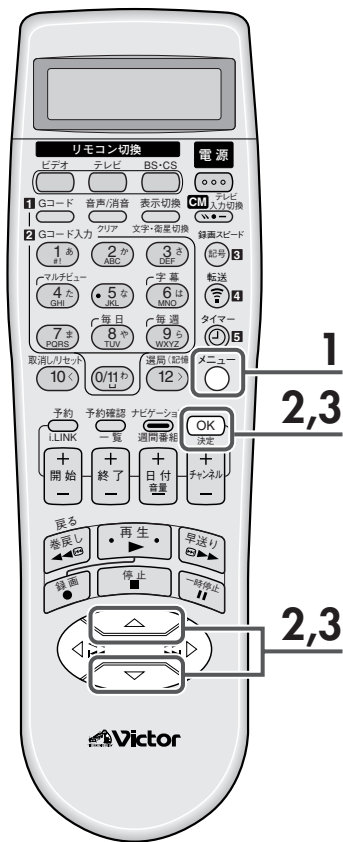
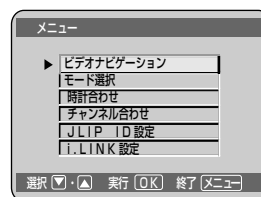
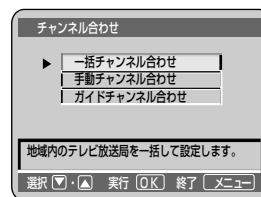
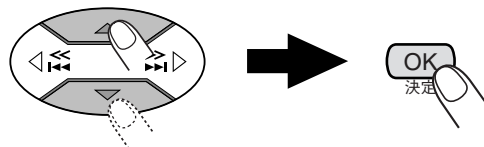
- お買い上げ時には、CATV放送のチャンネルは受信できない状態になっています。
- CATV放送のチャンネルは「一括チャンネル合わせ」（☞44ページ参照）では、設定されません。CATV放送のチャンネルを本機で受信したいときは、受信できるCATV放送を空いているチャンネル番号に割り当ててください。（☞50ページ参照）
- CATV放送は、サービスの行われている地域でのみ受信できます。
- CATV放送をご覧になるには、使用する機器ごとに受信契約が必要です。
- スクランブル方式など有料のCATV放送のときは、受信契約に加え、ホームターミナル（アダプター）の使用が必要になります。
- ホームターミナルを使用したときは、ホームターミナル側で見たいチャンネルに合わせ、本機は前面外部入力１「F-1」、背面外部入力「L-1」またはビデオチャンネル（1チャンネルか２チャンネル）にします。
- 詳しくは、CATV放送会社にお問い合わせください。

地域内のテレビ放送局を一括して設定する

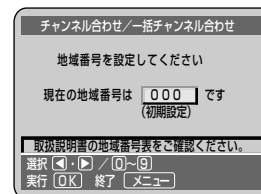
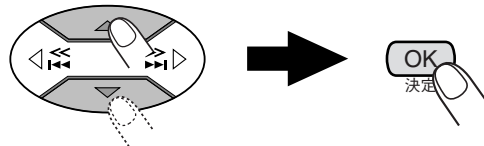
「一括チャンネル合わせ」を行うと、次の2つの項目も自動的に設定されます。

- G コード録画予約をするために、必要なガイドチャンネル(☞58 ページ)
- 本機に内蔵された時計の誤差を自動的に調整する「ぴったりクロック」(☞61 ページ)

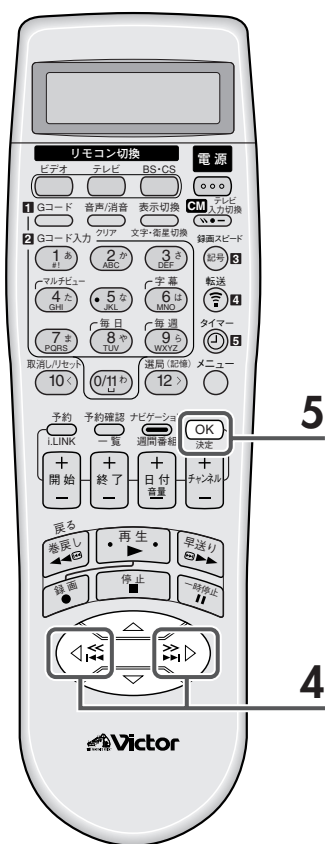
準備

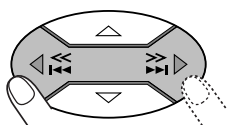
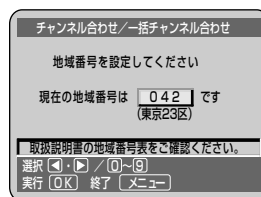
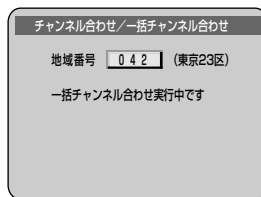
- お住まいの地域の地域番号を確認してください。(☞46 ～ 49 ページ参照)
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△／▽]を押して、「チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

▶を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「一括チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

チャンネル合わせ／一括チャンネル合わせ
地域番号を設定してください
現在の地域番号は 000 です
(初期設定)
取扱説明書の地域番号表をご確認ください。
選択 ◀・▶／0～9
実行 OK 終了 メニュー

▶を「一括チャンネル合わせ」に合わせてから、

お願い

- CATV 放送は「一括チャンネル合わせ」では設定できません。CATV 放送を受信できるようにするには、空いているチャンネル番号に割り当ててください。(☞50 ページ参照)

4 [◁ ／▷]を押して、「地域番号」を選ぶ

例：「042」（東京 23 区）を選んだとき

- 押し続けると地域番号が早く変わります。
- 地域番号を選ぶときは、数字ボタン（1～9、0/11）を使うこともできます。
  例：「042」と入力するときは、0/11 と4と2を押す。

5 [OK]を押し「一括チャンネル合わせ」を実行する

- 「一括チャンネル合わせ」が終了すると、チャンネル番号の一番小さい受信チャンネルの映像がテレビ画面に表示されます。
- 次のような変更がないかたは、☞61ページの「時計合わせ」へ進んでください。
  - 新たにチャンネルを追加したいとき：
    ☞50 ページの操作をしてください。
  - 受信チャンネルにゴーストが出るとき：
    ☞52 ページの操作をしてください。
  - 受信チャンネルの映りが悪いとき：
    ☞54 ページの操作をしてください。
  - 不要なチャンネルを受信できなくしたいとき：
    ☞56 ページの操作をしてください。

- ☞46～49ページの地域番号表に放送局が記載されていないチャンネルは表示しません。

- 受信できるテレビ放送局をひとつずつ設定することもできます。（☞50 ページ参照）
  このときは、ガイドチャンネルもひとつずつ設定してください。（☞58 ページ参照）

一括チャンネル合わせの地域番号表

Gコードを使って録画の予約をするために必要になります。（実際のチャンネルとは異なる場合があります。）

お住まいの地域が表中に記載されていないときは、受信できるテレビ局をひとつずつ設定してください。（☞50 ページ）
また、表中のガイドチャンネルとは、各テレビ局に付けられた、放送局専用の番号です。

この表の見かた

本機でのチャンネル表示番号

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガ…		
		1	2	
都道府県名	地域名（対応都市） 地域番号	放送局名 受信チャンネル／ガイドチャンネル	放送局名 受信チャンネル／ガイドチャンネル	受信チャ…

（2001 年 1 月現在）

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一	初期設定 000	1/–	2/–	3/–	4/–	5/–	6/–	7/–	8/–	9/–	10/–	11/–	12/–
北海道	札幌（江別） 001	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35	テレビ北海道 17/17	NHK教育 12/90
	小樽 002		NHK教育 2/90		北海道テレビ 4/35			札幌テレビ 7/5	北海道文化 26/27	北海道放送 9/1		NHK総合 11/80	テレビ北海道 24/17
	旭川 003		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 33/17
	名寄 004			北海道文化 26/27	NHK総合 4/80		札幌テレビ 6/5		北海道テレビ 24/35		北海道放送 10/1		NHK教育 12/90
	稚内 005		NHK教育 30/90	北海道文化 26/27		北海道テレビ 24/35		札幌テレビ 22/5		NHK総合 28/80	北海道放送 10/1		
	室蘭 006		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 29/17
	苫小牧 007		NHK教育 49/90	北海道文化 53/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 57/5		NHK総合 51/80		北海道放送 55/1	テレビ北海道 47/17
	函館 008		北海道文化 27/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 35/35		NHK教育 10/90	テレビ北海道 21/17	札幌テレビ 12/5
	帯広 009		北海道文化 32/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 34/35		札幌テレビ 10/5		NHK教育 12/90
	釧路 010		NHK教育 2/90	北海道文化 41/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	
	網走 011	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35		NHK教育 12/90
	北見 012		NHK教育 2/90	北海道文化 59/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 53/1	
青森	青森（弘前） 013	青森放送 1/1		NHK総合 3/80	青森朝日 34/34	NHK教育 5/90							青森テレビ 38/38
	八戸 014		岩手めんこい 29/33		青森朝日 31/34			NHK教育 7/90		NHK総合 9/80		青森放送 11/1	青森テレビ 33/38
	むつ 015				NHK総合 4/80		青森朝日 56/34		青森テレビ 58/38		青森放送 10/1		NHK教育 12/90
岩手	盛岡 016				NHK総合 4/80		岩手放送 6/6		NHK教育 8/90	岩手朝日 31/20	テレビ岩手 35/35		岩手めんこい 33/33
	釜石 017		NHK総合 2/80				テレビ岩手 58/35		岩手めんこい 60/33	岩手朝日 62/20	岩手放送 10/6		NHK教育 12/90
	二戸 018		岩手放送 2/6			NHK総合 5/80			岩手めんこい 29/33	岩手朝日 61/20	テレビ岩手 37/35		NHK教育 12/90
宮城	仙台 019	東北放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		東日本放送 32/32		宮城テレビ 34/34			仙台放送 12/12
	石巻 020	東北放送 59/1		NHK総合 51/80		NHK教育 49/90		東日本放送 61/32		宮城テレビ 55/34			仙台放送 57/12
	気仙沼 021		NHK総合 2/80		東北放送 4/1		仙台放送 6/12	東日本放送 43/32		宮城テレビ 37/34	NHK教育 10/90		
秋田	秋田 022		NHK教育 2/90			秋田朝日 31/31				NHK総合 9/80		秋田放送 11/11	秋田テレビ 37/37
	大館 023				NHK総合 4/80	秋田朝日 59/31	秋田放送 6/11		NHK教育 8/90				秋田テレビ 57/37
	大曲 024		NHK教育 43/90			秋田朝日 41/31				NHK総合 45/80		秋田放送 47/11	秋田テレビ 51/37

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
山形	山形 025		さくらんぼテレビ 30/30		NHK教育 4/90		テレビュー山形 36/36		NHK総合 8/80		山形放送 10/10		山形テレビ 38/38
	鶴岡(酒田) 026	山形放送 1/10	さくらんぼテレビ 24/30	NHK総合 3/80			NHK教育 6/90		テレビュー山形 22/36				山形テレビ 39/38
	米沢 027		さくらんぼテレビ 60/30		NHK教育 50/90		テレビュー山形 56/36		NHK総合 52/80		山形放送 54/10		山形テレビ 58/38
福島	福島（郡山） 028		NHK教育 2/90		テレビュー福島 31/31		福島中央 33/33			NHK総合 9/80	福島放送 35/35	福島テレビ 11/11	
	いわき 029		テレビュー福島 62/31		NHK総合 4/80		福島中央 58/33		福島テレビ 8/11		NHK教育 10/90		福島放送 60/35
	会津若松 030	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90	テレビュー福島 47/31		福島テレビ 6/11		福島中央 37/33		福島放送 41/35		
茨城	水戸（勝田） 031	NHK総合 44/80		NHK教育 46/90	日本テレビ 42/4		TBS 40/6		フジテレビ 38/8		テレビ朝日 36/10		テレビ東京 32/12
	日立 032	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
栃木	宇都宮 033	NHK総合 29/80		NHK教育 27/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	とちぎテレビ 31/23	テレビ東京 17/12
	矢板 034	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	とちぎテレビ 33/23	テレビ東京 61/12
群馬	前橋（伊勢崎・高崎） 035	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4	群馬テレビ 48/48	TBS 56/6	放送大学 40/16	フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
	桐生 036	NHK総合 43/80		NHK教育 45/90	日本テレビ 39/4	群馬テレビ 41/48	TBS 37/6	放送大学 40/16	フジテレビ 35/8		テレビ朝日 33/10		テレビ東京 31/12
埼玉	浦和（三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越） 037	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ埼玉 38/38	テレビ東京 12/12
	熊谷 038	NHK総合 33/80		NHK教育 35/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	テレビ埼玉 28/38	テレビ東京 17/12
	秩父 039	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	テレビ埼玉 47/38	テレビ東京 61/12
千葉	千葉（我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代） 040	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
	銚子 041	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	千葉テレビ 39/46	テレビ東京 61/12
東京	23区（昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹） 042	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6	テレビ埼玉 38/38	フジテレビ 8/8	テレビ神奈川 42/42	テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
	八王子 043	NHK総合 51/80	MXテレビ 47/14	NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
	多摩 044	NHK総合 30/80	MXテレビ 28/14	NHK教育 32/90	日本テレビ 26/4		TBS 24/6		フジテレビ 22/8		テレビ朝日 20/10		テレビ東京 18/12
神奈川	* 横浜（横浜の一部） 045	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 48/42	テレビ東京 62/12
	* 横浜（横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀） 046	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ神奈川 42/42	テレビ東京 12/12
	平塚（茅ヶ崎） 047	NHK総合 33/80		NHK教育 29/90	日本テレビ 35/4		TBS 37/6		フジテレビ 39/8		テレビ朝日 41/10	テレビ神奈川 31/42	テレビ東京 43/12
	秦野 048	NHK総合 47/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 51/4		TBS 53/6		フジテレビ 55/8		テレビ朝日 57/10	テレビ神奈川 61/42	テレビ東京 59/12
	小田原 049	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 46/42	テレビ東京 62/12
山梨	甲府 050	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		山梨放送 5/5		テレビ山梨 37/37					
長野	長野1 051		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 40/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 48/11	
	長野2 052		NHK総合 2/80	長野朝日 20/20		テレビ信州 30/30		長野放送 38/38		NHK教育 9/90		信越放送 11/11	
	松本 053		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 48/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 40/11	
	飯田 054			NHK教育 3/90	NHK総合 4/80	テレビ信州 42/30	信越放送 6/11		長野放送 40/38		長野朝日 44/20		
	岡谷・諏訪 055				NHK総合 4/80	テレビ信州 59/30	信越放送 6/11		NHK教育 8/90	長野放送 47/38	長野朝日 61/20		
新潟	新潟（長岡） 056			新潟テレビ21 21/21	テレビ新潟 29/29	新潟放送 5/5			NHK総合 8/80		新潟総合TV 35/35		NHK教育 12/90
	上越 057	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80	テレビ新潟 27/29		新潟テレビ21 37/21		新潟総合TV 33/35		新潟放送 10/5		
富山	富山 058	北日本放送 1/1		NHK総合 3/80					富山テレビ 34/34		NHK教育 10/90		チューリップTV 32/32
	高岡 059	北日本放送 50/1		NHK総合 48/80					富山テレビ 44/34		NHK教育 46/90		チューリップTV 42/32

* 横浜市にお住まいのかたは、通常は「046」をお選びください。
「046」でうまく受信できないときは、「045」をお選びください。

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
石川	金沢（小松）060		石川テレビ 37/37		NHK総合 4/80		北陸放送 6/6		NHK教育 8/90		テレビ金沢 33/33		北陸朝日 25/25
	七尾 061	テレビ金沢 57/33		北陸朝日 59/25		NHK教育 5/90		石川テレビ 55/37		NHK総合 9/80		北陸放送 11/6	
福井	福井 062			NHK教育 3/90			北陸放送 6/6			NHK総合 9/80		福井放送 11/11	福井テレビ 39/39
	敦賀 063						NHK総合 6/80		福井放送 8/11		福井テレビ 38/39		NHK教育 12/90
岐阜	岐阜（大垣）064	東海テレビ 1/1		NHK総合 39/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	岐阜放送 37/37	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	高山 065		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		中部日本放送 6/5	中京テレビ 26/35	東海テレビ 8/1		岐阜放送 38/37		名古屋テレビ 12/11
	中津川 066				NHK総合 4/80		名古屋テレビ 6/11	中京テレビ 26/35	中部日本放送 8/5		東海テレビ 10/1	岐阜放送 28/37	NHK教育 12/90
静岡	静岡（清水・焼津）067		NHK教育 2/90	静岡第1 31/31		静岡朝日 33/33		テレビ静岡 35/35		NHK総合 9/80		静岡放送 11/11	
	浜松 068		静岡第1 30/31		NHK総合 4/80		静岡放送 6/11		NHK教育 8/90		静岡朝日 28/33		テレビ静岡 34/35
	富士（富士宮）069		NHK教育 54/90	静岡第1 27/31		静岡朝日 29/33		テレビ静岡 39/35		NHK総合 52/80		静岡放送 41/11	
	三島・沼津 070		NHK教育 51/90	静岡第1 61/31		静岡朝日 57/33		テレビ静岡 59/35		NHK総合 53/80		静岡放送 55/11	
	島田 071	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		静岡放送 5/11		静岡第1 48/31			静岡朝日 50/33		テレビ静岡 58/35
	藤枝 072	NHK総合 42/80		NHK教育 44/90		静岡放送 40/11		静岡第1 24/31			静岡朝日 26/33		テレビ静岡 38/35
愛知	名古屋（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田）073	東海テレビ 1/1		NHK総合 3/80		中部日本放送 5/5	岐阜放送 37/37	中京テレビ 35/35	三重テレビ 33/33	NHK教育 9/90		名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	豊橋（豊川）074	東海テレビ 56/1		NHK総合 54/80		中部日本放送 62/5		中京テレビ 58/35		NHK教育 50/90		名古屋テレビ 60/11	テレビ愛知 52/25
	豊田 075	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 59/35		NHK教育 51/90		名古屋テレビ 61/11	テレビ愛知 49/25
三重	津（鈴鹿・松坂・四日市）076	東海テレビ 1/1		NHK総合 31/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	三重テレビ 33/33	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	伊勢 077	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 47/35		NHK教育 49/90	三重テレビ 59//33	名古屋テレビ 61/11	
	名張 078	東海テレビ 62/1		NHK総合 52/80		中部日本放送 60/5		中京テレビ 54/35		NHK教育 50/90	三重テレビ 58/33	名古屋テレビ 56/11	
滋賀	大津 079		NHK総合 28/80		毎日放送 36/4		朝日放送 38/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10	びわ湖放送 30/30	NHK教育 46/90
	彦根 080		NHK総合 52/80		毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10	びわ湖放送 56/30	NHK教育 50/90
京都	京都（宇治）081		NHK総合 2/80	京都テレビ 34/34	毎日放送 4/4	テレビ大阪 19/19	朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
	舞鶴 082		NHK総合 51/80		毎日放送 53/4	京都テレビ 57/34	朝日放送 55/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10		NHK教育 49/90
	福知山 083		NHK総合 50/80		毎日放送 54/4	京都テレビ 56/34	朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
大阪	大阪（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾）084		NHK総合 2/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8	テレビ大阪 19/19	読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
兵庫	神戸 085		NHK総合 28/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 18/4		朝日放送 20/6		関西テレビ 22/8		読売テレビ 24/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 26/90
	神戸灘 086		NHK総合 52/80	サンテレビ 62/36	毎日放送 54/4		朝日放送 56/6		関西テレビ 58/8		読売テレビ 60/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 50/90
	川西 087		NHK総合 29/80	サンテレビ 33/36	毎日放送 35/4		朝日放送 37/6		関西テレビ 39/8		読売テレビ 41/10		NHK教育 31/90
	三木 088		NHK総合 44/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 34/4		朝日放送 38/6		関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10		NHK教育 46/90
	姫路 089		NHK総合 50/80	サンテレビ 56/36	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
	明石（加古川）090		NHK総合 51/80	サンテレビ 55/36	毎日放送 53/4		朝日放送 57/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 49/90
奈良	奈良（橿原）091		NHK総合 2/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 4/4	NHK奈良 51/–	朝日放送 6/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 8/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 10/10	奈良テレビ 55/55	NHK教育 12/90
	五條 092		NHK総合 43/80	奈良テレビ 41/55	毎日放送 33/4		朝日放送 35/6		関西テレビ 37/8		読売テレビ 39/10		NHK教育 45/90
和歌山	和歌山 093		NHK総合 32/80	テレビ和歌山 30/30	毎日放送 42/4		朝日放送 44/6		関西テレビ 46/8		読売テレビ 48/10		NHK教育 26/90
	海南・田辺 094		NHK総合 50/80	テレビ和歌山 56/30	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
鳥取	鳥取 095	日本海テレビ 1/1		NHK総合 3/80	NHK 教育 4/90				山陰中央 24/34		山陰放送 22/10		
島根	松江 096	日本海テレビ 30/1					NHK総合 6/80		山陰中央 34/34		山陰放送 10/10		NHK教育 12/90
	浜田 097		NHK総合 2/80	日本海テレビ 54/1		山陰放送 5/10			山陰中央 58/34	NHK教育 9/90			

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岡山	岡山（倉敷）098	TVせとうち 23/23		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80	瀬戸内海放送 25/33	岡山放送 35/35		西日本放送 9/9		山陽放送 11/11	
	津山 099		NHK総合 2/80		TVせとうち 56/23		瀬戸内海放送 62/33	山陽放送 7/11		西日本放送 58/9		岡山放送 60/35	NHK教育 12/90
	笠岡 100		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90	TVせとうち 19/23	山陽放送 6/11			西日本放送 17/9	瀬戸内海放送 21/33	岡山放送 60/35	
広島	広島 101	テレビ新広島 31/31		NHK総合 3/80	中国放送 4/4			NHK教育 7/90		広島ホームTV 35/35			広島テレビ 12/12
	福山 102	テレビ新広島 54/31		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80		中国放送 7/4		広島ホームTV 57/35		広島テレビ 11/12	
	尾道 103	NHK総合 1/80			広島ホームTV 24/35			NHK教育 7/90	テレビ新広島 26/31		中国放送 10/4		広島テレビ 12/12
	呉 104	NHK教育 1/90			広島ホームTV 24/35	広島テレビ 5/12			テレビ新広島 26/31	中国放送 9/4		NHK総合 11/80	
山口	山口（徳山・防府）105	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 38/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
	下関 106	NHK教育 41/90		TXN九州 23/19	山口放送 4/11	山口朝日 21/28		テレビ山口 33/38		NHK総合 39/80	テレビ西日本 10/9		
	宇部 107	NHK教育 14/90				山口朝日 31/28		テレビ山口 20/38		NHK総合 16/80	テレビ西日本 10/9	山口放送 18/11	
	岩国 108	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 22/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
徳島	徳島 109	四国放送 1/1		NHK総合 3/80	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 38/90
香川	高松 110	TVせとうち 19/23		NHK教育 39/90		NHK総合 37/80	瀬戸内海放送 33/33	岡山放送 31/35		西日本放送 41/9		山陽放送 29/11	
	丸亀 111	TVせとうち 16/23		NHK教育 40/90		NHK総合 44/80	瀬戸内海放送 42/33	岡山放送 22/35		西日本放送 20/9		山陽放送 18/11	
愛媛	松山 112		NHK教育 2/90		あいテレビ 29/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 37/37	愛媛朝日 25/25	南海放送 10/10	テレビ新広島 31/31	広島ホームTV 35/35
	新居浜 113		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90		南海放送 6/10		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 14/25		あいテレビ 27/29	
	今治 114		NHK教育 30/90		あいテレビ 27/29		NHK総合 32/80		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 17/25	南海放送 34/10		
	宇和島 115	NHK教育 1/90			あいテレビ 34/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 32/37	愛媛朝日 16/25	南海放送 10/10		
高知	高知 116				NHK総合 4/80		NHK教育 6/90		高知放送 8/8		テレビ高知 38/38		高知さんさんテレビ 40/40
福岡	福岡 117	九州朝日 1/1		NHK総合 3/80	RKB毎日 4/4		NHK教育 6/90			テレビ西日本 9/9		TXN九州 19/19	福岡放送 37/37
	久留米 118	九州朝日 57/1		NHK総合 46/80	RKB毎日 48/4		NHK教育 54/90			テレビ西日本 60/9		TXN九州 14/19	福岡放送 52/37
	大牟田 119	九州朝日 58/1		NHK総合 53/80	RKB毎日 61/4		NHK教育 50/90			テレビ西日本 55/9		TXN九州 19/19	福岡放送 43/37
	北九州 120		九州朝日 2/1	TXN九州 23/19	福岡放送 35/37		NHK総合 6/80		RKB毎日 8/4		テレビ西日本 10/9		NHK教育 12/90
	行橋 121		九州朝日 57/1	TXN九州 19/19	福岡放送 43/37		NHK総合 49/80		RKB毎日 60/4		テレビ西日本 54/9		NHK教育 46/90
佐賀	佐賀 122		NHK教育 40/90	九州朝日 57/1	RKB毎日 48/4	TXN九州 14/19		サガテレビ 36/36	テレビ西日本 60/9	NHK総合 38/80		熊本放送 11/11	福岡放送 52/37
長崎	長崎 123	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80		長崎放送 5/5		長崎国際 25/25		長崎文化 27/27		テレビ長崎 37/37	
	佐世保 124		NHK教育 2/90		長崎国際 17/25		長崎文化 31/27		NHK総合 8/80		長崎放送 10/5		テレビ長崎 35/37
	諫早 125	NHK教育 45/90		NHK総合 47/80		長崎放送 49/5		長崎国際 20/25		長崎文化 24/27		テレビ長崎 42/37	
熊本	熊本（八代）126		NHK教育 2/90	熊本朝日 16/16		熊本県民 22/22		テレビ熊本 34/34		NHK総合 9/80		熊本放送 11/11	
大分	大分（別府）127			NHK総合 3/80		大分放送 5/5		テレビ大分 36/36		大分朝日 24/24			NHK教育 12/90
	中津 128			NHK総合 48/80		大分放送 51/5		テレビ大分 37/36		大分朝日 17/24			NHK教育 45/90
宮崎	宮崎（都城）129						テレビ宮崎 35/35		NHK総合 8/80		宮崎放送 10/10		NHK教育 12/90
	延岡 130		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		宮崎放送 6/10		テレビ宮崎 39/35				
鹿児島	鹿児島 131	南日本放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		鹿児島放送 32/32		鹿児島テレビ 38/38		鹿児島読売 30/30	
	阿久根 132		鹿児島読売 17/30		鹿児島放送 23/32		鹿児島テレビ 35/38		NHK総合 8/80		南日本放送 10/1		NHK教育 12/90
	鹿屋 133		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		南日本放送 6/1		鹿児島放送 31/32		鹿児島テレビ 33/38		鹿児島読売 25/30
沖縄	那覇（沖縄）134		NHK総合 2/80			琉球朝日 28/28			沖縄テレビ 8/8		琉球放送 10/10		NHK教育 12/90

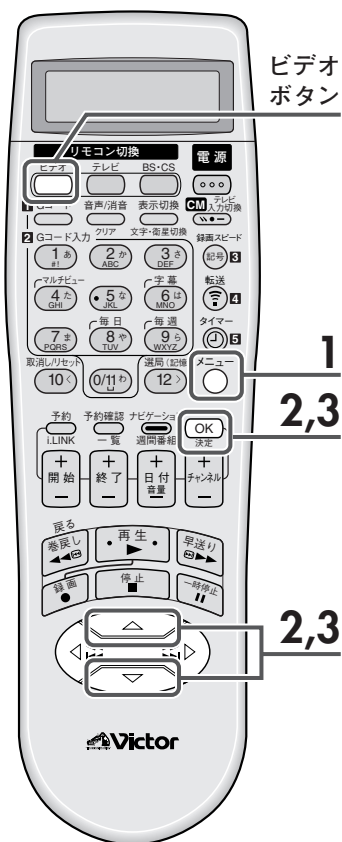
放送局をひとつずつ設定する

次のようなときには、ご自分で放送局をひとつずつ受信できるように設定してください。

- 「一括チャンネル合わせ」(☞44ページ)では受信できない放送局があるとき
- お住まいの地域に新しい放送局ができたとき
- CATV放送のチャンネルを受信できるようにしたいとき

準備

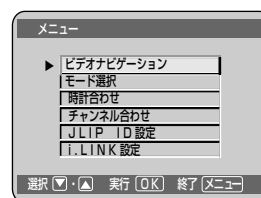
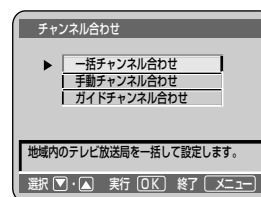
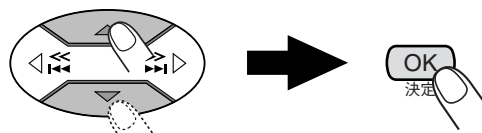
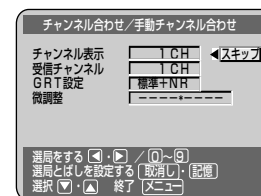
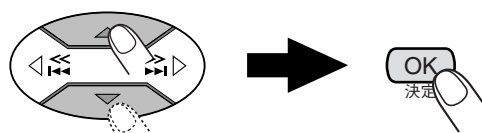
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。

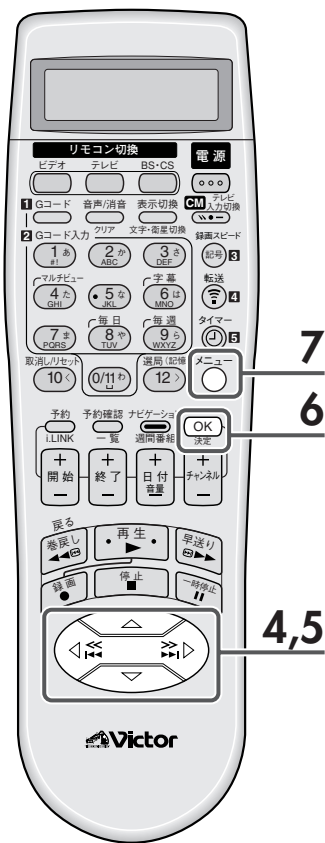
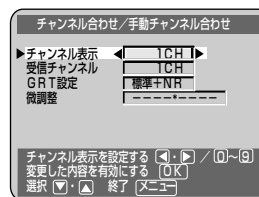
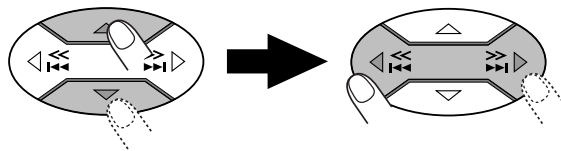
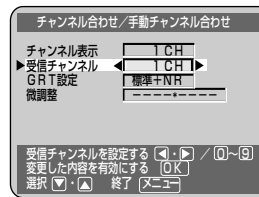
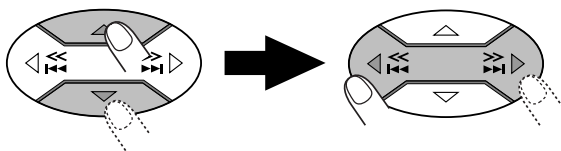
例: チャンネル表示 1 に NHK 総合が映るようにする

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△/▽]を押して、「チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

▶を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

3 [△/▽]を押して、「手動チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

▶を「手動チャンネル合わせ」に合わせてから、

例:現在受信している放送局が 1 チャンネルのとき

テレビ画面には現在受信しているチャンネルの映像が、「チャンネル合わせ」画面と重なって映ります。

4 [△／▽］を押して「チャンネル表示」に合わせ、[◁／▷］を押して「チャンネル表示」の番号を変える

5 [△／▽] を押して「受信チャンネル」に合わせ、[◁ ／▷ ］を押して「受信チャンネル」を変更する

テレビ画面には、新しく選んだ放送局（受信チャンネル）の映像が、「メニュー」画面と重なって映ります。

6 [OK]を押して変更を有効にする

7 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

- チャンネル表示や受信チャンネルを変更するときは、数字ボタン（0～9）を使うこともできます。
  例：「55」と入力するには、5を2回押す。
  例：「10」と入力するには、1と0を押す。

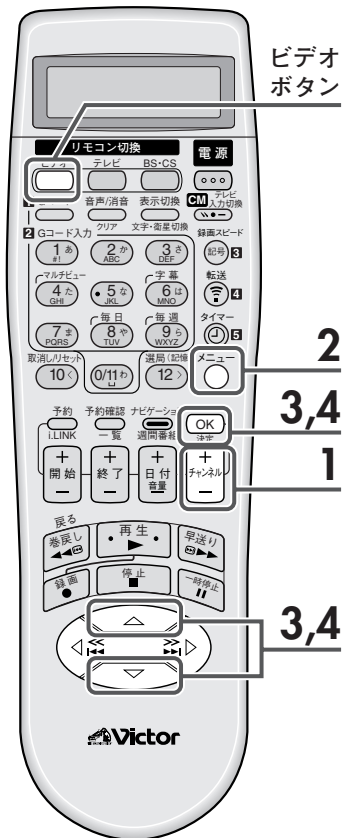
お願い

- 設定が終了したあとで、必ずガイドチャンネルも設定してください。（☞58ページ）

ゴーストの出るチャンネルを調整する

本機にはゴーストやノイズの多いチャンネルをよりクリアーに調整する機能があります。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。

ビデオボタン

2

3,4

1

3,4

1

[チャンネル+／ー]を押して、映りの悪いチャンネルを選ぶ

テレビ画面には選んだチャンネルの映像が映ります。

- 本体のチャンネル+/ーボタンでも操作できます。

2

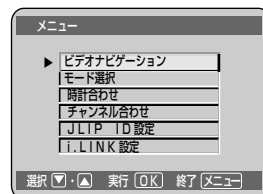
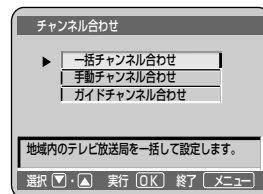
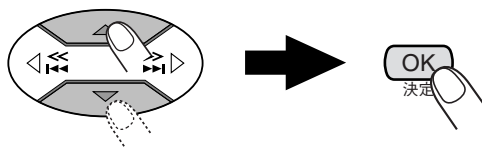
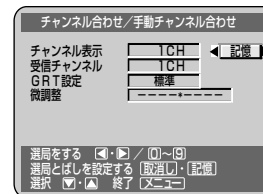
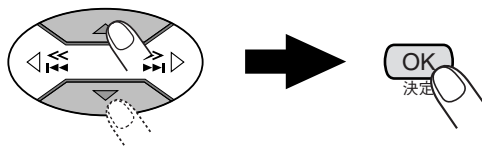
[メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

3

[△／▽]を押して、「チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

チャンネル合わせ
一括チャンネル合わせ
手動チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
地域内のテレビ放送局を一括して設定します。
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

▶を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

4

[△／▽]を押して、「手動チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

▶を「手動チャンネル合わせ」に合わせてから、

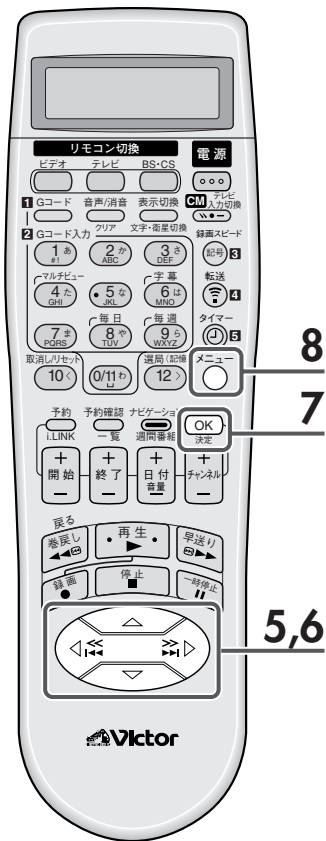
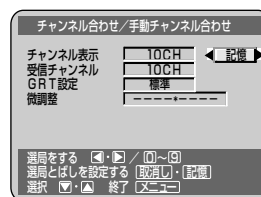
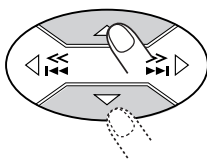
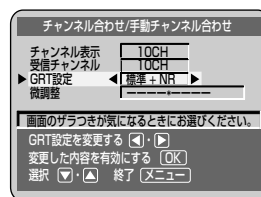
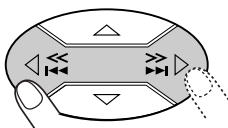
リモコンの数字ボタン(0〜9)でチャンネルを選ぶときは

数字ボタン(0〜9)を押す。

例： 4チャンネルを選ぶときは4を押す。

例： 10チャンネルを選ぶときは1と0を続けて押す。

お願い

- BSチャンネルでは「GRT設定」を行うことはできません。
  BSチャンネルの映りが悪いときは、風などの影響により、BSアンテナの向きが変わってしまったことが原因として考えられます。
  このときは、BSアンテナの方向をもう1度調節し直してください。
  (☞38ページ)

5 [◁ ／▷]を押して、「ゴーストの出るチャンネル」を選ぶ

6 [△／▽]を押して「GRT設定」を選び、[◁／▷]を押して設定する

GRT 設定

標準　　：通常はこの設定でお使いください。
標準＋NR：画面がザラつくときに選択します。
切　　　：ゴースト低減が不要なときに選択します。

7 [OK]を押して、変更を有効にする

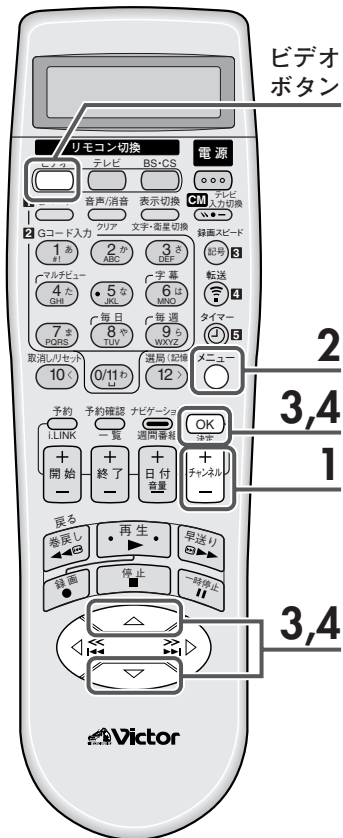
8 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

映りの悪いチャンネルを微調整する

映像の色がうすく見づらいときは、受信チャンネルを微調整してください。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。

ビデオ ボタン

2

3,4

1

3,4

1 [チャンネル＋／ー]を押して、映りの悪いチャンネルを選ぶ

テレビ画面には選んだチャンネルの映像が映ります。

- 本体のチャンネル＋/ーボタンでも操作できます。

2 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

3 [△／▽]を押して、「チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

▶を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

4 [△／▽]を押して、「手動チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

OK 決定

▶を「手動チャンネル合わせ」に合わせてから、

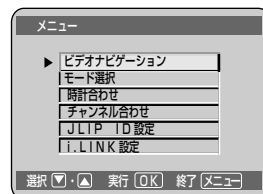
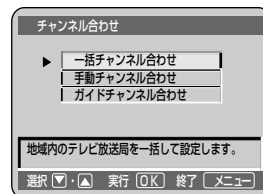
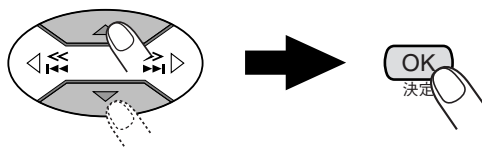
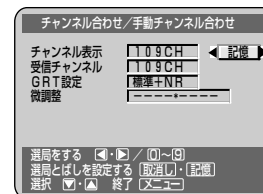
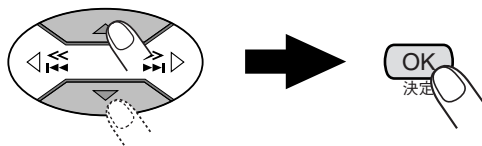
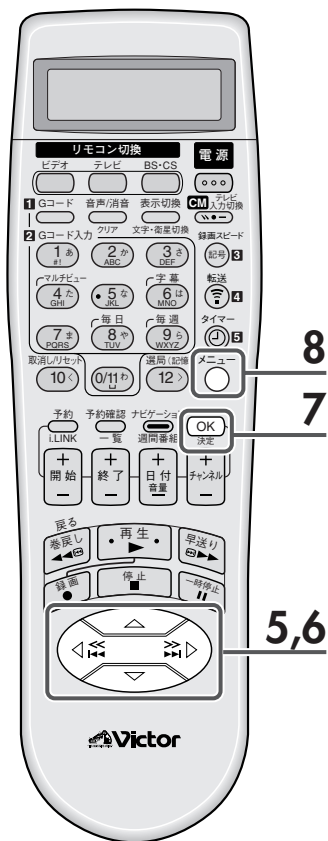
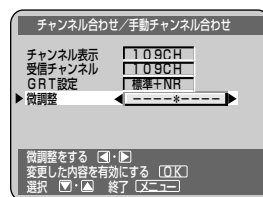
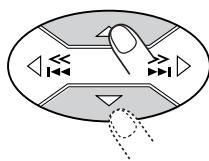
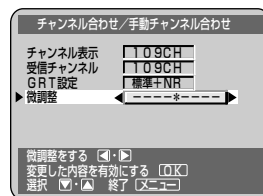
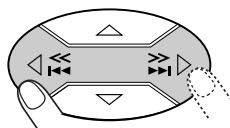
リモコンの数字ボタン(0〜9)でチャンネルを選ぶときは

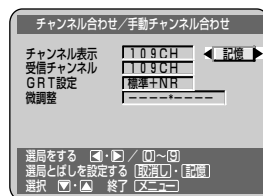
数字ボタン(0〜9)を押す。

例: 4チャンネルを選ぶときは4を押す。

例: 10チャンネルを選ぶときは1と0を続けて押す。

お願い

- BSチャンネルでは「微調整」を行うことはできません。
  BSチャンネルの映りが悪いときは、風などの影響により、BSアンテナの向きが変わってしまったことが原因として考えられます。
  このときは、BSアンテナの方向をもう1度調節し直してください。
  (☞38ページ)

5 [△／▽]を押して、「微調整」を選ぶ

チャンネル合わせ／手動チャンネル合わせ
チャンネル表示 109CH
受信チャンネル 109CH
GRT設定 標準+NR
▶微調整 ◀ ----*---- ▶
微調整をする ◀・▶
変更した内容を有効にする OK
選択 ▼・▲ 終了 メニュー

6 [◁／▷]を押して微調整する

映像を見ながら調整してください。

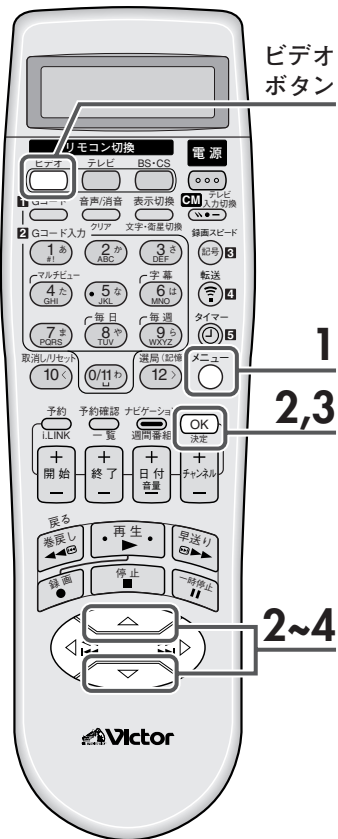
7 [OK]を押して変更を有効にする

8 [メニュー]を押して、終了する

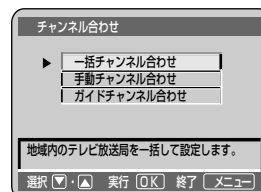
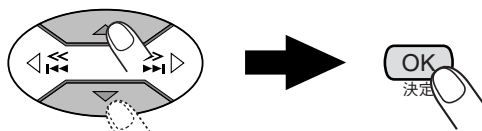
メニュー画面が消えます。

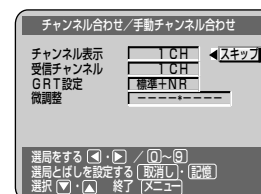
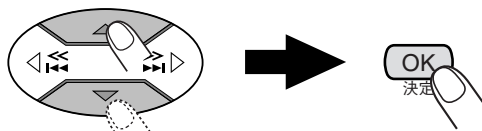
不要な放送局を受信できないようにする（チャンネルスキップ）

不要な放送局や、映りが悪すぎて見ない放送局などを飛ばしたいときに設定します。

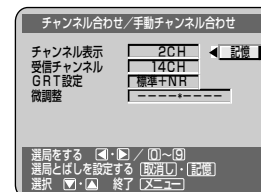
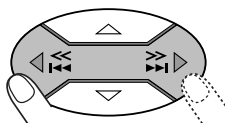
準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

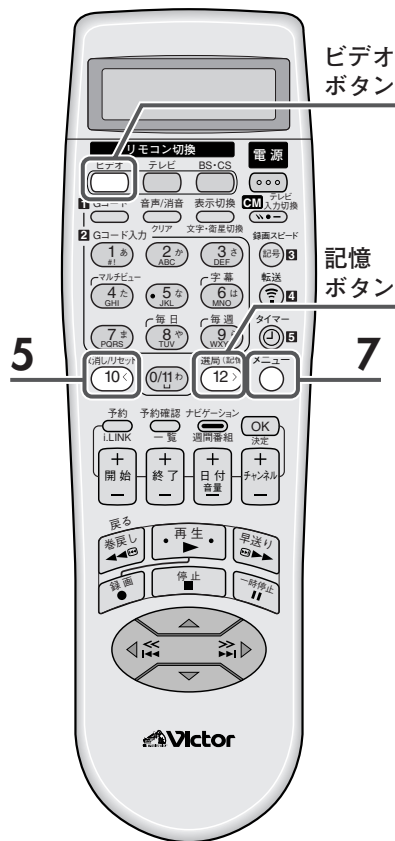
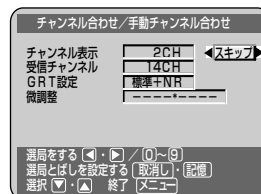
2 [△／▽]を押して、「チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

▶を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「手動チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

▶を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

テレビ画面には現在受信しているチャンネルの映像が、メニュー画面と重なって映ります。

4 [◁／▷]を押して、飛ばしたい放送局を選ぶ

テレビ画面には選んだチャンネルの映像が、メニュー画面と重なって映ります。

5 [取消し]を押して、スキップを設定する

チャンネル合わせ／手動チャンネル合わせ
チャンネル表示　2CH　◀スキップ▶
受信チャンネル　14CH
GRT設定　標準+NR
微調整　-----*-----
選局をする ◀・▶ ／ 0～9
選局とばしを設定する 取消し・記憶
選択 ▼・▲　終了 メニュー

6 他の放送局もスキップするときは、手順の4と5をくり返す

7 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

- チャンネル表示も変更したいときは、「放送局をひとつずつ設定する」（☞ 50ページ）をご覧ください。
- 受信の状態があまり良くないときは、「微調整」を行います。（☞54ページ）

お願い

- 放送局を新たに記憶させたときは、その放送局のガイドチャンネルも設定してください。（☞58ページ）

誤ってチャンネルを飛ばしたときに再び記憶するには

❶「不要な放送局を受信できないようにする」の手順 **1** から **3** までを行う
❷ ◁ ／ ▷ ボタンを押し、受信したい放送局を選ぶ
❸ **記憶**ボタンを押す
❹ **メニュー**ボタンを押し、メニュー操作を終了する

ガイドチャンネルを設定する

Gコード予約するためのチャンネルを設定する

ガイドチャンネルが正しく設定されていないと、Gコードによる録画の予約ができなくなります。
次のような操作をされたときは、ガイドチャンネルを設定し直す必要があります。

- 受信チャンネルをひとつずつ設定したとき
- 「一括チャンネル合わせ」(☞44 ページ)のあとで、新たな放送局を追加したとき
- チャンネル表示を変えたとき

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

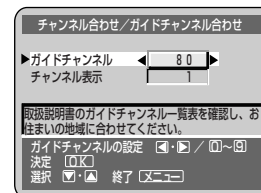
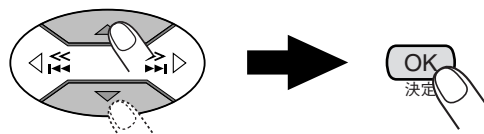
例：テレビ神奈川のチャンネル表示番号を42チャンネルに変えるとき

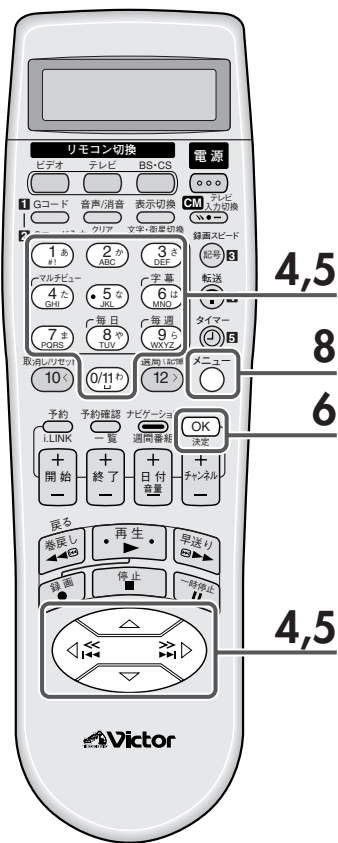
1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△／▽]を押して、「チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

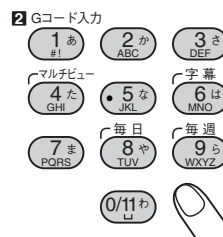
▶を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「ガイドチャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

▶を「ガイドチャンネル合わせ」に合わせてから、

現在受信している放送局の設定が表示されます

- ガイドチャンネルとは、G コード予約で放送局を正しく受信するために付けられた、その放送局専用の番号です。実際のチャンネルとは異なることがありますのでご注意ください。
- ガイドチャンネルやチャンネル表示を変更するときは、数字ボタン（0～9）を使うこともできます。
  例：「10」と入力するには、1 と 0 を押す。
  例：「102」と入力するには、1と 0 と 2 を押す。

4 [数字ボタン(0〜9)]または[◁／▷]を押して設定したい放送局のガイドチャンネル番号を選び、[▽]を押す

- この例では、テレビ画面の「ガイドチャンネル」欄に「42」を表示させます。
  実際に設定するときは、☞60ページのガイドチャンネル一覧表をご覧ください。

5 [数字ボタン(0〜9)]または[◁／▷]を押して設定したい放送局のチャンネル表示番号を選ぶ

6 [OK]を押して変更を有効にする

7 他の放送局もガイドチャンネルを設定するときは、手順の4〜6をくり返す

8 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

Gコードインフォのガイドチャンネルを設定する

Gコードインフォとは、近い将来に始められる放送（「0」から始まるGコードが使われます。）です。その放送をGコードを使って録画予約するためには、Gコードインフォのためのガイドチャンネルを設定する必要があります。
同一ネットワーク内の放送局には、すべて同じGコードインフォのガイドチャンネルが割り当てられます。

録画予約の方法はGコード録画予約(☞68ページ)と同じです。
ただし、**Gコードインフォのサービスが始まるまで使用できません。**

Gコードインフォの設定のしかたは、各放送局のガイドチャンネルの設定方法と同じです。
手順**4**で、「102」〜「106」（Gコードインフォのガイドチャンネルは3桁の番号）を選ぶと、テレビ画面の表示が「ガイドチャンネル」から「インフォチャンネル」に変わります。

Gコードインフォのガイドチャンネル

TBSテレビ系	日本テレビ系	フジテレビ系	テレビ朝日系	テレビ東京系
102	103	104	105	106

ガイドチャンネルを設定する（つづき）

ガイドチャンネル一覧表

	放送局	ガイドチャンネル
全国共通	NHK総合	80
	NHK教育	90
	BS1	71
	BS3	72
	BS5　WOWOW	73
	BS7　NHK衛星第1	74
	BS9　ハイビジョン放送	75
	BS11 NHK衛星第2	76
	BS13	77
	BS15	78

	放送局	ガイドチャンネル
CATV/CS放送	日本テレビケーブルニュース	40
	CSN1ムービーチャンネル	49
	チャンネルNECO	50
	ゴルフネットワーク	51
	CNN	81
	VIBE	82
	スター・チャンネル	83
	スペースシャワーTV	84
	スポーツ・アイ	85
	衛星劇場	86
	GAORA（ガオラ）	87
	ホームチャンネル	88
	スカイ・A	89
	BBC	91
	ファミリー劇場	92
	スーパーチャンネル	93
	ザ・ゴルフ・チャンネル	94
	朝日ニュースター	99

●北海道・東北

	放送局	ガイドチャンネル
北海道	北海道放送（HBC）	1
	札幌テレビ（STV）	5
	テレビ北海道（TVH）	17
	北海道文化（UHB）	27
	北海道テレビ（HTB）	35
青森	青森放送（RAB）	1
	青森朝日（ABA）	34
	青森テレビ（ATV）	38
岩手	岩手放送（IBC）	6
	岩手朝日（IAT）	20
	めんこい（MIT）	33
	テレビ岩手（TVI）	35
秋田	秋田放送（ABS）	11
	秋田朝日（AAB）	31
	秋田テレビ（AKT）	37
宮城	東北放送（TBC）	1
	仙台放送（OX）	12
	東日本放送（KHB）	32
	宮城テレビ（MMT）	34
山形	山形放送（YBC）	10
	さくらんぼテレビ（SAY）	30
	テレビユー山形（TUY）	36
	山形テレビ（YTS）	38
福島	福島テレビ（FTV）	11
	テレビユー福島（TUF）	31
	福島中央（FCT）	33
	福島放送（KFB）	35

●関東・甲信越

	放送局	ガイドチャンネル
関東	日本テレビ（NTV）	4
	TBSテレビ（TBS）	6
	フジテレビ（CX）	8
	テレビ朝日（ANB）	10
	テレビ東京（TX）	12
	東京メトロポリタン（MXテレビ）	14
	放送大学	16
	テレビ埼玉（TVS）	38
	テレビ神奈川（TVK）	42
	千葉テレビ（CTC）	46
	群馬テレビ（GTV）	48
	とちぎテレビ（TTV）	23
新潟	新潟放送（BSN）	5
	新潟テレビ21（NT21）	21
	テレビ新潟（TNN）	29
	新潟総合（NST）	35
長野	信越放送（SBC）	11
	長野朝日（ABN）	20
	テレビ信州（TSB）	30
	長野放送（NBS）	38
山梨	山梨放送（YBS）	5
	テレビ山梨（UTY）	37

●中部

	放送局	ガイドチャンネル
静岡	静岡放送（SBS）	11
	静岡第一（SDT）	31
	静岡朝日テレビ（SATV）	33
	テレビ静岡（SUT）	35
中京	東海テレビ（THK）	1
	中部日本放送（CBC）	5
	名古屋テレビ（NBN）	11
	テレビ愛知（TVA）	25
	三重テレビ（MTV）	33
	中京テレビ（CTV）	35
	岐阜放送（GBS）	37
富山	北日本放送（KNB）	1
	チューリップTV（TUT）	32
	富山テレビ（T34）	34
石川	北陸放送（MRO）	6
	北陸朝日（HAB）	25
	テレビ金沢（KTK）	33
	石川テレビ（ITC）	37
福井	福井放送（FBC）	11
	福井テレビ（FTB）	39

●関西・中国

	放送局	ガイドチャンネル
関西	毎日放送（MBS）	4
	朝日放送（ABC）	6
	関西テレビ（KTV）	8
	読売テレビ（YTV）	10
	テレビ大阪（TVO）	19
	テレビ和歌山（WTV）	30
	びわ湖放送（BBC）	30
	京都テレビ（KBS）	34
	サンテレビ（SUN）	36
	奈良テレビ（TVN）	55
岡山	西日本放送（RNC）	9
	山陽放送（RSK）	11
	テレビせとうち（TSC）	23
	瀬戸内海放送（KSB）	33
	岡山放送（OHK）	35
広島	中国放送（RCC）	4
	広島テレビ（HTV）	12
	テレビ新広島（TSS）	31
	広島ホーム（HOME）	35
鳥取島根	日本海テレビ（NKT）	1
	山陰放送（BSS）	10
	山陰中央（TSK）	34
山口	山口放送（KRY）	11
	山口朝日（YAB）	28
	テレビ山口（TYS）	38

●四国

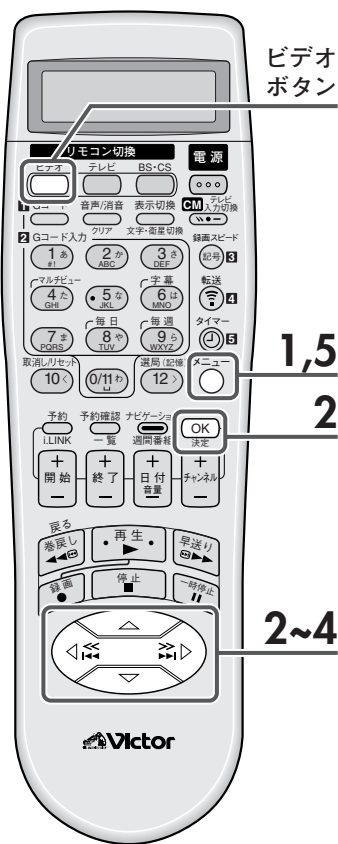
	放送局	ガイドチャンネル
香川	西日本放送（RNC）	9
	山陽放送（RSK）	11
	テレビせとうち（TSC）	23
	瀬戸内海放送（KSB）	33
	岡山放送（OHK）	35
愛媛	南海放送（RNB）	10
	あいテレビ（ITV）	29
	愛媛放送（EBC）	37
徳島	四国放送（JRT）	1
高知	高知放送（RKC）	8
	テレビ高知（KUTV）	38
	さんさんテレビ（KSS）	40

●九州

	放送局	ガイドチャンネル
福岡	九州朝日（KBC）	1
	RKB毎日（RKB）	4
	テレビ西日本（TNC）	9
	TXN九州（TVQ）	19
	福岡放送（FBS）	37
大分	大分放送（OBS）	5
	大分朝日（OAB）	24
	テレビ大分（TOS）	36
佐賀	サガテレビ（STS）	36
長崎	長崎放送（NBC）	5
	長崎国際（NIB）	25
	長崎文化（NCC）	27
	テレビ長崎（KTN）	37
熊本	熊本放送（RKK）	11
	熊本朝日（KAB）	16
	熊本県民（KKT）	22
	テレビ熊本（TKU）	34
宮崎	宮崎放送（MRT）	10
	テレビ宮崎（UMK）	35
鹿児島	南日本放送（MBC）	1
	鹿児島読売テレビ（KYT）	30
	鹿児島放送（KKB）	32
	鹿児島テレビ（KTS）	38
沖縄	沖縄テレビ（OTV）	8
	琉球放送（RBC）	10
	琉球朝日（QAB）	28

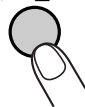
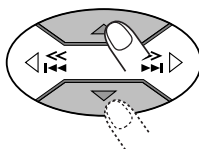
日付と時刻を設定する

お買い上げ時には時計は設定されていません。はじめに正しい日付と時刻を設定してください。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。

例：2001 年 12 月 24 日、午後 8 時 30 分に合わせる

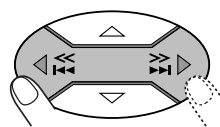
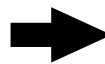
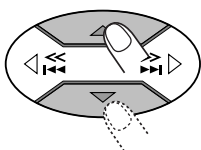
1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

メニュー
▶ ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

2 [△ ／▽]を押して、「時計合わせ」を選び [OK] を押す

▶を「時計合わせ」に合わせてから、

3 [△ ／▽]を押して、年・月日・時刻を選び、[◁ ／▷]を押して数字を合わせる

時計合わせ
年 2001年
月日 12月24日 月曜日
時刻 午後 8：30
ぴったりクロック 3チャンネル
選択 ▼・▲ 変更 ◀・▶ 終了 メニュー

① ◁ ／▷ ボタンを押し、年を合わせてから、△ ／▽ボタンを押す。
② ◁／▷ボタンを押し、月日を合わせてから、△／▽ボタンを押す。
◁／▷ボタンを押し続けると、15日単位で早く変わります。
③ ◁／▷ボタンを押して、時刻を合わせる。
◁／▷ボタンを押し続けると、30分単位で早く変わります。

4 [△ ／▽]を押して、ぴったりクロックに合わせ、[◁／▷]を押して、チャンネルを選ぶ

- 「一括チャンネル合わせ」(☞44ページ)を行ったあとは、自動的に設定されています。
- 自分で選ぶときは、NHK教育テレビを選びます。

5 [メニュー]を押して、終了する

メニューボタンを押すと時計が動き始めます。

- 正確に合わせたいときは時報に合わせて、メニューボタンを押してください。

ぴったりクロックとは

- 毎日7、12、19時に、NHK教育テレビの時報が放送されているかどうかを確認し、時報が放送されると、時計の誤差を自動修正します。
- 平成13年2月現在、時報は1日1回、正午のみです。
- 次のようなときは、ぴったりクロックは働きません。
  - 番組編成で時報が放送されていないとき
  - 時報が放送されていないとき
  - 本機の電源が入っているとき
  - 現在時刻とのずれが±3分以上あるとき
  - 時報のバックに音楽が入っているとき
- 高校野球シーズンなどは、時報が放送されないことがあり、現在時刻とのずれが生じます。
- ぴったりクロックが働いていないと、本機の時計が正確に合わない ことがあります。この状態で録画予約すると、番組の開始または終了部分がずれた状態で録画されます。ぴったりクロックが働いていないときは、時計を正確に合わせることをおすすめします。

使用するテープと記録方式

録画について

テープの種類	記録方式		
	D-VHS	S-VHS	VHS
D-VHS	○	○	○
S-VHS	×	○	○
VHS	×	○	○

（○：記録可能　×：不可）

- 本機は、D-VHS（MTP）方式、S-VHS方式、VHS方式で記録することができます。
- D-VHS録画をするときは、D-VHSテープをお使いください。
- S-VHS/VHS記録をするときは、D-VHSテープ、S-VHSテープ、VHSテープのどれでもお使いになれます。

DF-480テープを使用する前に

D-VHS専用のクリーニングテープ（ビクターD-VHSビデオヘッドクリーナーTCL-DVS）を使って、ビデオヘッドをクリーニングしてから使用してください。

クリーニングテープの使い方

1. 本機にクリーニングテープを入れます。
2. 約30秒再生したあと、停止ボタンを押します。
3. クリーニングテープを取り出します。
4. DF-480テープで録画･再生をして、画像･音声が正常でないときは、**1**、**2**の操作を1〜2回繰り返してください。

D-VHSテープの最長記録時間

LS3モードでの記録時間は、STDモードの3倍ぶんまたはHSモードの6倍ぶんあります。

D-VHSテープ	D-VHS記録			S-VHS/VHS記録	
	HSモード	STDモード	LS3モード	標準（SP）モード	3倍（EP）モード
DF-480	4時間（240分）	8時間（480分）	24時間（1440分）	4時間（240分）	12時間（720分）
DF-420	3.5時間（210分）	7時間（420分）	21時間（1260分）	3.5時間（210分）	10.5時間（630分）
DF-300	2.5時間（150分）	5時間（300分）	15時間（ 900分）	2.5時間（150分）	7.5時間（450分）
DF-240	2時間（120分）	4時間（240分）	12時間（ 720分）	2時間（120分）	6時間（360分）

D-VHSテープにS-VHS記録する場合

1. 本体のD-VHSボタンを押してD VHS表示を消灯させます。
2. メニューの「モード選択ー機能設定ー S-VHS テープ録画」が「S-VHS」になっていることを確認してください。お買い上げ時は、「S-VHS」に設定されていますので、操作不要です。操作のしかたは、 ☞26ページをご覧ください。

D-VHSテープにVHS記録する場合

1. 本体のD-VHSボタンを押してD VHS表示を消灯させます。
2. メニューの「モード選択ー機能設定ー S-VHS テープ録画」を「VHS」にしてください。操作のしかたは、☞26ページをご覧ください。

S-VHSテープにVHS記録する場合

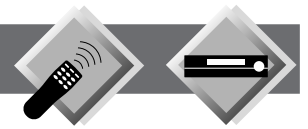
メニューの「モード選択ー機能設定ーS-VHSテープ録画」を「VHS」にしてください。操作のしかたは、 ☞26ページをご覧ください。

VHSテープにS-VHS記録する場合

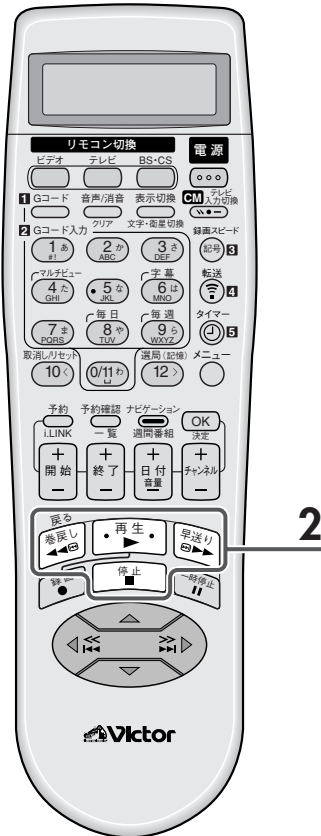
本体のS-VHS ETボタンを押すと、S-VHS ETランプが点灯し、S-VHS記録できます。くわしくは、☞113ページをご覧ください。

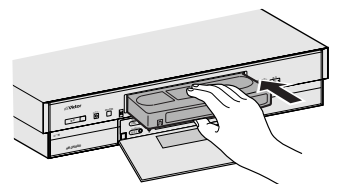
再生について

- 本機は、D-VHS（MTP）方式、S-VHS方式、VHS方式で記録されたテープを再生することができます。
- 本機は、記録方式（D-VHS、S-VHS、VHS）を自動的に判別してテープを再生します。

ビデオを見る

ビデオテープを再生してみましょう。
（BSデジタル放送を録画したテープを再生する場合は ☞84ページをご覧ください）

準備

- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編（☞30、34、40 ページ）をご覧ください。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 テープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。
- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
  ビデオナビゲーションについては、☞86ページをご覧ください。
- つめのないカセットを入れると、自動的に再生が始まります。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

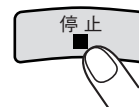
2 [再生]を押す

再生が始まります。

再生をやめる

再生中に

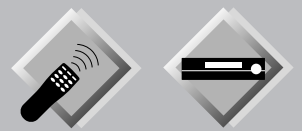
早送り / 巻戻しをする

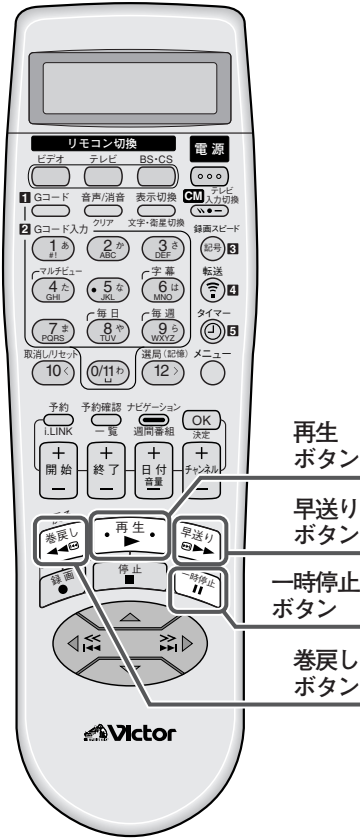
停止中に

早送りするときは：

巻戻しするときは：

早送り／巻戻しをやめるには、停止(■)ボタンを押します。

- 再生中や早送り中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻き戻されます。
- メニューの「モード選択ー映像設定ーテーププレベルアップ」が「入」になっているときは、再生するテープに合わせて、最適な映像をお楽しみいただけます。（☞27 ページ）

見る・録画・予約

映像を見ながら早送り/巻戻しする(シャトルサーチ)

D-VHSのHSモードでは6倍速、STDモードでは12倍速、LS3モードでは36倍速で再生します。S-VHS/VHSの標準モードでは11倍速、3倍モードでは31倍速で再生します。

再生中に

早送りするときは：

巻戻しするときは：

通常の再生に戻すには、再生（▶）ボタンを押します。

● ボタンを 2 秒以上押し続けると、押している間、早送り / 巻戻しされます。指を離すと通常の再生に戻ります。

再生を一時停止する

再生中に

再生が一時停止されて、静止画がテレビ画面に映ります。
通常の再生に戻すには、再生（▶）ボタンを押します。

テープを取り出す

本体のボタンでのみ操作できます。

停止中に

停止/取出し

ご注意

• シャトルサーチ中、一時停止中は音声が出ません。

• 再生スピードが切り換わる部分では、画像が乱れることがあります。

• 他の機器で D-VHS 録画したテープをシャトルサーチすると、静止画になることがあります。

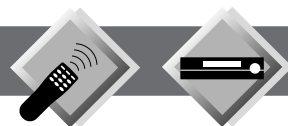
• 一時停止（静止画再生）が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。

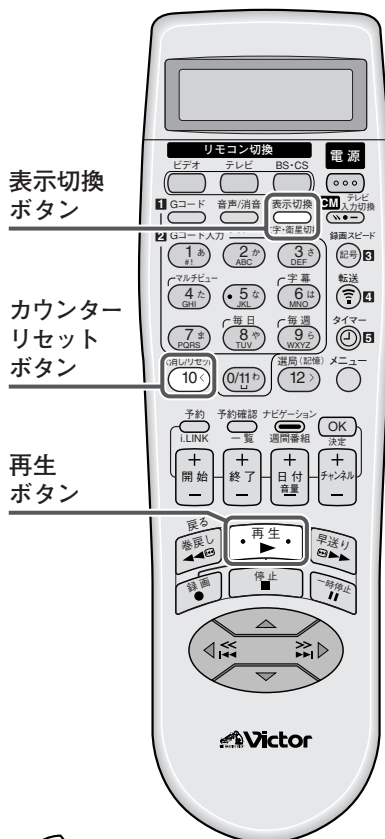
• S-VHS ／ VHS 記録したテープを一時停止（静止画再生）中に、コマ送りができます。
詳しくは、「コマ送りやスローで再生する」（☞108ページ）をご覧ください。

表示切換ボタン

カウンターリセットボタン

再生ボタン

テープの残り時間を調べる

本体表示窓やテレビ画面に表示されているカウンターの表示を切り換えてテープ残量を表示させます。

再生または録画中

押すたびに、本体表示窓が次のように切り換わります。
- テープの残量は少しの間テープを走行させないと表示されません。
- 再生中は、チャンネル表示しません。

テープの残量表示 → チャンネル表示 → 時計表示 → カウンター表示 →

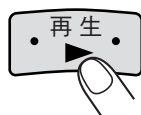
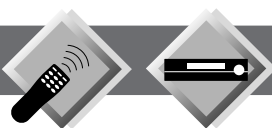
カウンターをリセットするには

本体表示窓やテレビ画面のカウンターが「0:00:00」に戻ります。

- テープの残量表示は、目安の時間であり、現在選ばれている録画スピードで計算されます。
- 使用されているテープによっては、テープの残量が正しく表示されないことがあります。
- カウンターや残量表示などをテレビ画面に出したくないときは、メニューの「モード選択ー機能設定ーオンスクリーン」を「切」にしてください。(☞23ページ)
- テープの残量を計算中は、カウンターの表示が「−−：−−」になったり、点滅したりすることがあります。

ご注意

- 電源プラグを抜き差ししたり、停電があったときは、カウンターが「0:00:00」、テープ残量が「−−：−−」になります。

テープを繰り返し再生する(リピート再生)

(5秒以上押し続ける)

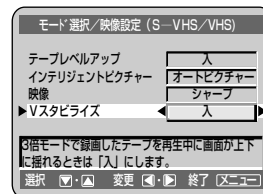
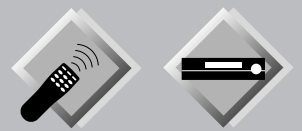
途中で止めるには、停止(■)ボタンを押します。

- 本体表示窓の「▷」が点滅して、テープの再生を50回繰り返します。
- D-VHSのLS3モードでは、リピート再生できません。

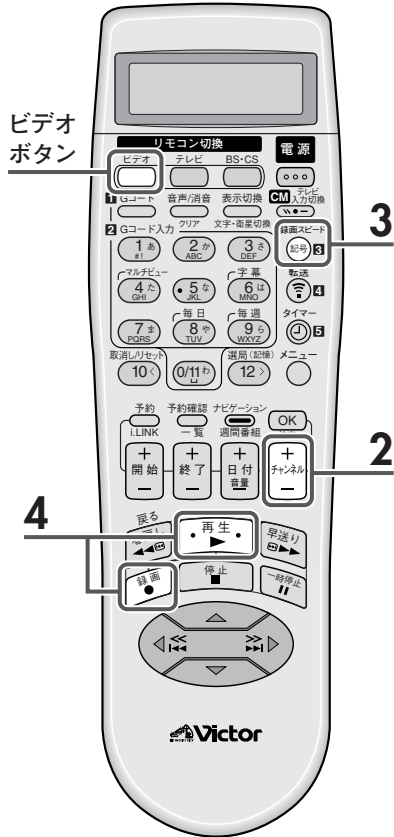
見る・録画・予約

S-VHS/VHS で記録したテープを再生中に、映像が上下に揺れるときは

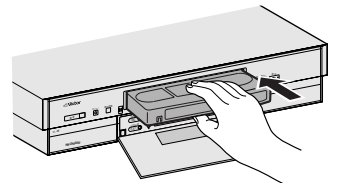
メニューの「モード選択ー映像設定ーVスタビライズ(ビデオスタビライザー)」を「入」にしてください。(☞26ページ参照)
映像の上下の揺れが補正されます。

テープを見終わったあとは、必ず「V スタビライズ」を「切」に戻してください。
- D-VHSモード、録画中、スロー再生中は、効果はありません。

番組を録画する

録画する

BSデジタルチューナーの番組を録画するときは ☞ 78ページ、デジタルCSチューナーの番組を録画するときは ☞128ページをご覧ください。
録画を始めると、自動的に録画の始めにインデックスマーク（VISS：VHS Index Search System）（☞106ページ）と呼ばれる信号が記録されます。

準備

- リモコンの準備、テレビと本機の接続、チャンネルの設定が終わっていないときは、先に「設置と準備」編(☞30～60ページ）をご覧ください。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。
- BSデコーダーを接続してお使いのときは、 ☞120ページをご覧ください。

1 つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。
- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
ビデオナビゲーションについては、☞86ページをご覧ください。
- D-VHSテープを入れると、本体表示窓の 表示が点灯し、D-VHS録画できます。
- S-VHS/VHSテープを入れると、本体表示窓のSP(標準)またはEP(3倍)表示が点灯し、S-VHS/VHS記録できます。
- 使用するテープと記録方式については、☞62ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

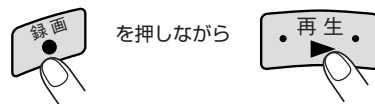
2 [チャンネル＋/－]を押して、番組を選ぶ

- 本体のチャンネル＋/－ボタンでも操作できます。

3 [録画スピード]を押して、録画スピードを選ぶ

- 押すたびに、録画スピードが切り換わります。

HS	：画質と音質を最も重視するとき デジタルハイビジョンをそのまま録画するとき
STD	：画質と時間を重視するとき デジタルSD放送を録画するとき
LS3	：S-VHS以上の画質でSTDの3倍長く録画するとき
SP(標準)	：S-VHS／S-VHS ET／VHSモードで画質を重視するとき
EP(3倍)	：S-VHS／S-VHS ET／VHSモードで3倍長く録画するとき

4 [録画]を押しながら[再生]を押す

を押しながら
- 本体の録画（●）ボタンでも操作できます。
このときは、再生（▶）ボタンを押す必要はありません。

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをして、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一本機およびテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

リモコンの数字ボタン（0～9）でチャンネルを選ぶときは

① リモコンのビデオボタンを押す。
② 数字ボタン（0～9）を押す。
例：4チャンネルを選ぶときは4を押す。
例：10チャンネルを選ぶときは1と0を続けて押す。
例：外部入力を選ぶときは0を押す。強制的に「L-1」入力に切り換わります。

- BSチャンネルは、数字ボタンでは選べません。

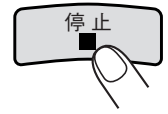
- 一時停止が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 録画中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは停止します。
- ワンタッチタイマー録画中にテープの終わりまでくると、自動的にテープが停止し、電源が切れます。
- ワンタッチタイマー録画中に、録画予約した時間と重なったときは、ワンタッチタイマー録画が優先されますのでご注意ください。
- 二カ国語放送の主音声と副音声の両方の音声を録音したいときは、メニューの「モード選択ー音声設定ー二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。（☞26、27ページ）
- 録画と録画のつなぎ部分で映像が乱れることがありますが、故障ではありません。
- メニューの「モード選択ー映像設定ーテープレベルアップ」が「入」になっているときは、録画するテープの品質レベルを測定して最適な画質で録画します。詳しくは「最適な画質で録画・再生をする」をご覧ください。（☞114ページ）
- VHSテープにS-VHSの画質で録画することができます（S-VHS ET）。詳しくは、「VHSテープにS-VHSの画質で録画する」（☞113ページ）をご覧ください。

録画を一時停止する

録画中に

録画が一時停止されます。
再び録画を始めるには、再生（▶）ボタンを押します。

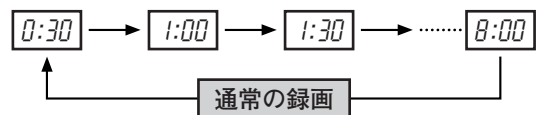
録画をやめる

録画中に

録画時間を設定する（ワンタッチタイマー録画）

録画中に録画時間を設定できます。録画が終わると自動的に停止し、電源が切れます。

録画中に

本体のボタン

押すたびに、録画時間（最長8時間まで）が30分単位で延長されます。表示窓に録画時間が表示さます。

録画を途中でやめるには、停止（■）ボタンを押します。

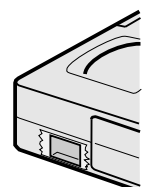
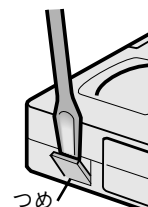
録画中に別の番組を見る（裏番組録画）

録画中に別の番組を見ることができます。録画には影響しません。

- BS放送を録画中に別のBS番組を見ることはできません。ただし、お手持ちのテレビがBSテレビ（BS内蔵）のときは、本機で録画中に、BSテレビで他のBS番組を見ることができます。

1. テレビの電源を入れる
2. テレビで見たい番組を選ぶ

誤消去を防止するために

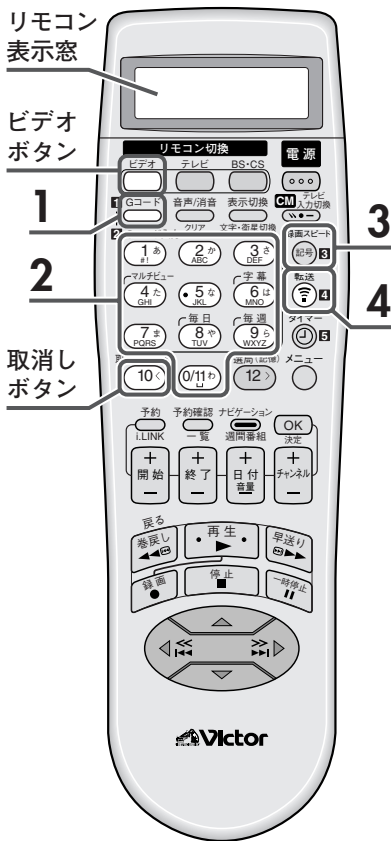
大切な記録を誤って消したくないときは、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。セロハンテープを二重に貼って穴をふさぐとふたたび録画できます。

録画を予約する(Gコード録画予約)

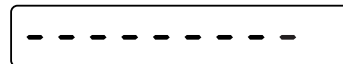
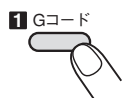
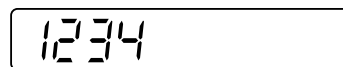
Gコードを使って録画を予約する

簡単な録画の予約方法です。新聞のテレビ欄などに記載されているGコードを使って録画を予約します。

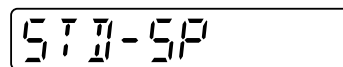
Gコードを使って録画を予約するためには、ガイドチャンネルが正しく設定されている必要があります。もう1度、ガイドチャンネルが正しく設定されていることを確認してください。(☞58ページ)

i.LINK対応BSデジタルチューナーやデジタルCSチューナーで受信した番組を予約するときは、チューナー側で予約します。くわしくは、BSデジタルチューナーまたはデジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。
本機側で予約の設定は必要ありません。ただし、録画スピードのみ、メニューの「i.LINK設定－EPG録画」で「HS優先、LS3優先、強制STD、強制LS3」を設定してください。(☞26、29ページ)

準備

- 録画用のテープを入れて、記録方式を選びます。(☞62ページ)
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- 時計(日付と時刻)を合わせておいてください。(☞61ページ)
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [Gコード]を押す

2 数字ボタンを押して、Gコード(番組予約番号)を入力する

- Gコードは新聞･雑誌などのテレビ番組欄でお調べください。
- リモコンには、通常8桁を入力しますが、0で始まるGコードのときだけ、9桁入力することができます。

数字の0を入力するときは、0/11を押します。
番号を間違えたときは、取消しボタン(10)を押します。

3 [録画スピード]を押して、録画スピードを選ぶ

STD-SP

- 押すたびに、録画スピードが切り換わります。
STD-SP → LS3-EP → HS-SP

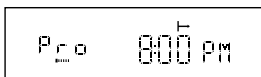
4 [転送]を押して、G コードを本体へ転送する

- 転送が完了するとテレビ画面に確認画面が表示されます。
転送時に本体表示窓に「Err」や、テレビ画面に「Gコードナンバーが間違っています」と表示されたときは、左のメモをご覧ください。メッセージが表示されたときには、それにしたがって確認してください。

テレビ画面表示

Pro 8:00 PM

本体表示窓

MEMO

- **手順4**の操作後、「Gコードナンバーが間違っています」と表示されたときは、次の点を確認してください。
  - 番組の開始時刻が過ぎていないか
  - Gコードが正しいか(このときは、Gコードを入力し直します。)

5 必要に応じて、次の設定をする

CMカットして録画したいときは

押すたびに、オートCMカットの「する/しない」が切り換わります。
- オートCMカットについては、☞112ページをご覧ください。
- ステレオ放送の番組を録画するときは、使わないでください。

同じ番組を毎週録画したいときは（本体表示窓では確認できません）

曜日の表示が「毎週」になります。
- もう1度押すと元に戻ります。

同じ番組を毎日録画したいときは（本体表示窓では確認できません）

曜日の表示が「月－金」になります。
- もう1度押すと元に戻ります。
- 土曜または日曜のときは設定できません。

録画終了時刻を変更したいときは

押すたびに、録画終了時刻が1分単位で延長（または短縮）されます。押し続けると30分単位で延長（または短縮）されます。

6 [OK]を押して、予約を終了する

「番組予約を完了しました」と表示され、しばらくすると元のテレビ画面に戻ります。

- 続けて、他の番組を予約するときは、手順**1**から**6**をくり返します。

7 [タイマー(◴)]を押して、本機を録画予約待機の状態にする

- 表示窓の「◴」が点灯し、電源が切れます。
  これで、録画開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると録画が終わり、電源が切れます。
- 別の録画を予約しているときは、表示窓の「◴」は点灯し続けます。

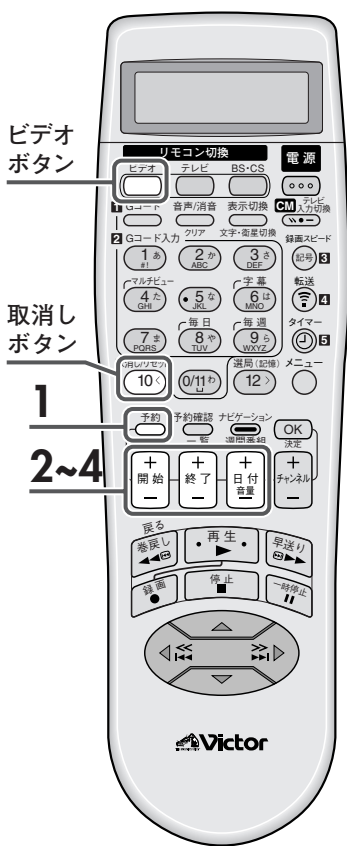
- Gコードを使って録画予約をしたときは、録画の開始時刻・日付とチャンネルは変更できません。
  変更したいときは ☞74ページをご覧ください。
- Gコードで録画の予約をしたときは、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- 「ぴったり録画」（☞28ページ）が「入」になっていると、録画スピードを「標準」に設定していても、実際の録画は「3倍」で録画されることがあります。
  また、録画の途中で変わったときは、録画スピードの変わり目で映像が乱れます。
- D-VHS録画時は、「ぴったり録画」と「オートCMカット」は働きません。
- 録画チャンネルが外部入力のときは「オートCMカット」の設定はできません。
- 録画予約を確実に行うために、予約設定したあとは、☞72ページの予約確認することをおすすめします。

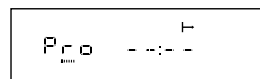
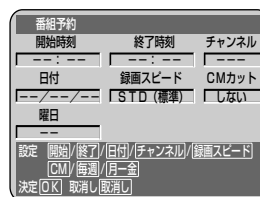
録画を予約する

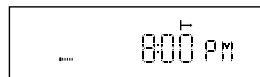
録画したい番組の開始時刻、終了時刻、チャンネルなどの情報を入力して録画を予約します。

i.LINK 対応 BS デジタルチューナーやデジタル CS チューナーで受信した番組を予約するときは、チューナー側で予約します。くわしくは、BS デジタルチューナーまたはデジタル CS チューナーの取扱説明書をご覧ください。
本機側で予約の設定は必要ありません。ただし、録画スピードのみ、メニューの「i.LINK 設定－ EPG 録画」で「HS 優先、LS3 優先、強制 STD、強制 LS3」を設定してください。（☞26、29 ページ）

準備
- 録画用のテープを入れて、記録方式を選びます。(☞62 ページ)
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- 時計（日付と時刻）を合わせておいてください。(☞61 ページ)
- リモコンのビデオボタンを押します。

ビデオボタン
取消しボタン
1
2~4

テレビ画面表示と本体表示窓

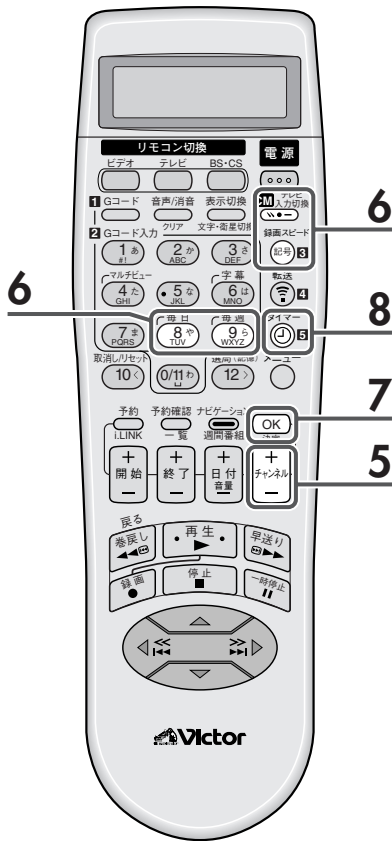
1 [予約]を押して「番組予約」画面を表示させる

2 [開始＋／－]を押して、録画の開始時刻を設定する

押すたびに、録画の開始時刻が1分単位で変わります。押し続けると30分単位で変わります。

3 [終了＋／－]を押して、録画の終了時刻を設定する

押すたびに、録画の終了時刻が1分単位で変わります。押し続けると30分単位で変わります。

- すでに予約が「24」登録されていると、予約ボタンを押したときに、本体表示窓に「FULL」、画面に「予約がいっぱいです」と表示されます。
- 最初からやり直したいときは、取消しボタンを押したあと、手順**2**からおこなってください。

4 [日付＋／－]を押して、録画の日付を設定する

押すたびに、日付が1日単位で変わります。

5 [チャンネル＋／－]を押して、チャンネルを選ぶ

テレビ画面表示と本体表示窓

4CH

- 本機前面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「F-1」を表示させます。
- 本機背面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「L-1」または「L-2」を表示させます。

6 必要に応じて、次の設定をする

録画スピードを変更したいときは

押すたびに、録画スピードが切り換わります。
- **テレビ画面**
  STD(標準)→HS(標準)→LS3(3倍)
- **本体表示窓**
  STD SP(標準)→HS SP(標準)→LS3 EP(3倍)

CMカットして録画したいときは

押すたびに、オートCMカットの「する／しない」が切り換わります。
- オートCMカットについては、☞112ページをご覧ください。
- ステレオ放送の番組を録画するときは、使わないでください。

同じ番組を毎週録画したいときは

曜日の表示が「毎週」になります。
- もう1度押すと元に戻ります。

同じ番組を毎日録画したいときは

曜日の表示が「月－金」になります。
- もう1度押すと元に戻ります。
- 土曜または日曜のときは設定できません。

7 [OK]を押して、予約を終了する

「番組予約を完了しました」と表示され、しばらくすると元のテレビ画面に戻ります。

- 続けて、他の番組を予約するときは、手順**1**から**7**をくり返します。

8 [タイマー(◴)]を押して、本機を予約録画待機の状態にする

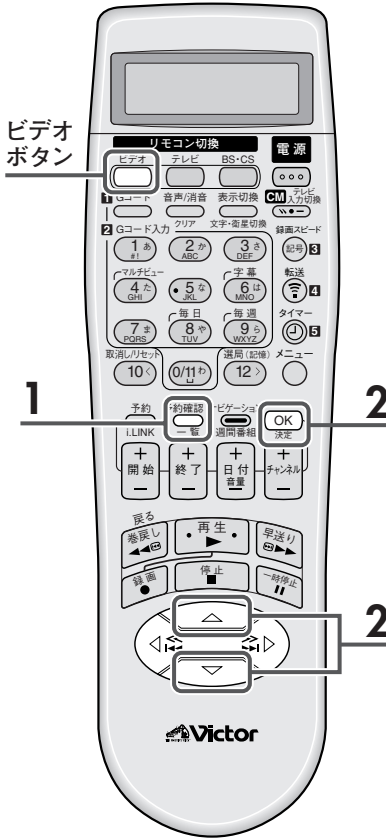
- 表示窓の「◴」が点灯し、電源が切れます。
  これで、録画開始時刻になると、自動的に録画が始まり、終了時刻になると録画が終わり、電源が切れます。
- 別の録画を予約しているときは、表示窓の「◴」は点灯し続けます。

- 「ぴったり録画」（☞28ページ）が「入」になっていると、録画スピードを「標準」に設定していても、実際の録画は「3倍」で録画されることがあります。
  また、録画の途中で変わったときは、録画スピードの変わり目で映像が乱れます。
- D-VHS録画時は、「ぴったり録画」と「オートCMカット」は働きません。
- 録画チャンネルが外部入力のときは「オートCMカット」の設定はできません。
- 録画予約を確実に行うために、予約設定したあとは、次ページの予約確認することをおすすめします。

予約を確認する

予約を確認する

準備

- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。
  （本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 ［予約確認］を押して、予約の確認画面（一覧表示画面）を表示させる

- 録画予約している全番組が表示されます。

テレビ画面表示と本体表示窓

2 ［△／▽］を押して、確認したい予約を選び［OK］を押す

▶を確認したい予約に合わせてから、

- 本体表示窓の部分については、［△／▽］を押すたびに、録画予約されている内容が順番に表示されます。また、24個の予約に対応したランプの点滅で現在の予約を表示します。

本体表示窓拡大図

録画予約または予約確認モードのときに、「Pro」と表示されます。

現在15個の予約があります。

選択した予約に対応したランプが点滅します。

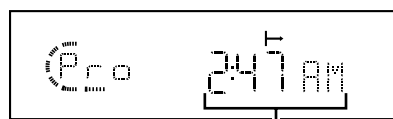
3 [OK]を押して、一覧表示に戻す

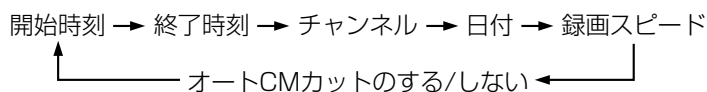
テレビ画面表示と本体表示窓

4 必要に応じて手順2〜3をくり返す

5 [予約確認]を押して、予約の確認画面を消す

本体表示窓で録画予約を確認するときは

1. [タイマー（◷）]または［電源］を押して、本体表示窓の ◷ を消します。
2. [予約確認]を押します。
   本体表示窓のトラック内には「Pro」と表示されます。
3. [Δ/∇]を押して、確認したい予約に対応したランプを点滅表示させせます。[Δ/∇]を押すたびに点滅するランプが時計回りまたは反時計回りに移動して、右側に開始時刻を表示します。

4. [OK］を押して、開始時刻を点滅させせます。
5. [表示切換]を押して予約の内容を確認します。
   [表示切換]を押すたびに、表示される内容が次の順番で切り換わります。

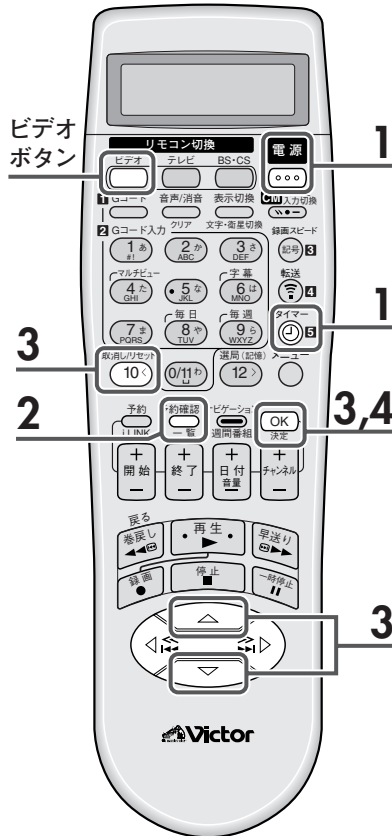
開始時刻 → 終了時刻 → チャンネル → 日付 → 録画スピード → オートCMカットのする/しない → 開始時刻

6. [OK］を押します。
   他にも予約内容を確認したいときは、3〜6の操作をくり返してください。
7. [タイマー（◷）]または［電源］を押して、本体表示窓に ◷ を点灯させせます。

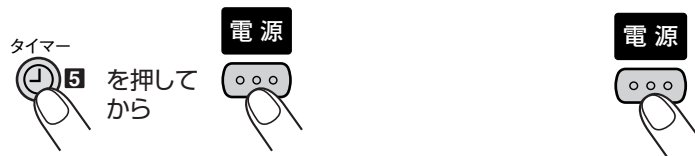
見る・録画・予約

予約を変更・取消しする

予約を変更・取消しする

準備

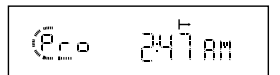
- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [タイマー（⏲）] または [電源] を押して、表示窓の ⏲ を消す

メニューの「オートタイマー」が「切」のとき　メニューの「オートタイマー」が「入」のとき

2 [予約確認] を押して、予約の確認画面（一覧表示画面）を表示させる

テレビ画面表示と本体表示窓

予約確認　[1／1]

	日付	開始時刻	終了時刻	CH
▶	9／10	午後10：59	1：00	110
	毎週月曜日	午前 8：11	9：13	L－1
	月ー金	午後 7：50	8：23	56
	10／21	午後10：39	11：06	F－1
	12／31	午前 2：47	10：00	BS 1
	1／ 1	午後 9：14	1：36	11

選択 ▼・▲　修正 OK　終了 予約確認

3 [△／▽] を押して、変更または取消したい予約を選び [OK] を押す

予約確認／修正

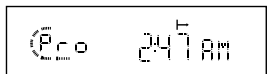
開始時刻	終了時刻	チャンネル
午前 2：47	午前10：00	BS 1
日付	**録画スピード**	**CMカット**
01／12／31	STD（標準）	しない
曜日		
月曜日		

設定 開始／終了／日付／チャンネル／録画スピード
CM／毎週／月ー金
決定 OK　取消し 取消し

変更したいときは

- 「録画を予約する（新・快速録画予約）」（☞70〜71ページ）の手順**2**から**6**を参照してください。

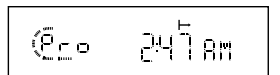
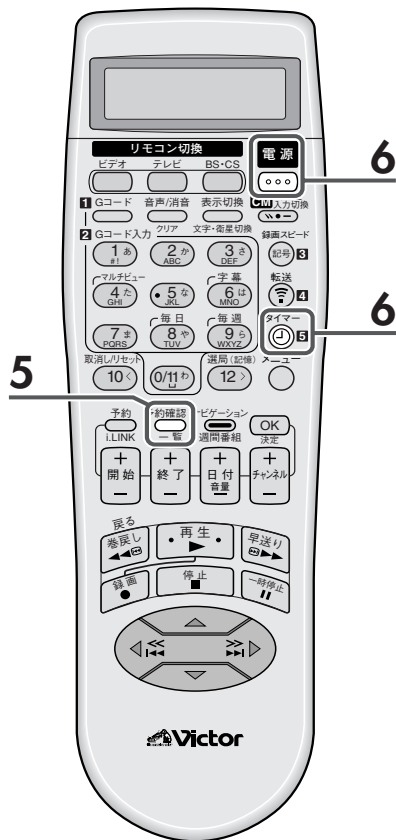
取消したいときは

- 取消しボタンを押します。
- 表示中の録画予約が取り消され、一覧表示に戻ります。
- 録画予約の取消しを終了したら、手順**5**へ進みます。

4 [OK] を押して、一覧表示に戻す

テレビ画面表示と本体表示窓

予約確認　[1／1]

	日付	開始時刻	終了時刻	CH
	9／ 9	午前 9：00	10：55	BS19
	9／10	午後10：59	1：00	110
	毎週月曜日	午前 8：11	9：13	L－1
	月ー金	午後 7：50	8：23	56
	10／ 8	午前11：24	12：03	L－8
	10／21	午後10：39	11：06	F－1
▶	12／31	午前 2：47	10：00	BS 1
	1／ 1	午後 9：14	1：36	11

選択 ▼・▲　修正 OK　終了 予約確認

・予約内容の表示から抜けるには**予約確認**ボタンを押します。

5 [予約確認]を押して、予約の確認画面を消す

6 [タイマー(⊕)] または [電源] を押して、予約録画待機の状態にする

表示窓の「⊕」が点灯し、電源が切れます。

- 手順1で押したボタンと同じボタンを押してください。

予約した後で本機を使う

メニューの「オートタイマー」（☞28ページ）の設定によって、操作のしかたが異なります。

- **メニューの「オートタイマー」が「切」（お買い上げ時の設定）のときは：**
  タイマー（⊕）ボタンを押します。録画予約待機が解除されます。（表示窓の「⊕」が消えます。）
  これで、本機を通常のように操作することができます。
  本機を使い終わったら、もう 1 度**タイマー**（⊕）ボタンを押します。
  再び表示窓の「⊕」が点灯し、録画予約待機中になります。

- **メニューの「オートタイマー」が「入」のときは：**
  （リモコンの**ビデオ**ボタンを押したあとで）**電源**ボタンを押すと、本機の電源が入り、録画予約待機が解除されます。（表示窓の「⊕」が消えます。）
  これで、本機を通常のように操作することができます。
  本機を操作後、ビデオ電源を切ると、再び表示窓の「⊕」が点灯し、録画予約待機中になります。

本機を使い終わったあとは
- 録画用のテープが入っていることを確認してください。
- 表示窓に「⊕」が点灯していることを確認してください。

i.LINK対応BSデジタルチューナーとの接続

BSデジタルチューナー背面

S映像出力端子へ

映像／音声出力端子へ

i.LINK端子へ

映像／音声出力端子へ

D端子出力へ

i.LINKコード（IEEE1394ケーブル）は、下記の当社製品をご使用ください。
VX-DV110E（1m）
VX-DV120E（2m）

：信号の流れ

i.LINKコード

i.LINK端子へ

S映像コード

映像／音声コード

コンポーネントビデオコード（D-D）（別売）

S映像入力端子へ

S映像コード（S映像端子付きのチューナーをつなぐとき）

映像／音声コード

映像／音声入力端子へ

テレビにD（D1/D2/D3/D4）端子入力がなく、コンポーネント映像入力（Y/CB/CR）端子がある場合は、接続してください。

本機背面

D4映像出力端子へ

D4映像出力端子へ

コンポーネントビデオコード（D-ピンプラグ×3）（市販）

コンポーネントビデオコード（D-D）（別売）

コンポーネント映像入力端子へ

Y（緑） CB（青） CR（赤）

D端子入力へ

テレビにD（D1/D2/D3/D4）端子入力がある場合は、接続してください。

映像／音声入力端子へ

テレビ

S映像入力端子へ

音声出力端子へ

S映像出力端子へ

チューナーとテレビにS端子がある場合は、接続してください。

音声コード

音声入力端子へ

S映像コード

S映像入力端子へ

テレビにS映像入力端子がない場合は、別売の映像コードを使って、本機の映像出力とテレビの映像入力端子を接続してください。

- 本機で地上波番組を録画しながら、テレビでBSデジタル放送を見たいときは、BSデジタルチューナーの映像／音声出力端子と、テレビの映像／音声入力端子を接続してください。
- BSデジタル放送をS-VHS/VHS記録で録画予約したいときは、ビデオリモートコントローラーを使った録画予約をしてください。操作については、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機の通風孔をふさがないよう、各接続機器との間をあけて設置してください。
- 画像の乱れが出たときは、本機とBSデジタルチューナーをなるべく離して設置してください。

i.LINK 接続するには

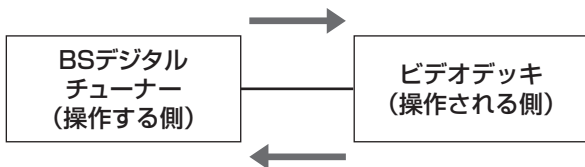
複数のi.LINK接続をして機器のデータのやりとりは直接接続した機器だけでなく、他の機器を通してつながれている機器に対しても、双方で操作やデータのやりとりができます。
i.LINK接続はつないだ順に機器が認識されて機器番号（接続した機器固有の番号）を割り付けていきます。

- ビデオデッキは電源プラグがコンセントに接続していれば電源を入れなくても、i.LINK接続しただけで認識されます。
- デジタルビデオカメラの場合は、i.LINK接続後にデジタルビデオカメラ本体の電源を入れたときに認識されます。
- メニューのモード選択で「ディスプレイオフ」を「表示しない」（☞115ページ）にして、本機の電源を切ると、i.LINK機器の認識ができません。そのため、BSデジタルチューナー側で予約した番組の録画ができません。また、分岐接続している場合、データの中継をしません。

LINC（リンク）

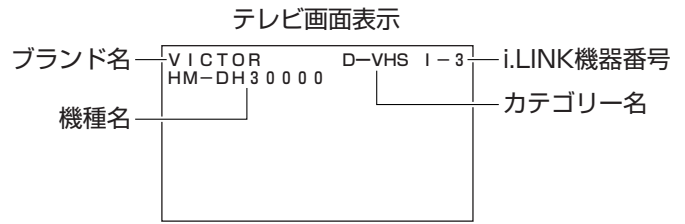
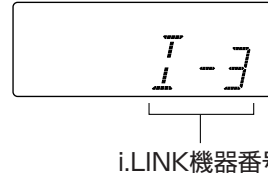
i.LINK 対応 BS デジタルチューナー（i.LINK 対応機器を操作する側）は、i.LINKコードで接続されている機器のうち1台だけを操作できます。「LINCする」とは、相手の機器を1台選ぶことを意味します。BSデジタルチューナーと相手の機器との間で次のようなやりとりが行われます。

例）ビデオデッキを LINC するとき

①「これから操作してもいいですか？」とBSデジタルチューナーがビデオデッキに信号を送る

②「了解です」とビデオデッキがBSデジタルチューナーに信号を送る

この呼びかけ・返答のやりとりが行われ、i.LINK対応機器のLINCが完了して、初めてi.LINK対応機器を操作することができます。
LINCとは、Logical Interface Connection（ロジカル・インターフェース・コネクション：「論理的な接続を行う」の意）の略です。

i.LINK 接続のオンスクリーン表示について

テレビ画面表示

本体表示窓

i.LINK 接続すると、接続機器を本機が認識し、認識した機器を表示します。

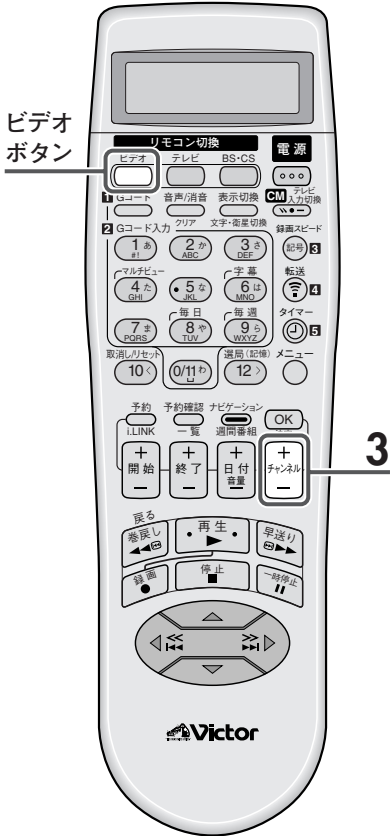
ブランド名　：接続した機器の製造メーカーを表示します。
機種名　：接続した機器の機種名を表示します。
カテゴリー名　：接続した機器の種類を表示します。
D-VHS（D-VHS ビデオデッキ）
DV（デジタルビデオカメラやDVデッキ）
チューナ（デジタル衛星放送チューナー
またはデジタル地上波放送チューナー）
BS デジタルチューナー内蔵テレビの場合は、カテゴリー名が表示されないことがあります。
i.LINK 機器番号：接続した順番に本機が自動的に割り付けてゆきます。この番号は取り外して再度接続しても、本機のメモリーに記憶されるために同じ番号で認識されます。別の番号にしたいときは、i.LINK設定メニュー（☞119ページ）から「番号のリセット」を選択して新たに接続し直してください。

接続している i.LINK 機器が選択できないときは
- メニューの「i.LINK設定」の「リンク（LINC）」を「切」にしてください。（☞119ページ）

- チャンネル＋／−ボタンでi.LINK端子からの入力（I-1など）を選択したとき、出画するまでに多少時間がかかったり、画像が乱れることがあります。
- 他のi.LINK機器から本機が選択されたとき、または、本機のi.LINK端子に多くの機器が接続されているとき、データ容量が多すぎて、i.LINK機器の選択ができないことがあります。
- 接続した機器を認識しないときは、i.LINKコードを抜き差ししてください。

BSデジタル番組を録画する

録画する

録画を始めると、自動的に録画の始めにインデックスマーク（VISS：VHS Index Search System）（☞106ページ）と呼ばれる信号が記録されます。

準備

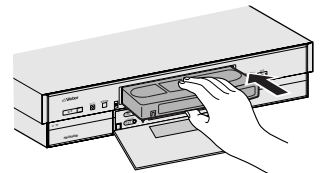
- BSデジタルチューナーのi.LINK端子と本機のi.LINK端子を接続します。（☞76ページ）
- メニューの「モード選択－入出力設定－テレビの設定1、2」の設定をしてください。（☞41、42ページ）
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。
- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
  ビデオナビゲーションについては、☞86ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

- D-VHSテープを入れると、本体表示窓のD VHS表示が点灯し、D-VHS記録できます。

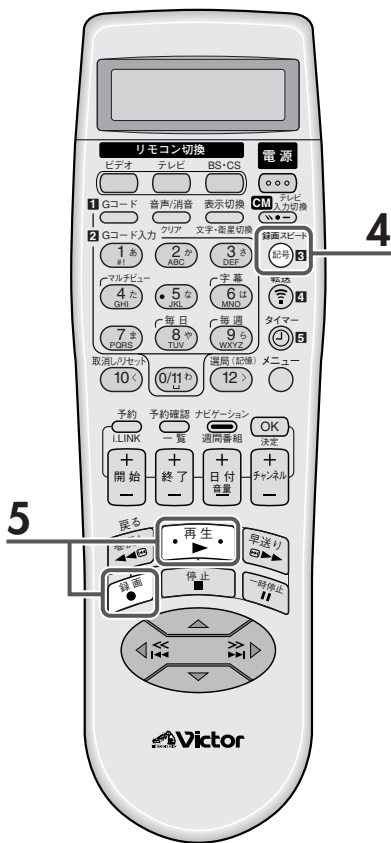
- 使用するテープと記録方式については、☞62ページをご覧ください。

2 BSデジタルチューナー側のリモコンで、見たいチャンネルを選ぶ

- ビクター製のBSデジタルチューナーをご使用の場合は、[BS/CS]を押して「BS」に切り換えてから数字ボタンまたは[チャンネル＋／－]を押して選局します。

3 [チャンネル＋／－]を押して、i.LINK入力(I-1など)を選ぶ

- 本体のチャンネル＋/－ボタンでも操作できます。

ご注意

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをして、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一本機およびテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機で録画したテープをAACデコード機能を内蔵していないD-VHSビデオデッキで再生したとき、音声が出力されないことがあります。

4 [録画スピード]を押して、録画スピードを選ぶ

- 押すたびに、録画スピードが切り換わります。
  テープを入れると「STD」モードになります。
  Aut(オート)：番組の情報量（転送レート）に合わせて、自動的にHSまたはSTDモードで録画するとき
  HS　：画質と音質を最も重視するとき
  　　　デジタルハイビジョンをそのまま録画するとき
  STD　：画質と時間を重視するとき
  　　　デジタルSD放送を録画するとき
  LS3　：S-VHS以上の画質でSTDの3倍長く録画するとき
- i.LINK入力を選択したときは、S-VHS／VHS録画はできません。
- 下の「録画スピードの選択」についてもご覧ください。
- BSデジタルのハイビジョン放送は、HSモードで録画してください。

5 [録画]を押しながら[再生]を押す

を押しながら

- 本体の録画(●)ボタンでも操作できます。
  このときは、再生(▶)ボタンを押す必要はありません。

ご注意

- 録画一時停止中は、チャンネルの切り換えはできますが、録画スピードの切り換えはできません。
- i.LINK入力時、モザイク画（ブロック状のノイズ）になることがあります。
- マルチ番組の中に録画禁止の番組や音声放送だけの番組などが1つでもあると録画できません。本機のi.LINK端子では著作権保護に対応したデジタルデーターのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術はDTLA（Digital Transmission Licesing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。
- BSデジタル放送には、著作権の保護上、録画制限のかかった番組があります。録画制限には、録画フリー・1回のみ録画可能・録画不可の3種類があります。1回のみ録画可能な番組をi.LINK接続で録画／再生する場合、「D1/D2/D3/D4映像出力端子」から出力される映像は、すべて525i(D1)信号となります。BSデジタルチューナー内蔵テレビとi.LINK接続すると、HD映像でご覧になれます。

録画スピードの選択

BSデジタル放送では、番組ごとに情報量（転送レート：1125i,750p,525p,525i)が異なります。番組ごとの情報量に合わせて録画できるように、録画スピードで「Auto（オート)」モードが選択できます。i.LINK端子にBSデジタルチューナーなどを接続した場合のみ、「Auto（オート）」モードを選択できます。

テレビ画面

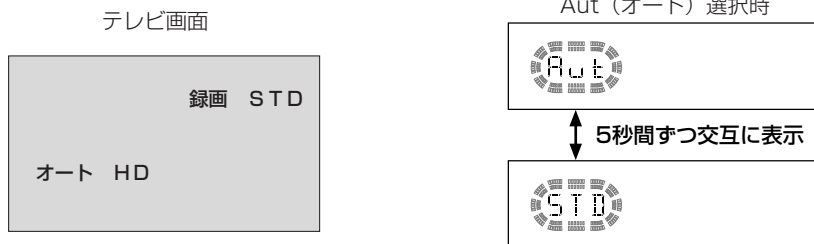
録画　STD

オート　HD

録画中の本体表示窓
Aut（オート）選択時

Aut

5秒間ずつ交互に表示

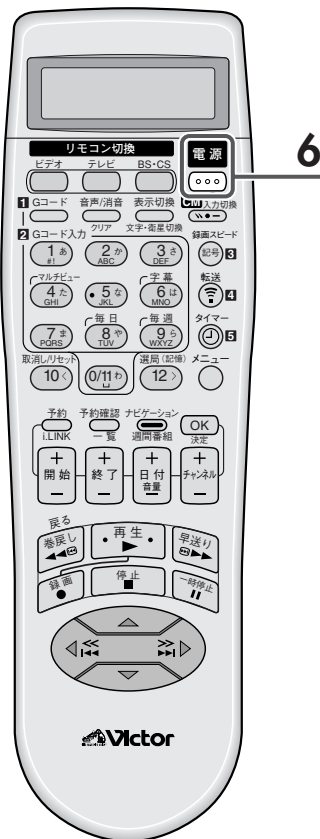
STD

		Aut（オート）		HS		STD		LS3	
		録画方式	録画モード	録画方式	録画モード	録画方式	録画モード	録画方式	録画モード
画像フォーマット（i.LINK入力）	マルチ番組	ビットストリーム記録	HS	ビットストリーム記録	HS	1画面	STD	1画面	LS3
	1125i					ダウンコンバート記録		ダウンコンバート記録	
	750p								
	525p（高レート）								
	525p（低レート）		STD			ビットストリーム記録			
	525i							ビットレート変換	

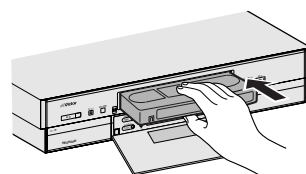
マルチ番組　：マルチビュー、マルチプログラム番組のことです。
ビットストリーム記録　：i.LINK端子に入力された信号をそのままテープ上に記録することを「ビットストリーム記録」といいます。
ビットレート変換　：ビットレートを変換して、長時間モードで記録します。(☞141ページ）また、5－1チャンネルのAAC音声も、2チャンネルのMP2音声に変換して記録します。
1画面　：マルチビュー、マルチプログラム番組の中の現在見ている番組だけを録画します。
ダウンコンバート記録　：入力信号を525iに変換して録画します。(☞141ページ）また、5－1チャンネルのAAC音声も、2チャンネルのMP2音声に変換して記録します。

BSデジタル番組を予約する

ビクター製BSデジタルチューナーと接続して録画予約する

準備

- ☞76ページの接続方法をご覧になり、本機とBSデジタルチューナー、テレビを接続してください。
- BSデジタルチューナー側のi.LINK設定（I.LINK登録および録画用D-VHSの設定）を行ないます。（詳細はBSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。）

1 つめのついたD-VHSテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。
- 表示窓の「----」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
  ビデオナビゲーションについては、☞86ページをご覧ください。
- 使用するテープと記録方式については、☞62ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

2 チューナー側で番組表を表示させ、予約したい番組を選ぶ

3 チューナー側で「デジタル録画予約」を選択し、必要な設定をする（チューナーの取扱説明書を参照）

4 チューナー側で「予約する」を選び、設定を終了する

5 本機のメニューの「i.LINK設定ーEPG録画」で、録画スピードを設定する

- くわしくは ☞29ページをご覧ください。

6 本機の［電源］を押して、電源を切る

- 設定した時間になると、自動的に本機とチューナーの電源が入り録画が開始されます。
- ビクター製チューナーのi.LINK端子から本機をコントロールして録画します。

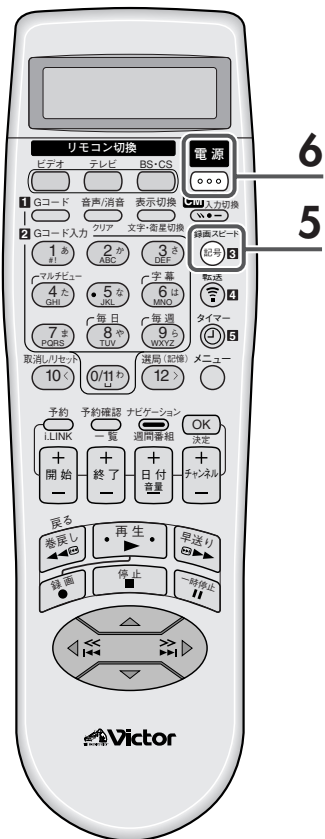
- 本機に、BSデジタルチューナーとデジタルCSチューナーを接続し、両方の機器から録画予約している場合、両方の機器に、録画予約終了後、自動的に「LINC（リンク）を切る」機能がないと、交互に録画予約はできません。くわしくは、お使いのチューナーの取扱説明書をご覧ください。

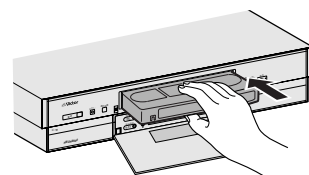
MEMO

- 放送によっては録画できない番組があります（メッセージが画面表示されます。）
- BSデジタル放送では、番組情報が送られてこないと、予約できないことがあります。

ビデオリモートコントローラーを使って録画予約する

準備

- ☞76ページの接続方法をご覧になり、本機とBSデジタルチューナー、テレビを接続してください。
- BS デジタルチューナー付属のビデオリモートコントローラーの設置およびビデオのメーカー設定を行なってください。（詳細はBSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。）

1 つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。
- 表示窓の「----」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
  ビデオナビゲーションについては、☞86ページをご覧ください。
- 使用するテープと記録方式については、☞62ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

2 チューナー側で番組表を表示させ、予約したい番組を選ぶ

3 チューナー側で「アナログ録画予約」を選択し、必要な設定をする（チューナーの取扱説明書を参照）

4 チューナー側で「予約する」を選び、設定を終了する

5 [録画スピード]を押して、録画スピードを選ぶ

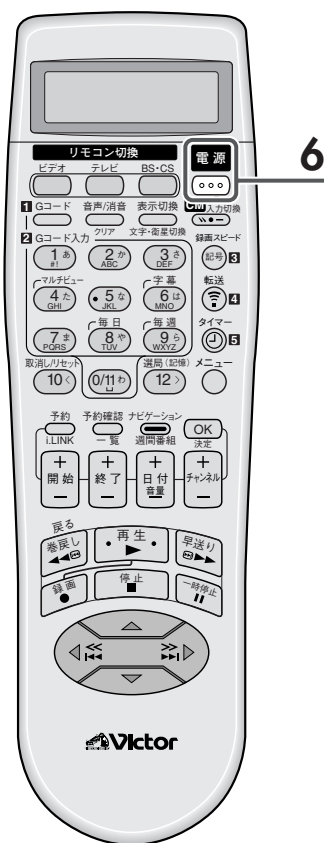
- くわしくは ☞79ページをご覧ください。

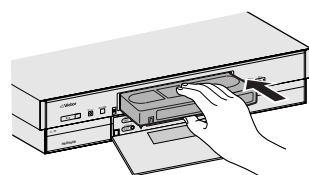
6 本機の[電源]を押して、電源を切る

- 設定した時間になると、自動的に本機とチューナーの電源が入り録画が開始されます。
- ビクター製チューナー付属のビデオリモートコントローラーからビデオのリモコン信号を出力してビデオをコントロールします。

他社のBSデジタルチューナーと接続して録画予約する

準備

- ☞76ページの接続方法をご覧になり、本機とBSデジタルチューナー、テレビを接続してください。
- BSデジタルチューナー側のi.LINK設定（I.LINK登録および録画用D-VHSの設定など）を行ないます。（詳細はBSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 つめのついたD-VHSテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。
- 表示窓の「----」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
  ビデオナビゲーションについては、☞86ページをご覧ください。
- 使用するテープと記録方式については、☞62ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

2 チューナー側で番組表を表示させ、予約したい番組を選ぶ

3 チューナー側で予約に必要な設定をする（チューナーの取扱説明書を参照）

4 チューナー側で予約を実行する

5 本機のメニューの「i.LINK設定ーＥＰＧ録画」で、録画スピードを設定する

- くわしくは ☞29ページをご覧ください。

6 本機の[電源]を押して、電源を切る

- 設定した時間になると、自動的に本機とチューナーの電源が入り録画が開始されます。

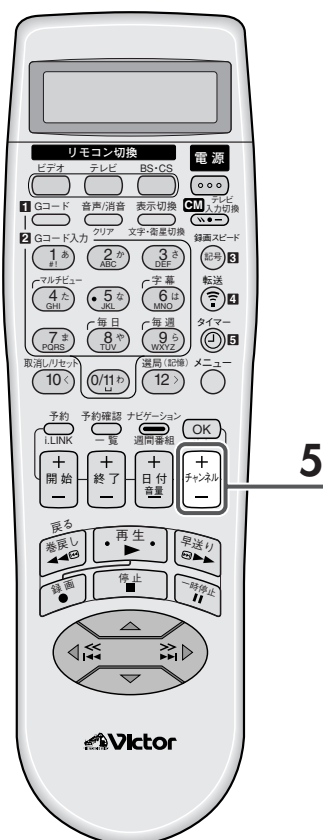
ご注意

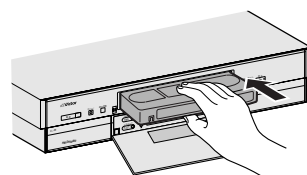
- 本機に、BSデジタルチューナーとデジタルCSチューナーを接続し、両方の機器から録画予約している場合、両方の機器に、録画予約終了後、自動的に「LINC（リンク）を切る」機能がないと、交互に録画予約はできません。くわしくは、お使いのチューナーの取扱説明書をご覧ください。

- 放送によっては録画できない番組があります（メッセージが画面表示されます。）
- BSデジタル放送では、番組情報が送られてこないと、予約できないことがあります。

アナログ端子を使って録画予約する

準備

- ☞76ページの接続方法をご覧になり、本機とBSデジタルチューナー、テレビを接続してください。
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。
- 表示窓の「----」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
  ビデオナビゲーションについては、☞86ページをご覧ください。
- 使用するテープと記録方式については、☞62ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

2 チューナー側で番組表を表示させ、予約したい番組を選択する

3 チューナー側で予約に必要な設定をする（チューナーの取扱説明書を参照）

4 チューナー側で予約を実行する

5 本機の[チャンネル＋／－]を押して、チューナーを接続した外部入力を選ぶ

6 本機をタイマー予約する

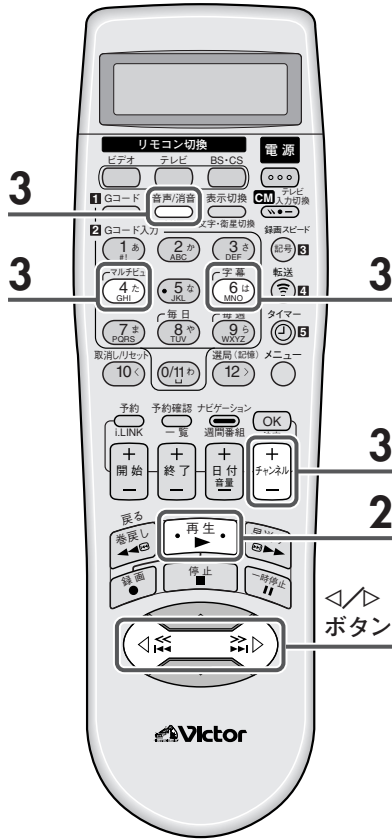
- ☞70ページをご覧ください。
- 本機の時計を正確に合わせてください。(☞61ページ)

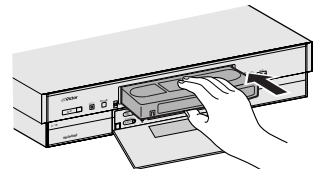
BSデジタル番組を再生する

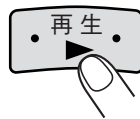
BS デジタル番組を再生する

ビデオテープを再生してみましょう。

準備

- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編（☞30、34、40 ページ）をご覧ください。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 テープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。
- 表示窓の「ーーーー」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
  ビデオナビゲーションについては、☞86ページをご覧ください。
- つめのないカセットを入れると、自動的に再生が始まります。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

2 [再生]を押す

再生が始まります。

3 必要に応じて次の設定をする

音声切り換えをしたいときは

押すたびに音声が切り換わります。

マルチビューのときは

押すたびに、アングルが切り換わります。

字幕を切り換えたいときは

押すたびに日本語と外国語などに切り換わります。

マルチプログラムのときは

押すたびに、番組が切り換わります。

テレビ画面

- マルチプログラムの頭出し再生をするときは
  ① ◁／▷ ボタンを押して、番組の頭出しをします。
  ② テレビ画面にマルチプログラムのアイコンが表示されている状態で、チャンネル＋／－ボタンを押して、お好みの番組を選びます。

- i.LINK 入力時、各アイコンが表示されても切り換えができないことがあります。これは、ＢＳデジタルチューナーから、番組情報のデータが出力されないため、本機では切り換えできません。BSデジタルチューナー側で切り換えてください。
  再生中は、本機のリモコンで切り換えできます。

次のような症状は、本機の性能であり故障ではありません

D-VHS 記録したテープの再生について

- テープの傷や瞬間的に発生するヘッドの汚れなどによる画面の乱れが大きいため、モザイク画（ブロック状のノイズ）や灰色の画面になったり、静止画になることがあります。
- 再生ボタンを押してから画像と音声が出るまでに時間がかかります。
- 再生スピードを変えたときは（特殊再生から通常再生にしたときなど）、画像と音声が出るまでに時間がかかります。また、数秒間は画像と音声がずれることがあります。

D-VHS 記録したテープのシャトルサーチ画像について

- コマ送りのような画像になります。
- 画面の下半分にブロック状のノイズが出ることがあります。
- 無記録部分になると、最後の画像の静止画になります。

静止画になる／音声が出ない

- i.LINK 端子に、BS ／ CS デジタルチューナーとデジタルビデオカメラの２台以上の機器を接続して、BS ／ CS デジタルチューナーの番組を録画しているときは、デジタルビデオカメラの電源を入れないでください。デジタルビデオカメラの電源を入／切すると、一瞬静止画になったり音声が出ないことがあります。

画像／音声が乱れる

- i.LINK端子を使ってデジタルビデオカメラ等からダビングしたとき、画像や音声が乱れることがあります。
  このようなときは、本機に D-VHS テープを入れ、電源を一度切／入してから録画を始めてください。直らないときは、i.LINK端子を使わずに映像／音声入力端子からダビングしてください。

デジタルビデオカメラ（DVC）等からのダビングについて（i.LINK 端子を使って）

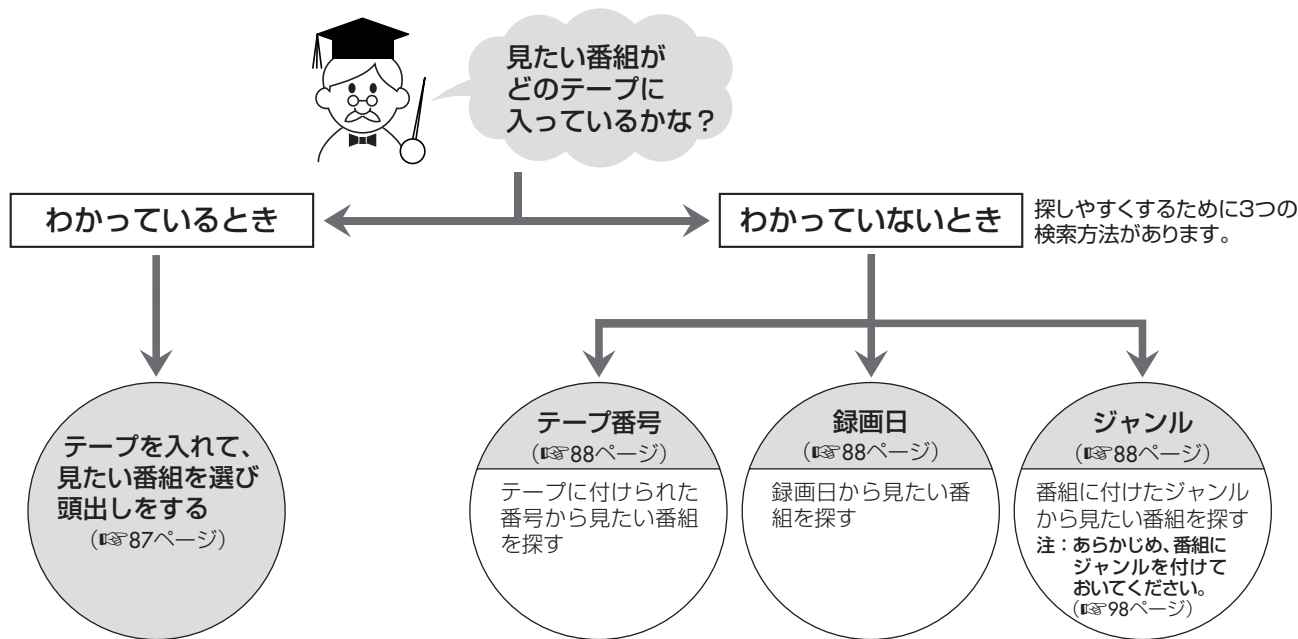
- モザイク画（ブロック状のノイズ）になることがあります。
- 動きの早い場面では、見ている画像が揺れることがあります。ダビングは正常に行われます。
- DVCのシャトルサーチ画像を、本機を通して見るとブロック状の色ノイズが出ることがあります。
- アフレコされた DVC テープ（４チャンネル分が記録されたテープ）などを D-VHS へダビングすると、最初の数秒間は音声が出ないことがあります。
- D-VHS テープを出し入れしたとき、一瞬音声が途切れることがあります。
- 録画スピードボタンで録画スピードを切り換えたとき、一瞬音声が途切れることがあります。

ワイドテレビでワイド画面にならない

- 本機背面のS映像出力端子に２台の機器を接続している場合、接続する機器によっては、ワイド用の識別信号が正しく出力されません。このようなときは、テレビ側で画面サイズを切り換えてください。

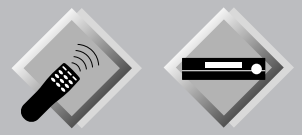
ビデオナビゲーションを使う

ビデオナビゲーションとは

本機で録画すると、テープにテープ番号が付けられ、番組の情報(日付、録画開始時刻、チャンネル、録画スピード)が本機のメモリーに記憶されます。BS/CSデジタルチューナーとi.LINK接続してEPG録画すると、番組タイトルやジャンルが自動的に記憶されます。番組情報を画面に表示して、見たい番組の頭出しができます。
また、日付などの代わりに、テープや番組に名前を付けたり、番組にジャンルを付けることができます。

次のようなこともできます。

- ■ テープのブランク部分を探して録画したいとき ：【ブランクテープリスト】(☞90ページ)
- ■ テープタイトルを変更して新しい名前を付けたいとき ：【テープタイトル変更】(☞92ページ)
- ■ 番組タイトルを変更して新しい名前を付けたいとき ：【番組タイトル変更】(☞94ページ)
- ■ 番組のジャンルを変更したいとき ：【ジャンル変更】(☞98ページ)
- ■ 見終わったテープのすべての番組情報を削除したいとき ：【テープ情報の削除】(☞100ページ)
- ■ 見終わった番組情報を削除したいとき ：【番組情報の削除】(☞102ページ)

ご注意

- タイトルとして日付などをメモリーするため、本機で録画する前に、時計合わせをしておいてください。(☞61ページ)
- 見たいテープを探すために、本機で録画したテープには、テープ番号を記載しておいてください。
- 本機で録画したテープのみ、ビデオナビゲーション機能が使えます。
(別のHM-DH30000では使えません。)
- i.LINK接続で、タイトルやジャンルが番組表と異なることがあります。このようなときは、タイトルやジャンルを変更してください。(☞92～99ページ)
- 本機のメモリーに番組情報を記録するためには、
  D-VHS録画(HS)　：5分以上
  D-VHS録画(STD)：10分以上
  D-VHS録画(LS3)：30分以上
  S-VHS/VHS録画(標準)：5分以上
  S-VHS/VHS録画(3倍)：15分以上
  録画してください。
- 使用するテープによっては、ビデオナビゲーション機能が正常に動作しないことがあります。
- 番組情報は本機のメモリーに記憶されます。万一、本機のメモリーが故障して番組情報が消えた場合、復元することはできません。

見たい番組を探す（ナビゲーション検索）

本機で録画したテープに、どのような番組内容が録画されているか今すぐ知りたいときに便利です。見たい番組を選んで、自動的に頭出しする機能です。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 録画したテープを入れる

- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

2 [ナビゲーション]を押して、番組タイトルの画面を表示させる

3 [△／▽]を押して、見たい番組を選ぶ

4 [OK]を押して、番組の頭出しをして再生する

MEMO

- テープ番号がみつからないときは、「－－－－」を表示します。このとき、テープを巻戻し方向へ頭出し再生（☞106ページ）してください。
  再生が始まったら停止ボタンを押し手順**2**から操作してください。
- 再生または番組の頭出し中などに、1本のテープに2つのテープ番号がみつかると、テープを取り出すときに、テープ番号を1つ（テープ番号の小さいほう）にまとめます。
- 手順**2**で、ナビゲーションボタンを押したとき、テープ内の番組情報を検索しているため、番組タイトル画面を表示するまでに、少し時間がかかることがあります。

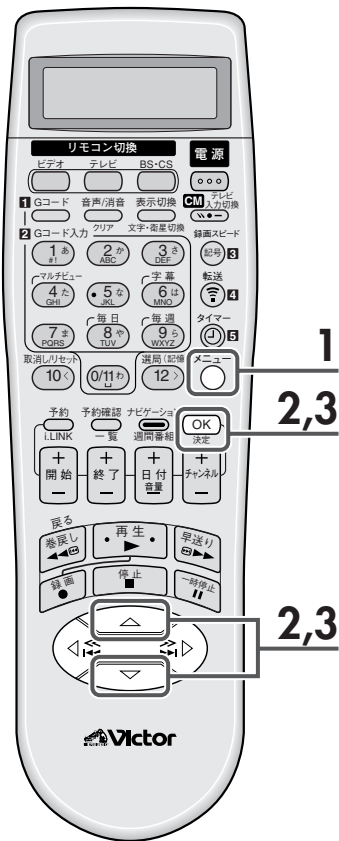
便利な機能

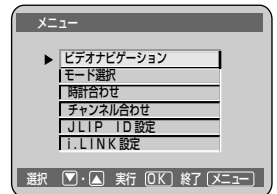
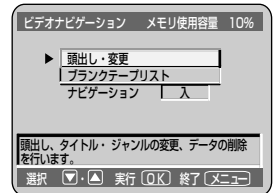
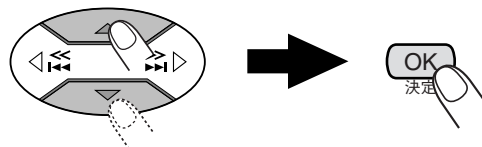
見たいテープを探す（テープ番号検索）

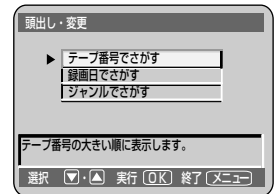
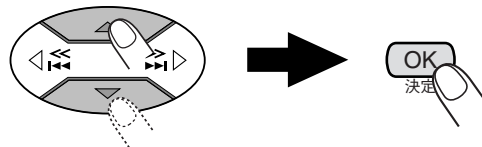
本機で録画したテープが数多くある場合に、各テープにどのような番組が録画されているか知りたいときに使います。
テープ番号順、録画日時順、ジャンル別の3種類の検索があります。

> あらかじめ、番組にジャンルを付けておかないとジャンル検索はできません。
> ☞98ページをご覧いただき、番組にジャンルを付けてください。

準備

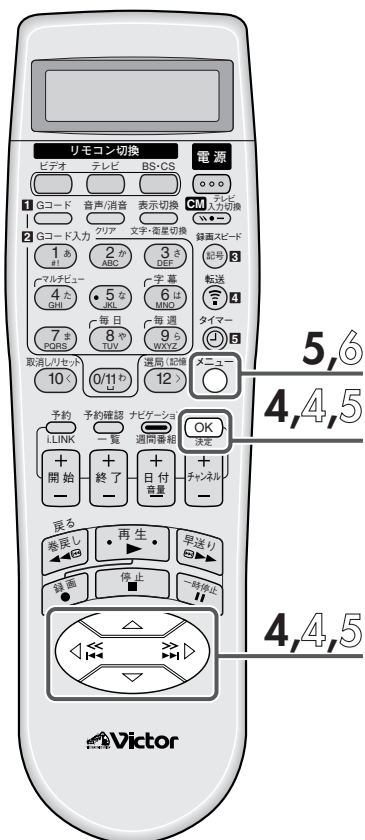
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 ［メニュー］を押して、「メニュー」画面を表示させる

メニュー
▶ ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

2 ［△／▽］を押して、「ビデオナビゲーション」を選び［OK］を押す

▶を「ビデオナビゲーション」に合わせてから、

3 ［△／▽］を押して、「頭出し・変更」を選び［OK］を押す

▶を「頭出し・変更」に合わせてから、

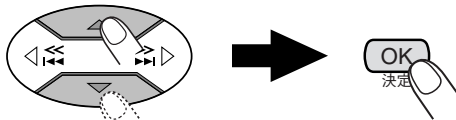
- テープタイトルは、録画された日付が自動的に、テープタイトル名として入力されます。
  お好みのタイトル名に変更したいときは、タイトルの変更で入力してください。(☞92ページ)

本機で録画したあとは、テープ番号検索をするために、テープにテープ番号を書いたラベルを貼ってください。

テープ番号／録画日から検索する

4 [△ ／▽]を押して、「テープ番号でさがす」または「録画日でさがす」を選び[OK]を押す

● 見たいテープを探してください。

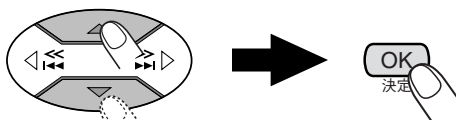
テープ番号	テープタイトル
0005	01／12／25 (火)
0004	01／12／24 (月)
0003	おにいちゃんのテープ
0002	パパのテープ
0001	ママのテープ

頭出し・変更／テープ番号 [1／ 1]
ページ ◀・▶ 選択 ▼・▲ 詳細表示 OK
ライブラリの変更 0/11 終了 メニュー

▶を「テープ番号でさがす」または「録画日でさがす」に合わせてから、

5 [メニュー]を押して、メニュー操作を終了する

● 番組の頭出しをするときは、☞87ページをご覧ください。

ジャンルから検索する

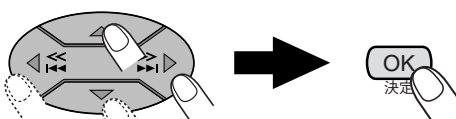
4 [△ ／▽]を押して、「ジャンルでさがす」を選び[OK]を押す

▶を「ジャンルでさがす」に合わせてから、

5 [△／▽／◁／▷]を押して、「ジャンル」を選び[OK]を押す

● 見たいテープを探してください。

頭出し・変更／映画 [1／ 5]

テープ番号	番組タイトル	録画日
0020	ロスト・ワールド	01／12／28 (金)
0015	タクシー	01／12／27 (木)
0010	ダンサー	01／12／26 (水)
0007	フィフス・エレメン	01／12／25 (火)
0001	ロスト・イン・スペ	01／12／24 (月)

ページ ◀・▶ 選択 ▼・▲ 詳細表示 OK
終了 メニュー

「ジャンル」を選んでから、

6 [メニュー]を押して、メニュー操作を終了する

● 番組の頭出しをするときは、☞87ページをご覧ください。

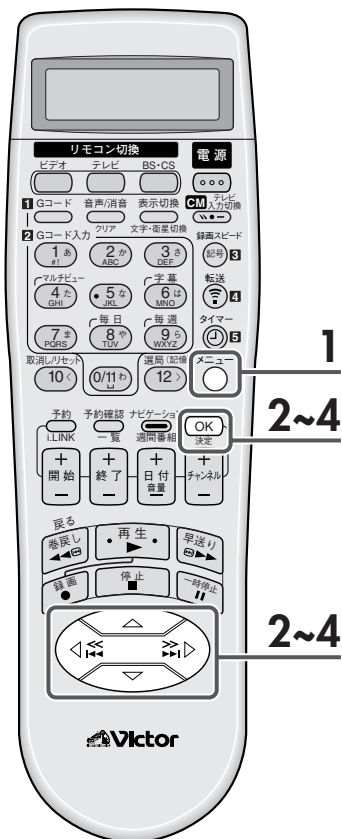
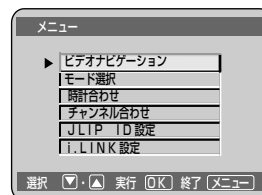
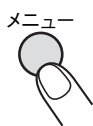
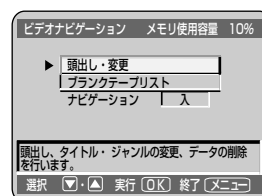
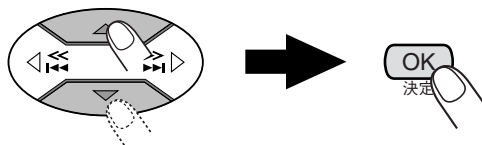
テープのブランク部分を探して録画する（ブランクテープリスト）

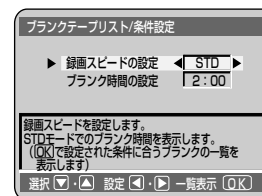
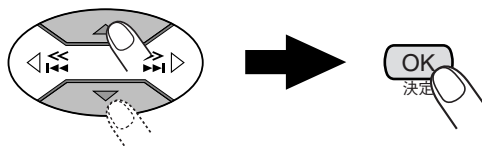
テープの残りのブランクや番組タイトルのブランク部分を探して録画することができます。

準備

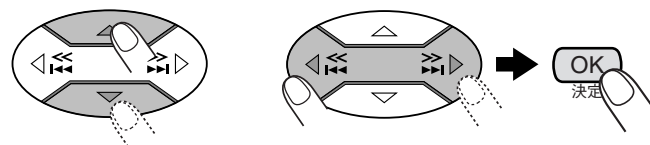
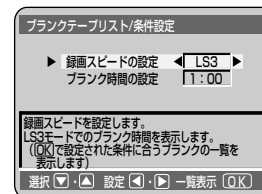
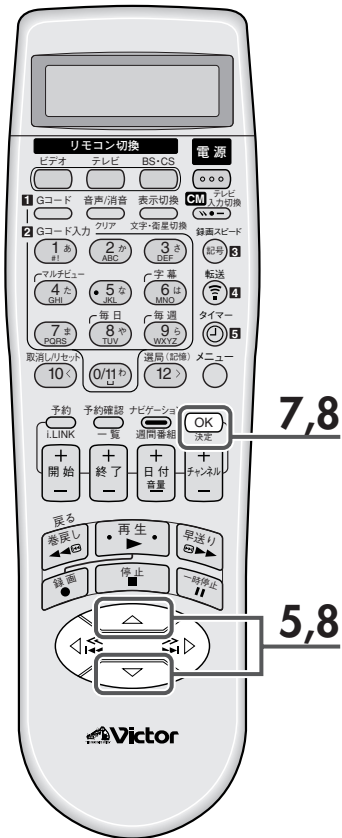
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 ［メニュー］を押して、「メニュー」画面を表示させる

メニュー
▶ ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

2 ［△／▽］を押して、「ビデオナビゲーション」を選び［OK］を押す

▶を「ビデオナビゲーション」に合わせてから、

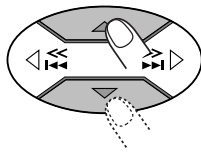
3 ［△／▽］を押して、「ブランクテープリスト」を選び［OK］を押す

▶を「ブランクテープリスト」に合わせてから、

4 ［△／▽／◁／▷］を押して、「録画スピード」と「ブランク時間」を設定して［OK］を押す

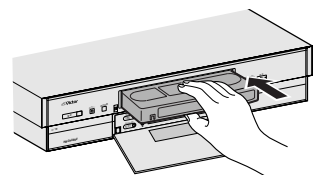
ブランクテープリスト/条件設定
▶ 録画スピードの設定 ◀ LS3 ▶
ブランク時間の設定 1：00
録画スピードを設定します。
LS3モードでのブランク時間を表示します。
（OKで設定された条件に合うブランクの一覧を表示します）
選択 ▼・▲ 設定 ◀・▶ 一覧表示 OK

5 [△／▽]を押して、録画したいテープを探す

ブランクテープリスト／一覧表示［ 1／10］		
テープ番号	ブランク LS3	テープタイトル
0005 D	1：00	01／12／25（火）
0003	1：10	おにいちゃんのテープ
▶ 0001 D	1：15	ママのテープ
0002 S	1：30	パパのテープ
0004	2：00	01／12／24（月）

▼
ページ ◀・▶　選択 ▼・▲　詳細表示 OK
終了 メニュー

D：D-VHSカセット　S：S-VHSカセット
VHSカセットのときは表示しません。

- ブランク時間が同じ場合は、テープ番号の大きい順に表示します。また、同じテープ番号内のブランクも、すべて表示されます。

6 手順5で探したテープを入れる

- 表示窓の「----」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

7 [OK] を押して、番組タイトルの画面を表示させる

8 [△／▽]を押して、「ブランク」を選び[OK]を押す

- ブランク部分の頭出しをして停止します。

▶を「ブランク」に合わせてから、

9 録画する

- 66、78ページをご覧になり、必要な録画操作を行なってください。

テープタイトルを変更する（テープタイトル変更）

テープタイトルに名前を付けることができます。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

メニュー
▶ ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

2 [△／▽]を押して、「ビデオナビゲーション」を選び[OK]を押す

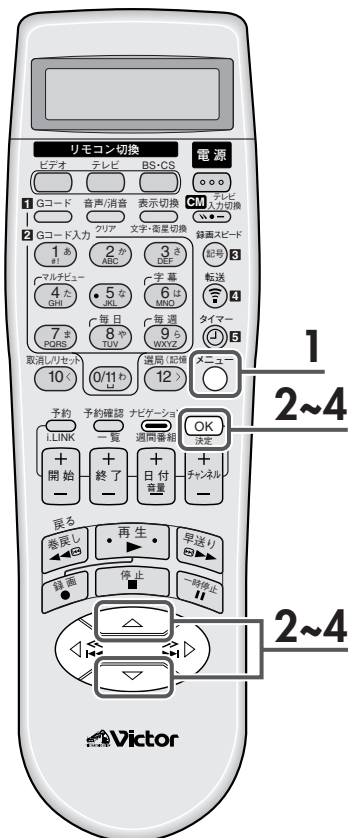
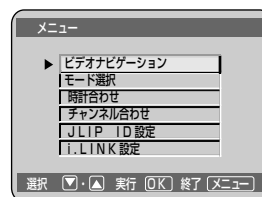
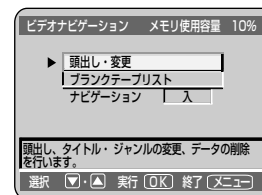
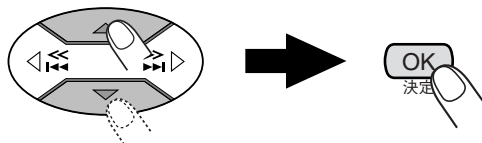
▶を「ビデオナビゲーション」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「頭出し・変更」を選び[OK]を押す

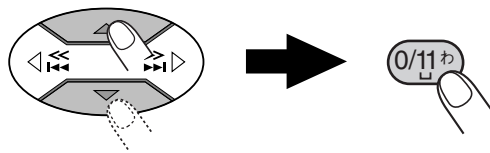
▶を「頭出し・変更」に合わせてから、

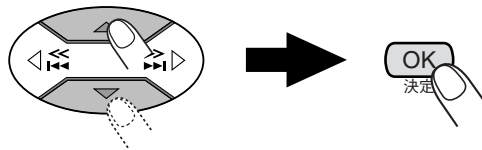
4 [△／▽]を押して、「テープ番号でさがす」を選び[OK]を押す

▶を「テープ番号でさがす」に合わせてから、

ご注意

- 他のビデオで録画したテープには、タイトルの入力はできません。

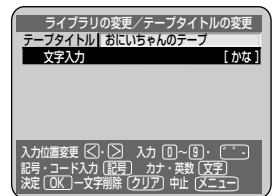
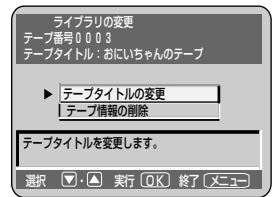
5 [△ ／▽] を押して、テープタイトルを変更したいテープ番号を選び[0/11]を押す

ライブラリの変更
テープ番号0003
テープタイトル：おにいちゃんのテープ
▶ テープタイトルの変更
テープ情報の削除
テープタイトルを変更します。
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

テープ番号を選んでから、

6 [△ ／▽]を押して、「テープタイトルの変更」を選び[OK]を押す

▶を「テープタイトルの変更」に合わせてから、

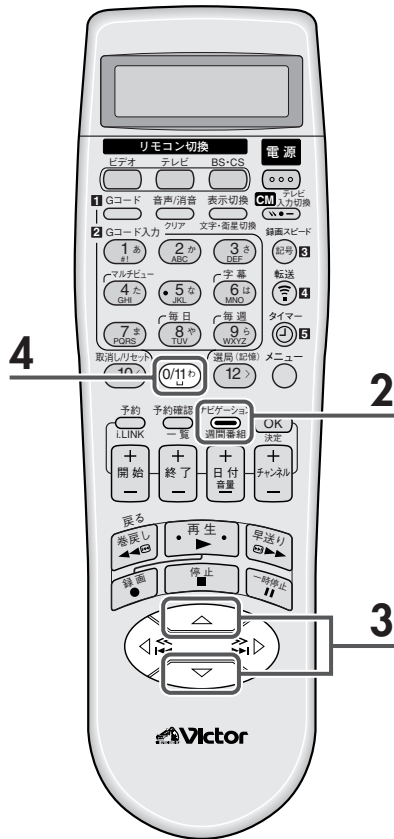
7 変更したいタイトルを入力し[OK]を押す

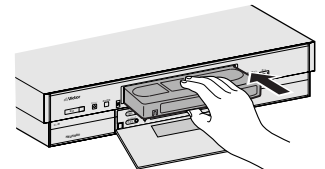
- くわしくは☞96ページをご覧ください。

8 [メニュー]を押して、メニュー操作を終了する

番組タイトルを変更する(番組タイトル変更)

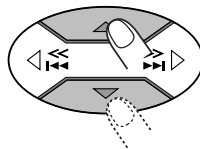
番組タイトルに名前を付けることができます。

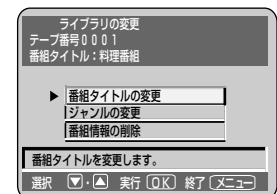
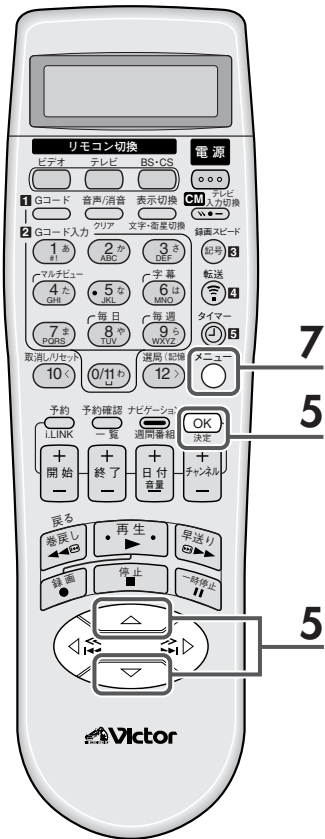
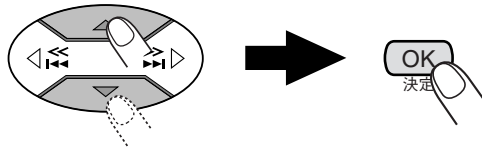
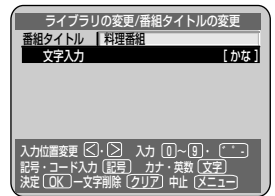
準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 番組タイトルを変更したいテープを入れる

- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

2 [ナビゲーション]を押して、番組タイトルの画面を表示させる

3 [△／▽]を押して、タイトルを変更したい番組を選ぶ

4 [0/11]を押して、「ライブラリの変更」画面を表示させる

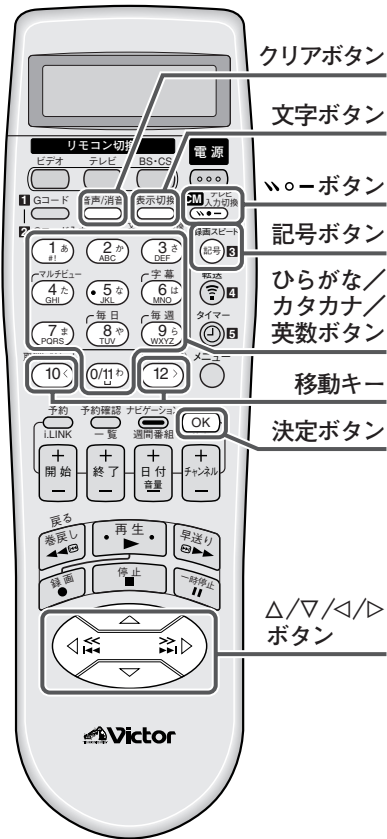
ご注意

- 他のビデオで録画したテープには、タイトルの入力はできません。

5 [△／▽]を押して､｢番組タイトルの変更｣を選び[OK]を押す

▶を「番組タイトルの変更」に合わせてから、

6 変更したいタイトルを入力し[OK]を押す

● くわしくは☞96ページをご覧ください。

7 [メニュー]を押して､メニュー操作を終了する

タイトルを編集する

タイトルは最大15文字まで入力できます。

クリアボタン
文字ボタン
ヽ∘ーボタン
記号ボタン
ひらがな／カタカナ／英数ボタン
移動キー
決定ボタン
△/▽/◁/▷ボタン

文字入力のしかた

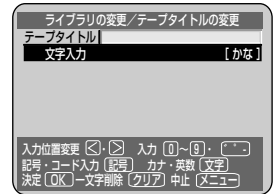
ひらがな、カタカナ、英数、記号、区点の５種類があります。

■5 種類の選びかた

・文字ボタンを押すごとに

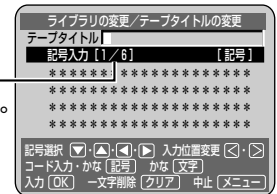
ひらがな → カタカナ → 英数

・記号ボタンを押すごとに

記号 → 区点 → ひらがな

記号入力のしかた

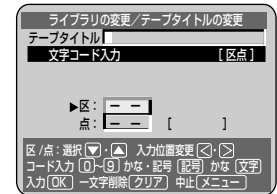
1. 記号ボタンを押して「記号」を選ぶと、画面に「記号入力」を表示します。

2. △／▽／◁／▷ ボタンでお好みの記号を選び、決定ボタンを押してください。

6画面あります。

区点入力のしかた

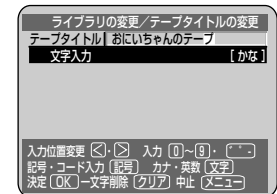
1. 記号ボタンを押して「区点」を選ぶと、画面に「文字コード入力」を表示します。

2. 区点コード表（☞144～151ページ）をご覧いただき、「区○○、点○○」の順に数字ボタンを押して、2ケタの数字を入力します。

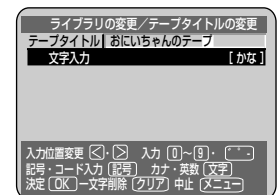
・「点○○」を入力する前に、▽ ボタンを押してください。

3. 決定ボタンを押します。

カーソル移動のしかた

左へ移動するとき　：数字ボタンの 10（<）を押します。

右へ移動するとき　：数字ボタンの 12（>）を押します。

タイトルを消すには

1. 消したい文字にカーソルを合わせます。

2. クリアボタンを押します。

文字を入力してみましょう !!

（例）ニッパーくん物語①

ニ = 5 2回押す

ッ = 4 6回押す

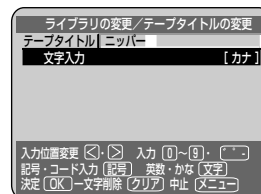
パ = 6 1回押す → 1回押す

ー = 1回押す

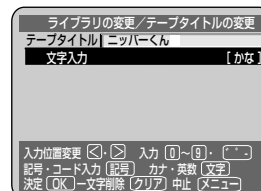
1. 文字ボタンを押して、「カナ」を選びます。

2. 数字ボタンを押して、「ニッパー」を入力します。

文字入力のミスを防ぐため、1文字入力するごとに、数字ボタンの12 (>)を押してください。

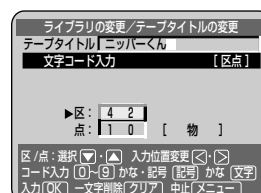
く = 2 3回押す

ん = 0/11 3回押す

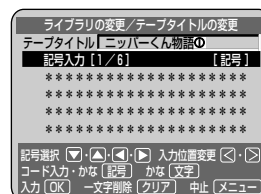
3. 文字ボタンを押して、「かな」を選びます。

4. 数字ボタンを押して、「くん」を入力します。

5. 記号ボタンを押して「区点」を選ぶと、画面に「文字コード入力」を表示します。

6. 区点コード表（☞144〜151ページ）をご覧いただき、「区○○、点○○」の順に数字ボタンを押して、2ケタの数字を入力します。
物：4210　語：2476

・「点○○」を入力する前に、▽ ボタンを押してください。

7. 決定ボタンを押します。

8. 記号ボタンを押して、「記号」を選びます。

9. △／▽／◁／▷ ボタンを押して「①」を選びます。

10. 決定ボタンを２回押します。

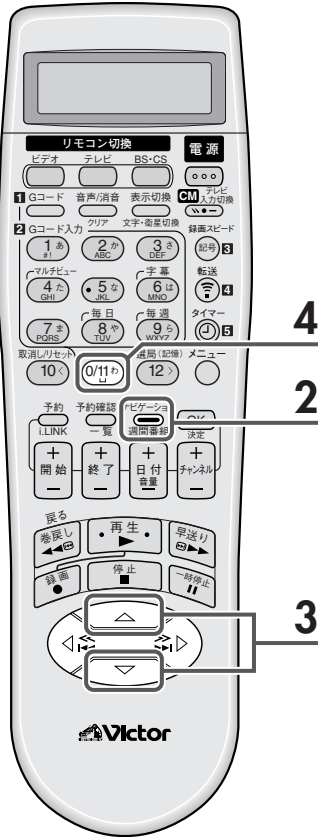
11. メニューボタンを押します。
（タイトル変更終了）

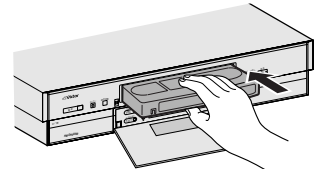
便利な機能

番組のジャンルを変更する(ジャンル変更)

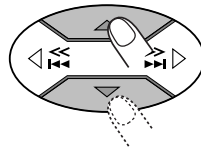
番組にジャンルを付けることができます。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 ジャンルを変更したいテープを入れる

- 表示窓の「----」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

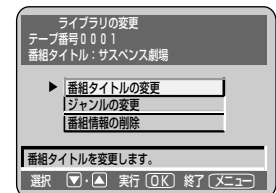
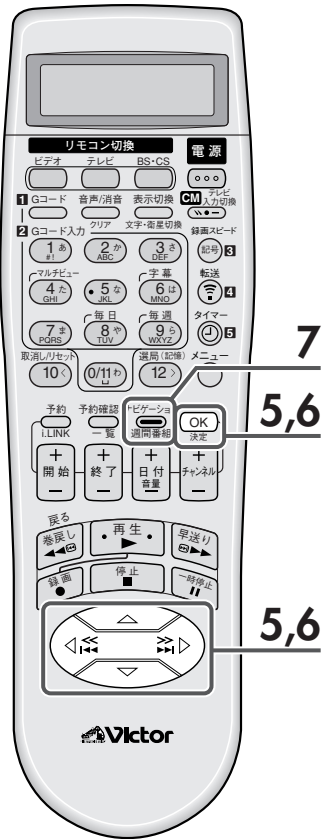
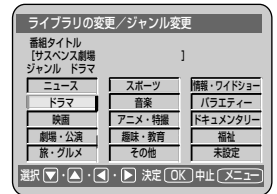
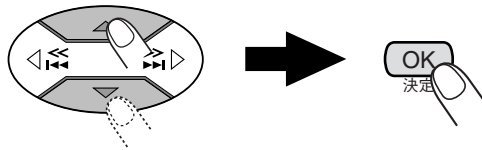
2 [ナビゲーション]を押して、番組タイトルの画面を表示させる

3 [△/▽]を押して、ジャンルを変更したい番組を選ぶ

4 [0/11]を押して、「ライブラリの変更」画面を表示させる

5 [△／▽]を押して、「ジャンルの変更」を選び[OK]を押す

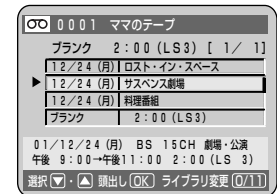
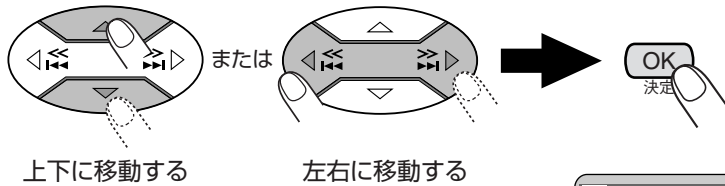
ライブラリの変更／ジャンル変更
番組タイトル
[サスペンス劇場]
ジャンル ドラマ

ニュース	スポーツ	情報・ワイドショー
ドラマ	音楽	バラエティー
映画	アニメ・特撮	ドキュメンタリー
劇場・公演	趣味・教育	福祉
旅・グルメ	その他	未設定

選択 ▼・▲・◀・▶ 決定 OK 中止 メニュー

▶を「ジャンルの変更」に合わせてから、

6 [△／▽／◁／▷]を押して、ジャンルを選び[OK]を押す

上下に移動する　　左右に移動する

0001 ママのテープ
ブランク 2:00(LS3) [1/ 1]
12/24(月) ロスト・イン・スペース
▶ 12/24(月) サスペンス劇場
12/24(月) 料理番組
ブランク 2:00(LS3)
01/12/24(月) BS 15CH 劇場・公演
午後 9:00→午後11:00 2:00(LS 3)
選択 ▼・▲ 頭出し OK ライブラリ変更 0/11

7 [ナビゲーション]を押して、番組タイトルの画面を消す

テープ情報を削除する（テープ情報の削除）

本機にメモリーされた番組情報を消すことができます。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

メニュー
- ▶ ビデオナビゲーション
- モード選択
- 時計合わせ
- チャンネル合わせ
- JLIP ID設定
- i.LINK設定

選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

2 [△ ／▽]を押して、「ビデオナビゲーション」を選び[OK]を押す

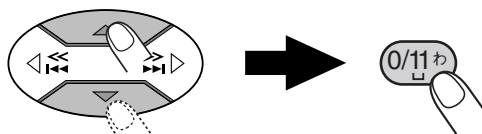
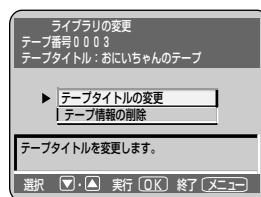
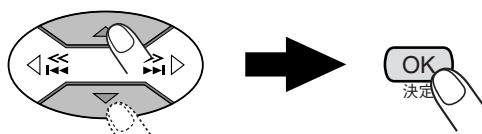
▶を「ビデオナビゲーション」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「頭出し・変更」を選び[OK]を押す

▶を「頭出し・変更」に合わせてから、

4 [△ ／▽]を押して、「テープ番号でさがす」を選び[OK]を押す

▶を「テープ番号でさがす」に合わせてから、

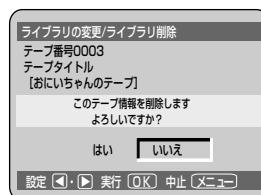
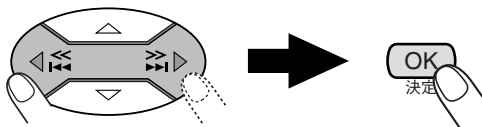
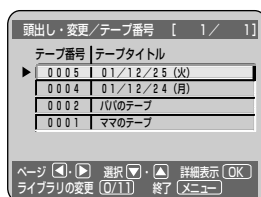
5 [△／▽]を押して、削除したいテープ番号を選び[0/11]を押す

テープ番号を選んでから、

6 [△ ／▽]を押して、「テープ情報の削除」を選び[OK]を押す

▶を「テープ情報の削除」に合わせてから、

7 [◁ ／▷]を押して、「はい」を選び[OK]を押す

▶を「はい」に合わせてから、

頭出し・変更／テープ番号 [1／ 1]

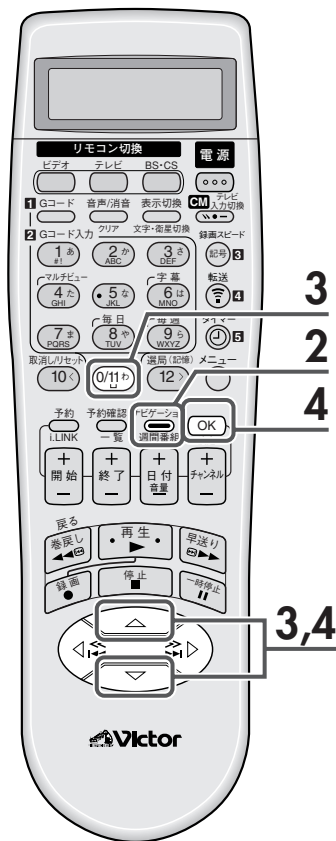
テープ番号	テープタイトル
▶ ０００５	０１／１２／２５ (火)
０００４	０１／１２／２４ (月)
０００２	パパのテープ
０００１	ママのテープ

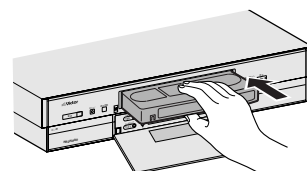
ページ ◀・▶ 選択 ▼・▲ 詳細表示 OK
ライブラリの変更 0/11 終了 メニュー

- テープのすべての情報は削除されますが、録画内容は削除されません。

8 [メニュー]を押して、メニュー操作を終了する

番組情報を削除する(番組情報の削除)

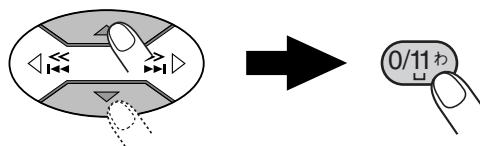
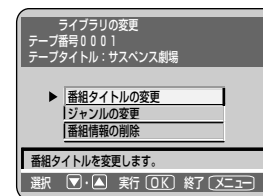
本機にメモリーされた番組情報を消すことができます。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 番組情報を削除したいテープを入れる

- 表示窓の「----」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

2 [ナビゲーション]を押して、番組タイトルの画面を表示させる

3 [△／▽]を押して、削除したい番組を選び[0/11]を押す

削除したい番組を選んでから、

4 [△／▽]を押して、「番組情報の削除」を選び[OK]を押す

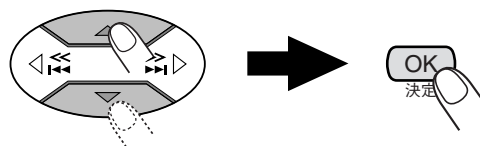
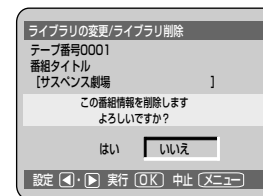
▶を「番組情報の削除」に合わせてから、

5 [◁／▷]を押して、「はい」を選び[OK]を押す

▶を「はい」に合わせてから、

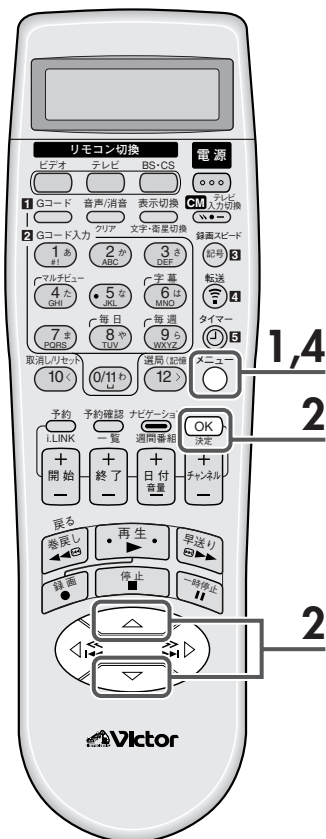
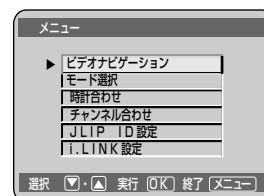
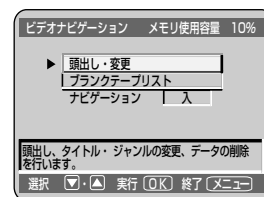
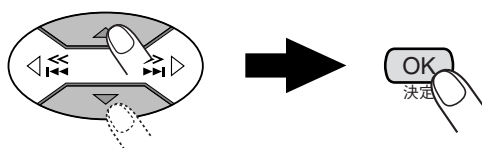
0001　ママのテープ
ブランク　4：00（LS3）［ 1／ 1］
▶ 12／24（月）｜ロスト・イン・スペース
ブランク｜2：00（LS3）
12／24（月）｜料理番組
ブランク｜2：00（LS3）
01／12／24（月）　BS　15CH　映画
午後　7：00→午後　9：00　2：00（LS　3）
選択▼・▲　頭出し OK　ライブラリ変更 0/11

- 番組情報は削除されますが、録画内容は削除されません。番組タイトルは「ブランク」と表示されます。

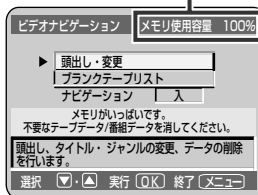
6 [ナビゲーション]を押して、番組タイトルの画面を消す

メモリーの確認

メモリーの使用状況を確認して、不要なタイトルは削除（☞100〜103ページ）してください。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△／▽]を押して、「ビデオナビゲーション」を選び[OK]を押す

▶を「ビデオナビゲーション」に合わせてから、

3 「メモリ使用容量」を確認する

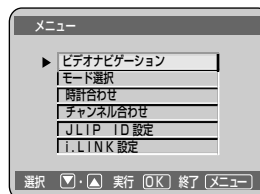
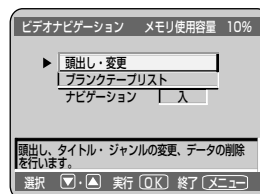
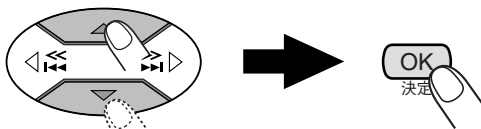
本機にメモリーされている容量を表示します。（目安です。）

4 [メニュー]を押して、メニュー操作を終了する

本機のメモリーに番組情報を記憶させたくないときは

準備

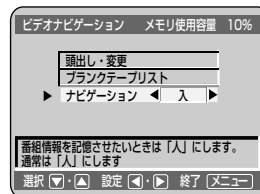
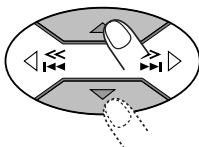
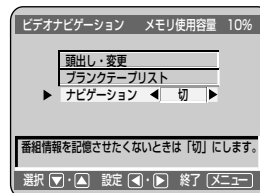
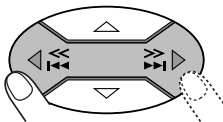
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

メニュー
▶ ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

2 [△／▽]を押して、「ビデオナビゲーション」を選び[OK]を押す

▶を「ビデオナビゲーション」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「ナビゲーション」を選ぶ

4 [◁／▷]を押して、「切」にする

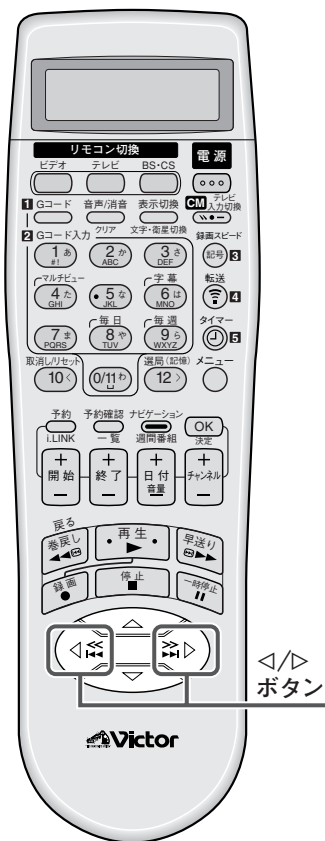
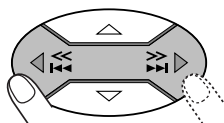
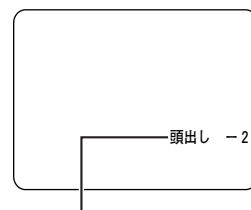
ビデオナビゲーション　メモリ使用容量　10%
頭出し・変更
ブランクテープリスト
▶ ナビゲーション　切
番組情報を記憶させたくないときは「切」にします。
選択 ▼・▲ 設定 ◀・▶ 終了 メニュー

5 [メニュー]を押して、メニュー操作を終了する

- テープを入れたときに、テープ番号の検索はしません。

番組の頭出しをする

頭出し再生

本機では、録画を始めると自動的に録画の始まりの部分にインデックスマーク(VISS)と呼ばれる信号が記録されます。この信号を使って、録画の頭出しを簡単にすることができます。

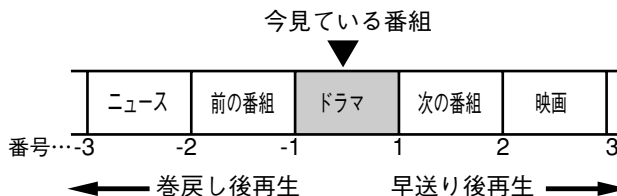
テープの何番目に見たい番組が録画されているかわかっているときに便利です。インデックスマーク（VISS）は前後９番目まで指定できます。

停止中に

● 押すたびに、頭出しの番号がひとつづつ増えて(減って)いきます。

指定した頭出し番号が表示されます。
例：今見ている番組（録画）のひとつ前の番組を見たいとき

番号指定のしかた

今見ている番組 ▼

ニュース	前の番組	ドラマ	次の番組	映画

番号…-3　-2　-1　1　2　3

◀── 巻戻し後再生　　早送り後再生 ──▶

［例］次の番組を頭出しするとき：
　▷ボタンを1回押す。
今見ている番組を頭出しするとき：
　◁ボタンを1回押します。
前の番組を頭出しするとき：
　◁ ボタンを2回押します。

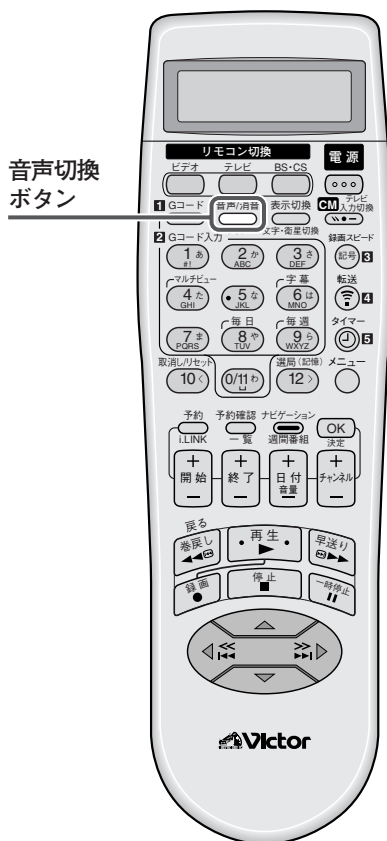
聞きたい音声を選ぶ

音声出力切換

二重音声放送(二カ国語放送など)やステレオ放送を録画したテープを再生するときは、聞きたい音声を選ぶことができます。
BSデジタル番組を録画したテープを再生するときは、☞84ページをご覧ください。
メニューの「モード選択ー機能設定ーオンスクリーン」が「オート」または「入」になっているときは、選んだ音声をテレビ画面で確認することができます。文字多重放送は二重音声放送ではありません。

- D-VHS記録したテープでは、ノーマル音声が記録されないため、音声の選択はできません。
- 録画中に音声を切り換えても、録画には影響しません。

S-VHS/VHS記録したテープについて

- ハイファイ音声が録音されていないテープを再生中は、他の音声を選ぶことはできません。
- お買い上げ時の設定では、二重音声放送を録画すると、「主音声」だけが録音されます。副音声も録音したいときは、メニューの「モード選択ー音声設定ー二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。(☞26、27ページ)
- お買い上げ時の設定では、メニューの「モード選択ー音声設定ーミックス音声」は「切」になっています。(☞27ページ)

押すたびに、聞こえる音声が次のように変わります。

● **二重音声放送を(主音声と副音声で)録画したテープのとき**
メニューの「モード選択ー音声設定ーミックス音声」(☞27ページ)が「切」のとき

音声/消音 → 音声/消音 → 音声/消音 → 音声/消音

聞こえる音声	主音声+副音声	主音声	副音声	ノーマル音声(主音声)
テレビ画面の表示	左 右	左	右	ノーマル
表示窓の表示				NORM

● **ステレオ放送を録画したテープのとき**
メニューの「モード選択ー音声設定ーミックス音声」が「切」のとき

音声/消音 → 音声/消音 → 音声/消音 → 音声/消音

聞こえる音声	ステレオ音声	左音声	右音声	ノーマル音声(モノラル音声)
テレビ画面の表示	左 右	左	右	ノーマル
表示窓の表示				NORM

メニューの「モード選択ー音声設定ーミックス音声」が「入」のときは(S-VHS/VHS記録したテープのみ)
左右の音声(二重音声やステレオ音声)にノーマル音声がミックスして聞こえてきます。

音声/消音 → 音声/消音 → 音声/消音

聞こえる音声	ミックス音声(左右の音声+ノーマル音声)	左音声+ノーマル音声	右音声+ノーマル音声
テレビ画面の表示	ミックス	(表示なし)	(表示なし)
表示窓の表示	NORM	NORM	NORM

お願い

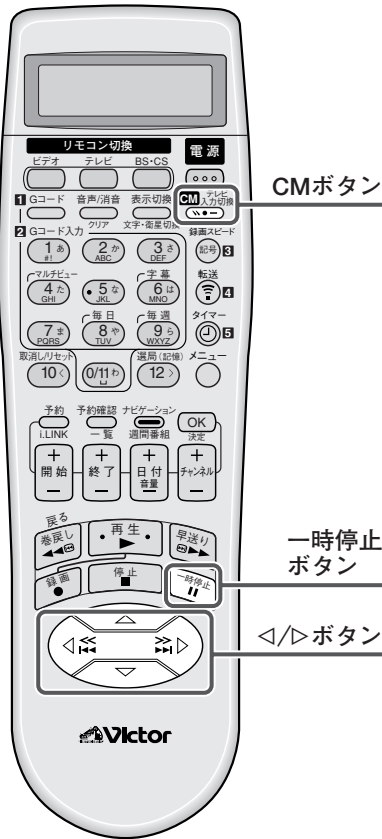
- 「モード選択ー音声設定ーミックス音声」が「入」のときに、ハイファイ音声とモノラル音声に同じ音が録音されているテープを再生すると、音が歪むことがあります。このときは、「ミックス音声」を「切」にしてください。(☞26、27ページ)

再生に便利な機能

S-VHS/VHS記録したテープで操作できます。

CMボタン

一時停止ボタン

◁/▷ボタン

コマーシャルを飛ばして再生する

テープを再生中に、コマーシャル部分を 30 秒単位で早送りすることができます。
（CM スキップサーチ）

再生中に

1 度押すと、早送りが始まります。
その後押すたびに、早送りの時間が 30 秒ずつ（最長 2 分まで）増えていきます。
D-VHS 記録したテープでも操作できますが、出画するまでに多少時間がかかったり、画像が乱れることがあります。

コマ送りやスローで再生する

再生中に

- 1 度だけ押すと、一時停止になり、静止画がテレビ画面に表示されます。（静止画再生）
- 2秒以上押し続けると、スローで再生されます。（スロー再生）

一時停止中に

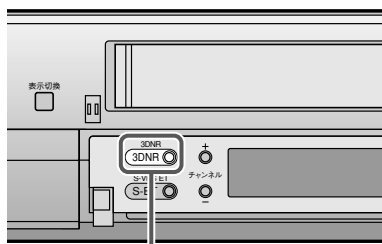
- くり返し押すと、押すたびに映像が 1 コマずつコマ送りで再生されます。（コマ送り）

再生を止めるには、停止（■）ボタンを押します。

表示切換

3DNR

S-VHS ET

チャンネル

3DNRボタンとランプ

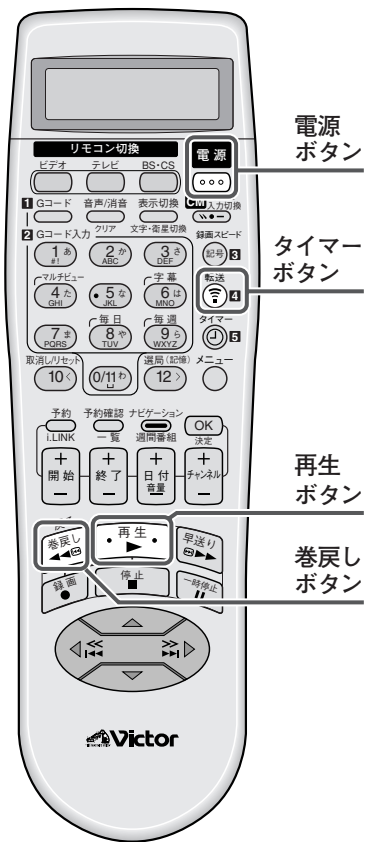
ノイズを抑える（3DNR）

3次元デジタルフィルターの働きにより、ノイズの多い映像信号をノイズの少ない、より高画質の映像に変換します。
通常は、3DNR を「入」にしてください。
テープによっては、映像が乱れることがありますので、このようなときは「切」にしてください。

再生中に

押すたびに、ボタンのランプが点灯または消灯して 3DNR が入 / 切します。

3DNR : 3Dimension（3 次元）ノイズリダクションの意味です。

その他の便利な機能

テープを巻戻してから、再生する

を押してから、約2秒以内に

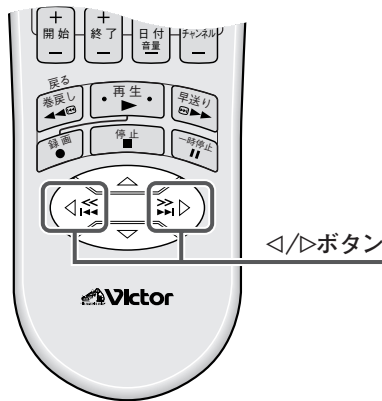
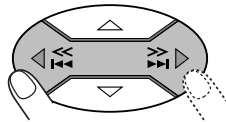
テープを巻戻してから、電源を切る

を押してから、約2秒以内に

テープを巻戻してから、本機を予約録画待機中にする

を押してから、約2秒以内に

スピードを変えて再生する

S-VHS/VHS記録したテープで操作できます。

再生中に

● 静止画再生中に押すと、コマ送り再生になります。

通常の再生に戻すには、再生（▶）ボタンを押します。

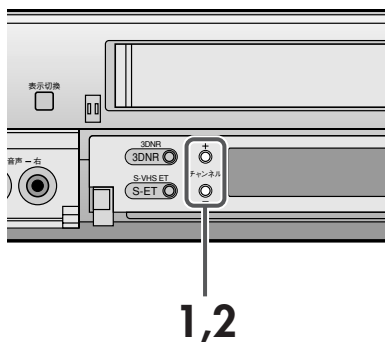
逆転スピード再生（3段階）	逆転再生	逆転スロー再生（2段階）	スロー再生（2段階）	通常再生	倍速再生	スピード再生（3段階）

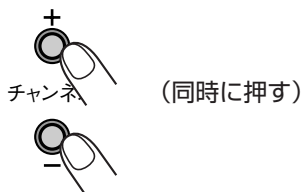
● 最大スピードは、録画スピードによって異なります。
「標準(SP)」のときは7倍速、「3倍(EP)」のときは21倍速になります。

- 再生スピードが切り換わる部分では、画像が乱れることがあります。
- 静止画再生やスロー再生を5分以上続けると、本機は自動的に停止します。ただし、逆転スロー再生のみ、30秒で停止します。
- 静止画再生、コマ送り、スロー再生や可変速再生中は、音声は聞こえません。
- 静止画再生中やスロー再生中に映像に横すじやちらつきが出るときは、トラッキング調節を行ってください。（☞111ページ）

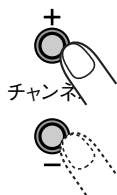
再生中の映像を調節する

トラッキングを調節する

本機には、オートトラッキング機能が付いています。
テープの再生を始めると自動的にオートトラッキングが働き、映像の乱れやちらつきを調節します。
オートトラッキングで映像の乱れやちらつきがとれないときは、手動でトラッキングを調節します。

再生中に

1 [チャンネル＋／－] を同時に押して、オートトラッキングを解除する

- 押すたびに、オートトラッキングの「入/切」が切り換わります。

2 [チャンネル＋／－] を押して、トラッキングを調節する

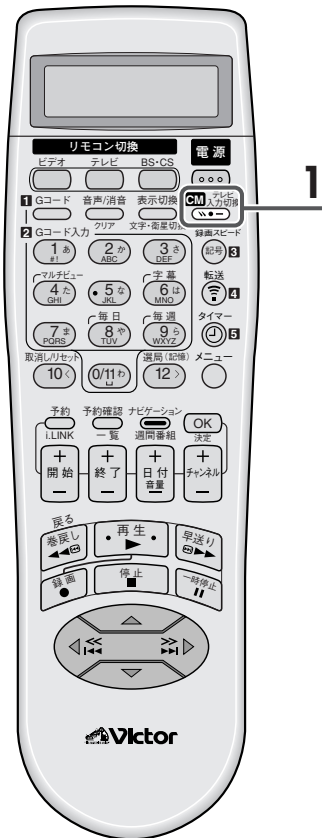
MEMO

- 本機の電源を入れたり、テープを入れると、オートトラッキングが自動的に「入」になります。

お願い

- 録画状態の極端に悪いテープや他のビデオデッキで録画したテープでは、十分にトラッキングを調節できないことがあります。
- 静止画再生中やスロー再生中の映像の乱れやちらつきは、調節しても消えないことがありますが、故障ではありません。

静止画再生中やスロー再生中に、映像に横すじやちらつきが出るときは
① 静止画再生中は、**一時停止**（⏸）ボタンを２秒以上押し、スロー再生にする
② **チャンネル＋**または**－**ボタンを押し、調節する

コマーシャルを飛ばして録画する

二重音声放送(二カ国語放送など)やモノラル放送の番組を録画中に、コマーシャルを飛ばして録画することができます。(オートCMカット)

準備

- つめのついたテープを入れてください。

1 [CM]を押して、「オートCMカット:する」を選ぶ

停止中または録画中に

- 押すたびに、オートCMカットの「する/しない」が切り換わり、現在の設定がテレビ画面に表示されます。

録画予約するときは…

録画予約時にオートCMカットの設定をしてください。(☞69、71ページ参照)

- 録画予約中は、予約時の設定に合わせて、オートCMカットの「する/しない」が切り換わります。

- D-VHS 記録時は働きません。
- BSデジタル放送/デジタルCS放送の番組または外部入力（テープをダビングするときなど）を録画するときは、オートCMカットが働きません。

MEMO

- 次のようなときは、オートCMカットが自動的に「切」になります。
  - 録画中に**停止**（■）ボタンまたは**一時停止**（II）ボタンを押したとき
  - 録画を始める前に**再生**（▶）ボタン、**巻戻し**（◀◀）ボタン、**早送り**（▶▶）ボタン、**ビデオ電源**ボタンを押したとき
  - 録画を始める前やCMカット中(録画一時停止中)に、チャンネルを切り換えたとき

オートCMカット機能について

オートCMカット機能は、二重音声放送やモノラル放送の番組を録画中に、ステレオ放送が始まると自動的に録画を中止し、ふたたび二重音声放送やモノラル放送が始まると、録画を再開する機能です。

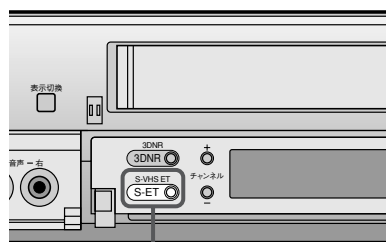
通常、映画やスポーツ中継などは二重音声で放送されることが多く、逆にコマーシャルはステレオ音声で放送されることが多いので、そのことを利用した機能が「オートCMカット」です。

お願い

■ 次のような場合、正常にCMカットができません。

- **ステレオ放送の番組を録画するときには、使わないでください。**
  オートCMカットが「する」になっているときに、ステレオ放送の録画を始めると、本機は自動的に一時停止になります。約5分後に一時停止が解除され録画が始まります。
- オートCMカットを使って、コマーシャルを飛ばして録画すると、コマーシャルの前後で本来の録画したい番組が多少欠けて録画されることがあります。
- モノラル放送のコマーシャルは、オートCMカットが「する」になっていても、録画されます。また、タイマー予約したときに最後がCMで終わった場合、多少CMが録画されることがあります。
- 電波の弱い地域では、オートCMカットが正しく働かないことがあります。

VHS テープに S-VHS の画質で録画する

VHSテープにS-VHSの画質で録画ができます。

S-VHS ETボタンとランプ

S-VHS ET ランプが点灯し、
本体表示窓に S-VHS が表示されます。

ボタンを押すと S-VHS ET モードが「入」になり点灯します。
もう一度押すと「切」になり消灯します。

S-VHS ET が働かないとき

- 次のようなときは、S-VHS ET ボタンは働きません。
  - 録画中
  - 再生中
  - D-VHS テープが入っているとき
  - S-VHS テープが入っているとき

S-VHS ET 機能について

この機能は、VHS テープに S-VHS の画質で記録するための機能です。S-VHS ET 機能を使って録画したテープは、本機または S-VHS ET 機能を持ったビデオデッキで再生してください。

お願い

- よりよい画質で録画・再生・長期保存するためには、S-VHS テープをご利用ください。
- S-VHS ET 機能を使って録画したテープの再生は本機、もしくは S-VHS ET 機能付きのビデオデッキでお楽しみください。
- S-VHS ET 機能を使って録画したテープは、S-VHS のビデオデッキや S-VHS 簡易再生機能（SQPB）付きのビデオデッキでも再生することができます。ただし、機種によっては再生できないこともありますので、ご注意ください。
- 再生時、テープの品質によっては、ノイズが出ることがあります。
- 静止画再生やコマ送り・スロー再生を行うと、画面にノイズがでる場合があります。
- 静止画再生やコマ送り・スロー再生を頻繁に行うと、画質が劣化することがあります。これらの操作の多用は避けてください。
- お使いになるテープによっては、十分な画質が得られないことがあります。必ず事前に試し撮りをして、十分な画質で録画されてることを確かめてください。
  S-VHS ET 機能を使って録画するときは、次のことをお勧めします。
  - HG(ハイグレード)タイプの VHS テープをお使いください。
  - メニューの「モード選択ー映像設定ーテープレベルアップ」を「入」（☞26、27 ページ参照）にしておいてください。
  - 映像がちらついたり、乱れたりするときは、クリーニングカセットをお使いください。（☞8 ページ参照）

最適な画質で録画・再生をする

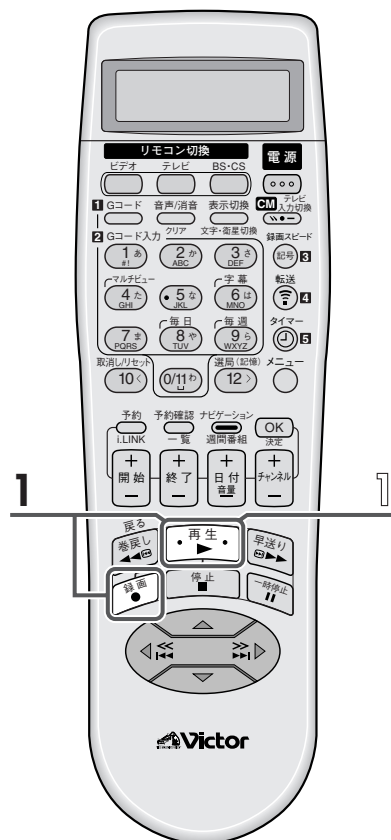
テープレベルアップ

メニューの「テープレベルアップ」(☞27ページ)を使うと、自動的に本機が録画・再生するテープの品質レベルを測定して、最適な画質で録画・再生することができます。
ここでは、この機能が「入」のときに、本機がどのように動作するかを説明します。

ご注意

• D-VHS 記録時は働きません。

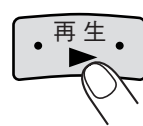
MEMO

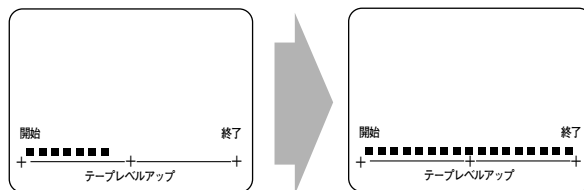
• 録画スピードを変えると、ふたたび、テープの品質レベルを測定します。(「標準(SP)」と「3倍(EP)」モードに対して、それぞれ1度だけ測定します。テープを出し入れしたときは、そのたびにテープの品質レベルを測定し直します。)
• 予約録画をするときは、最初の予約録画を始める前に、テープの品質レベルを「標準(SP)」と「3倍(EP)」モードに対して測定します。以降の予約録画開始時には測定しません。(テープを出し入れしたときは、そのたびにテープの品質レベルを測定し直します。)
• テープの品質レベルを測定中は、一時停止(II)ボタンは働きません。

1 録画時の動作…

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- 詳しい録画時の操作については、「番組を録画する」(☞66ページ)をご覧ください。

停止中に

を押しながら

次の画面が表示され、自動的にテープの品質レベルを測定します。

- メニューの「モード選択ー機能設定ーオンスクリーン」が「切」のときは、この画面は表示されません。(☞28ページ)

約7秒後、テープの品質レベルの測定が終了すると、録画が開始されます。

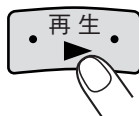
番組の始めから録画したいときは

① **一時停止**(II)ボタンと**録画**(●)ボタンを同時に押す
本機は録画待機状態になり、テープの品質レベルを測定します。
② 録画したい番組が始まったら、**再生**(▶)ボタンを押す
録画が始まります。

1 再生時の動作…

準備

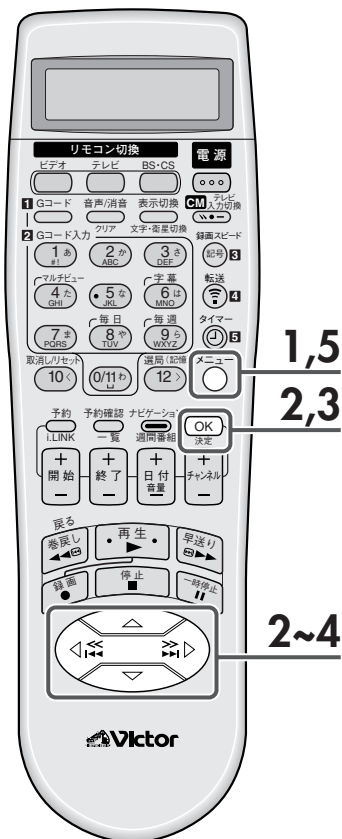
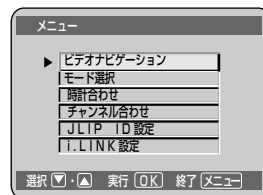
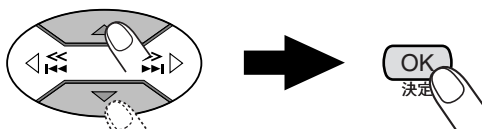
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- 詳しい再生時の操作については、「ビデオを見る」(☞63ページ)をご覧ください。

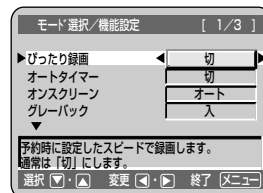
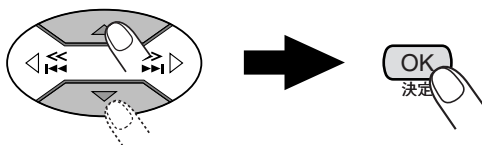
停止中に

- オートトラッキング機能が働き、同時に再生する映像に適した画質に自動的に調整します。
- レンタルテープや他のビデオデッキで録画したテープを再生するときは、「テープレベルアップ」の「入/切」を切り換えてみて、よりよい画質で再生される方の設定でお使いください。

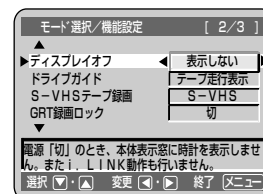
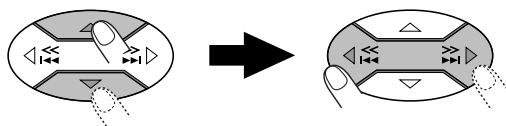
節電設定にする

本体表示窓の時計表示を消す

電源「切」のときでもわずかに電力を消費していますが、本体表示窓の時計表示を消すと、消費電力を少なくすることができます。本機の電源が「切」のときのみ、本体表示窓に時計を表示しません。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△／▽]を押して、「モード選択」を選び[OK]を押す

▶を「モード選択」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「機能設定」を選び[OK]を押す

▶を「機能設定」に合わせてから、

4 [△／▽]を押して「ディスプレイオフ」を選び、[◁／▷]を押して「表示しない」にする

▶を「ディスプレイオフ」に合わせてから、

設定する

5 [メニュー] を押して、メニュー操作を終了する

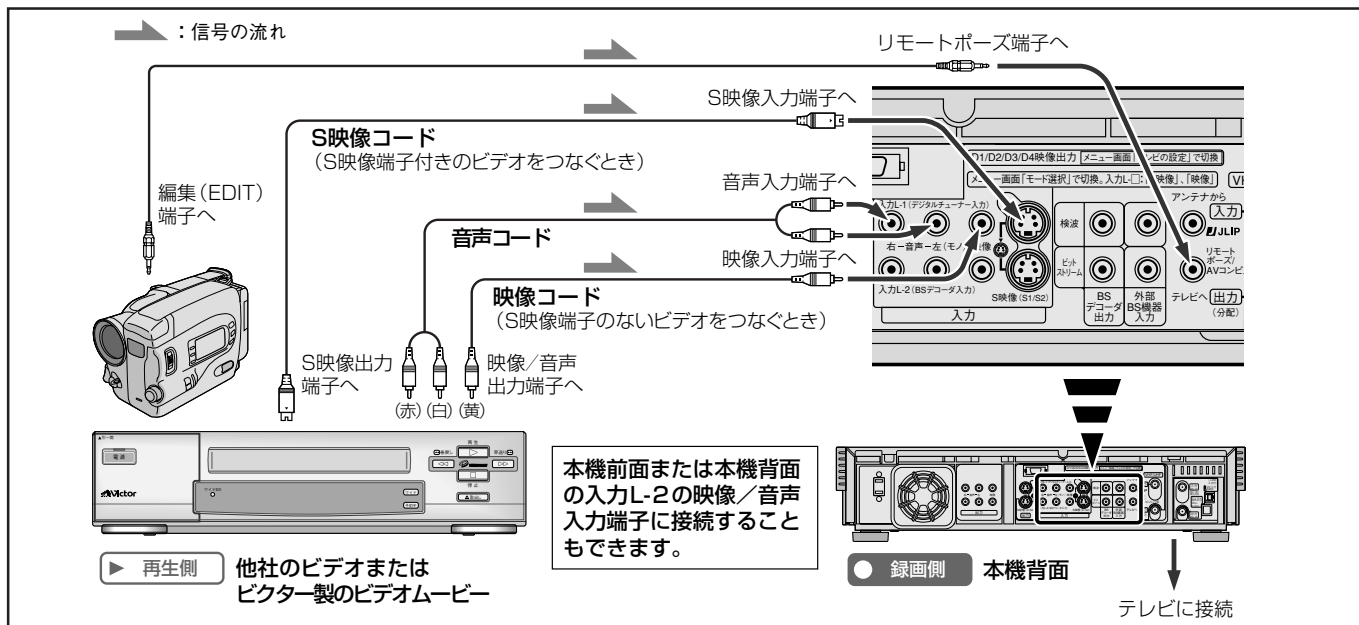
ご注意

- 手順**4**で「表示しない」にして本機の電源を切ると、i.LINK機器の認識ができません。そのため、BSデジタルチューナー／デジタルCSチュナー側で予約した番組の録画ができません。また、分岐接続している場合、データの中継をしません。

便利な機能

テープをダビングする

他機で再生、本機で録画する【D-VHS/S-VHS/VHS記録】

● **相手の機器が他社やビクター製のビデオデッキ、ビクター製ビデオムービーのとき**
ビデオムービーのときには、編集(EDIT)端子と本機のリモートポーズ端子を接続します。
この接続をするとビデオムービーからの操作だけで、テープのダビングや編集をすることができます。

他機側（再生）

準備

- 再生するテープを入れておきます。
- 再生する機器の詳しい操作方法については、再生する機器の取扱説明書をご覧ください。
- ビデオムービーの詳しい操作については、ビデオムービーの取扱説明書をご覧ください。

- ダビングすると、画質はもとのテープより劣ります。S-VHSの標準（SP）モードで録画することをおすすめします。
- 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
- ダビングが終わったときは、ビデオムービーと本機の両方を停止させてください。

3 ダビングしたい部分の少し前から再生を始める。ビデオムービーのときには、ダビングしたい場面を設定する

ビデオムービーの編集スタートボタンを押します。

- 本機側（録画）の録画一時停止が自動的に解除されて録画が始まりますので、手順**4**は必要ありません。

あなたがビデオテープレコーダーで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

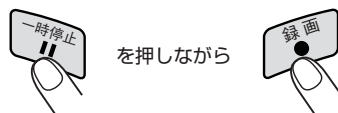
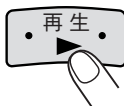
本機側（録画）

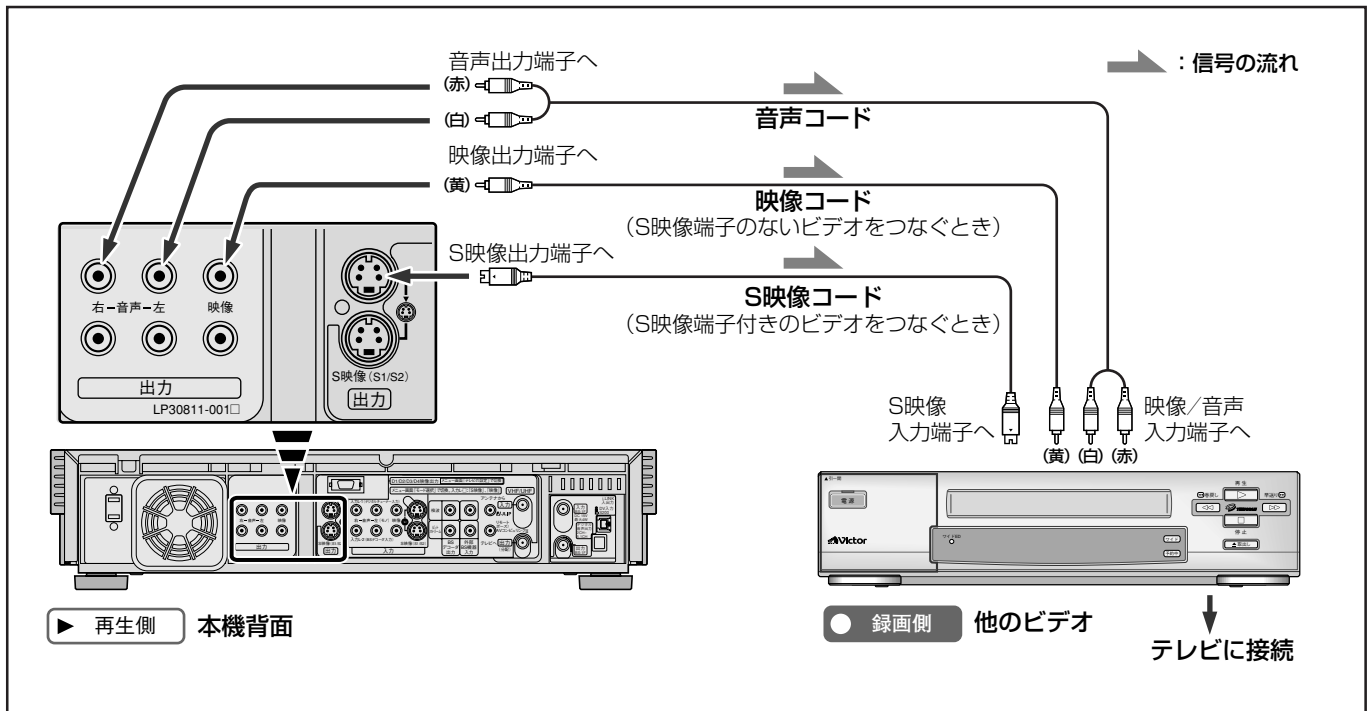
準備

- 再生機を、どちらの映像入力端子（「S映像」または「映像」）につないだかを、メニューで正しく設定してください。(☞26、28ページ)両方の端子をつなぐ必要はありません。
- 本機背面のリモートポーズ端子に接続しているときは、メニューの「モード選択ー機能設定ーコントロール切換」(☞26、28ページ)を「リモートポーズ」にします。
- メニューの「モード選択ー映像設定ーインテリジェントピクチャー」(☞26、27ページ）を「ダビング」にします。
- 録画用のテープを入れておきます。

1 外部入力を選ぶ

- 前面の映像/音声入力端子に、再生機をつないだときは「F-1」、背面の映像/音声入力端子に、再生機をつないだときは、「L-1」または「L-2」を選びます。

2 録画一時停止状態にする

を押しながら
4 録画を始める

- ダビングが終わったら、メニューの「インテリジェントピクチャー」(☞26、27ページ）を「オートピクチャー」(テープレベルアップが「切」のときには「スタンダード」)に戻しておいてください。

本機で再生、他機で録画する【S-VHS/VHS 記録】

本機側（再生）

準備

- 再生するテープを入れておきます。
- メニューの「モード選択ー機能設定ーオンスクリーン」（☞23ページ）を「切」にしておきます。
  「オート」または「入」になっていると、本機のオンスクリーン表示が同時に録画されてしまいます。
- メニューの「モード選択ー映像設定ーインテリジェントピクチャー」（☞26, 27ページ）を「ダビング」にします。

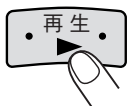
3 ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

他機側（録画）

準備

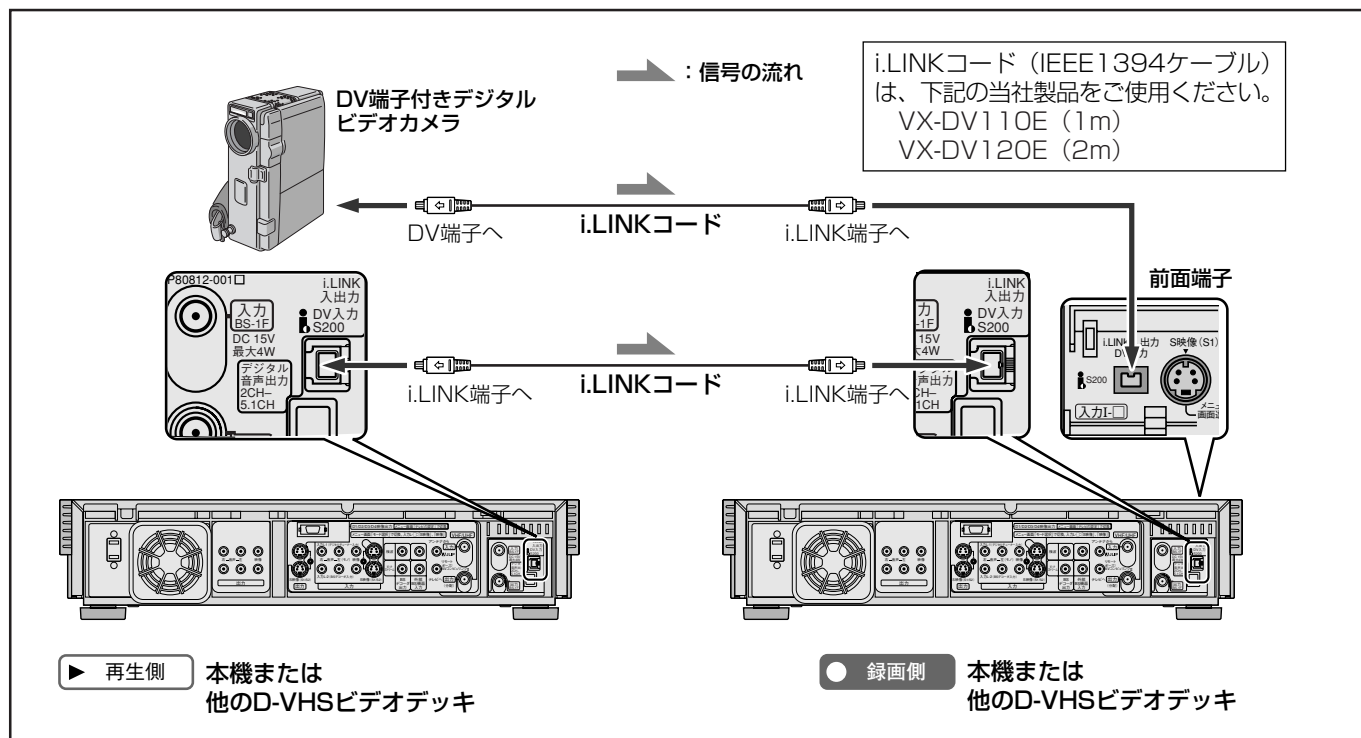
- 録画用のテープを入れておきます。
- 実際の操作のしかたは、他機の取扱説明書をご覧ください。

1 本機を接続した外部入力を選ぶ

2 録画一時停止状態にする

4 録画を始める

- S映像端子と映像端子（黄色）の両方をつなぐ必要はありませんが、他のビデオにS映像入力端子があるときは、S映像端子どうしをつないでお使いいただくと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。
- ダビングが終わったときは、本機と他機の両方を停止させてください。
- ダビングが終わったら、メニューの「インテリジェントピクチャー」（☞26、27ページ）を「オートピクチャー」（テーププレベルアップが「切」のときは「スタンダード」）に戻しておいてください。

本機とi.LINK(またはDV)端子付きビデオ機器でD-VHS記録する【D-VHS記録】

DV端子付きのデジタルビデオカメラやD-VHSビデオデッキから本機にD-VHS記録でダビングすることができます。

再生側

準備

- 再生するテープを入れておきます。

3 ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- DV端子付きビデオカメラからのダビングは、本機でDV フォーマットから MPEG2 フォーマットに変換して D-VHS 記録します。525i で記録します。
- 本機の i.LINK 端子からDV 端子付きビデオカメラへのダビングはできません。
- D-VHSビデオデッキどうしでダビングする場合、録画スピードは、再生側と同じスピードで録画することをおすすめします。
- デジタルビデオカメラの機種によっては、i.LINK の通信ができないことがあります。このようなときは、メニューの「i.LINK 設定ーリンク（LINC)」を「切」にしてください。(☞119 ページ)
- 本機前面および背面の i.LINK 端子の「S200」の表記については、 ☞15ページをご覧ください。

録画側

準備

- 録画用の D-VHS テープを入れておきます。

1 外部入力を選ぶ

- 本機の場合は、チャンネル+/ーボタンを押して、接続した機器のi.LINK機器番号(I-1など)を選びます。(☞77 ページ)

2 記録する音声を選択する

- メニューの「モード選択ー音声設定ーDV音声記録」の設定を行ないます。(☞26、27 ページ)

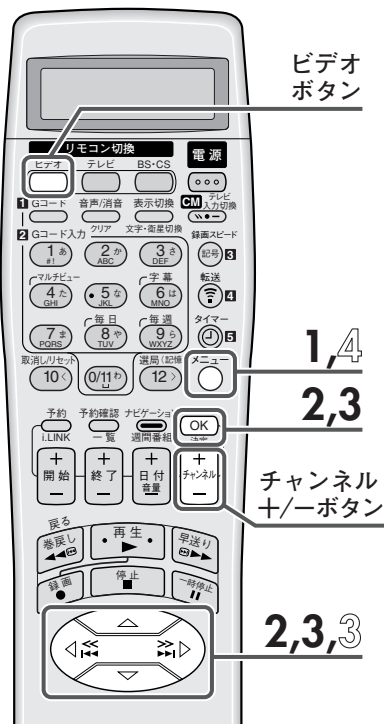
4 録画を始める

- ダビングが終わったときは、本機と他機の両方を停止させてください。
- 接続するi.LINK端子付き機器によっては、データ処理方式などの違いにより、本機と接続機器のノイズの出かたが異なる場合があります。
- 本機はDTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)のコピー・プロテクション技術に対応しています。したがって、コピーを1回しか許可されていない番組はダビングすることができません。(BS／CSデジタル放送からの録画が1回目のコピーにあたります)DTLAについて詳しくは、BS／CSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

- DV端子付きデジタルビデオカメラと接続した場合、HS モードは選択できません。

接続しているi.LINK機器の番号を変更する

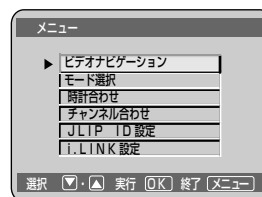
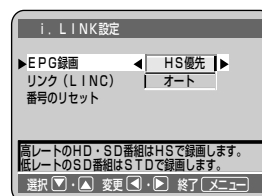
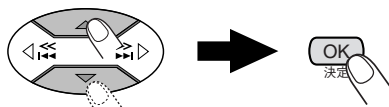
i.LINK機器番号を変更する

本機のi.LINK端子には、BSデジタルチューナーやD-VHSビデオデッキなどを接続できます。
i.LINK端子に接続した機器には、接続順にi.LINK機器番号が割り付けられます。i.LINK機器番号を変更したいときは、下の操作をしてください。

- リンク(LINC)設定について
  - **オート**：本機から他のi.LINK機器を選択できます。i.LINK機器の番号を確認するときは、チャンネル＋／－ボタンを押して、テレビ画面に出る表示で確認してください。(☞77ページ)
    通常は「オート」にします。
  - **切**：本機から他のi.LINK機器を選択できません。
    ただし、他のi.LINK機器またはデジタルビデオカメラなどから本機が選択された場合は通信できます。通信しているときは、「I-1」などを表示します。

準備

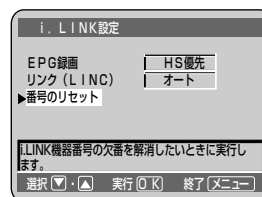
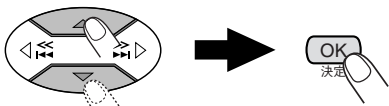
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

メニュー
▶ ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

2 [△／▽]を押して、「i.LINK設定」を選び[OK]を押す

▶を「i.LINK設定」に合わせてから、

3 [△／▽]を押して、「番号のリセット」を選び[OK]を押す

▶を「番号のリセット」に合わせてから、

i.LINK設定
EPG録画 HS優先
リンク（LINC） オート
▶番号のリセット
i.LINK機器番号の欠番を解消したいときに実行します。
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

- OKボタンを押すと、「i.LINK番号のリセットを完了しました」を表示し、元のテレビ画面に戻ります。

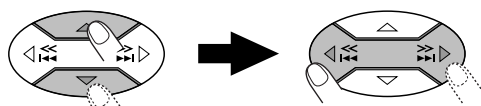
4 i.LINK機器番号を付け直す

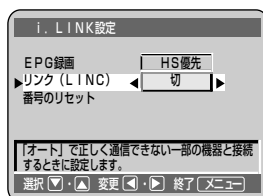
- 本機のi.LINK端子に、1台ずつ接続してください。接続した順に、i.LINK機器番号が自動的に割り付けられます。
- 接続機器の認識をするため、接続するときは、D-VHSビデオデッキの電源プラグは、コンセントに接続しておいてください。また、デジタルビデオカメラの場合は、電源を入れた状態で接続してください。

便利な機能

i.LINK接続機器との通信をやめる

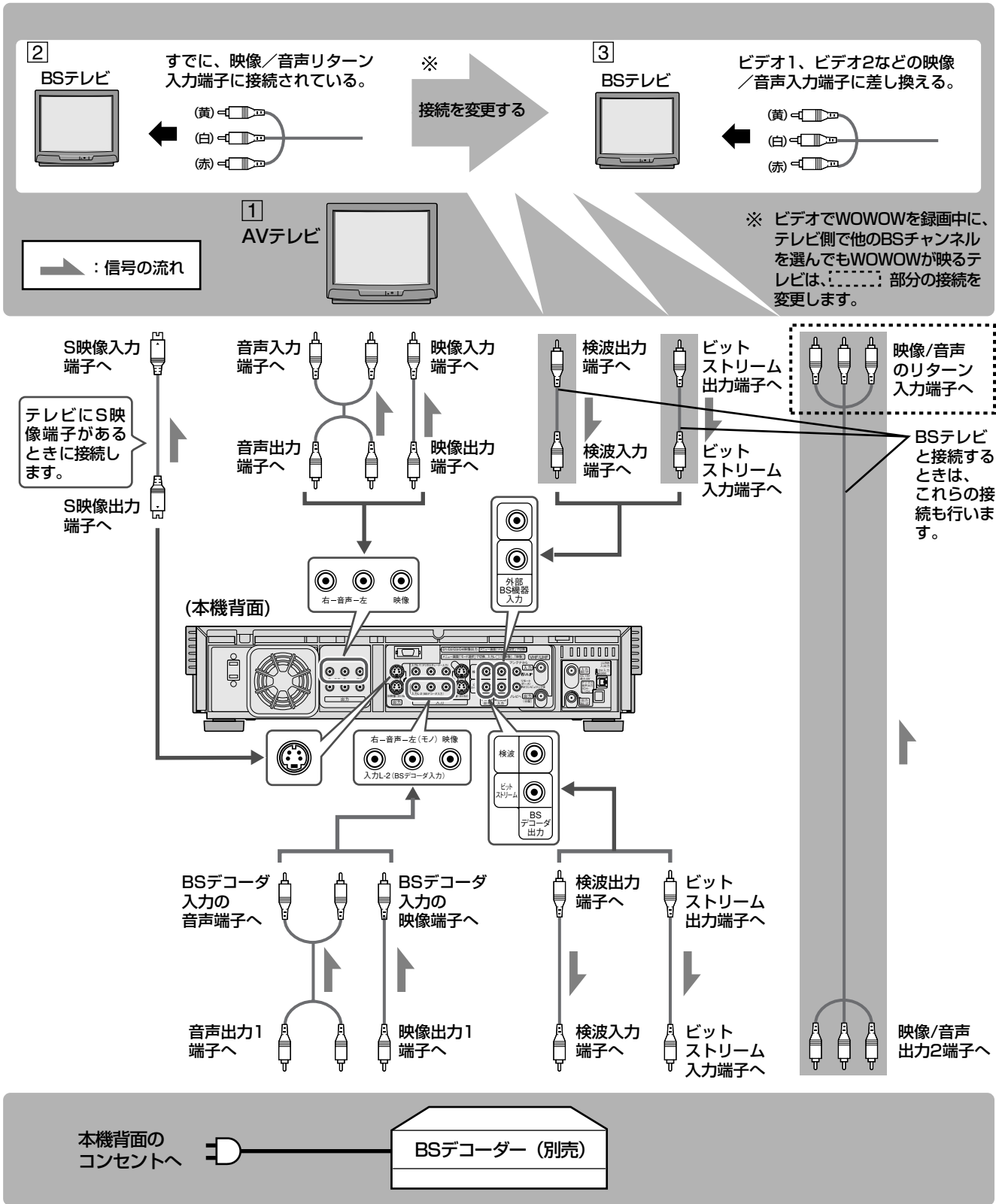
上の手順1、2の操作をしてください。

3 [△／▽]を押して「リンク(LINC)」を選び、[◁／▷]を押して「切」にする

▶を「リンク（LINC）」に合わせてから、

「切」を選ぶ

4 [メニュー]を押して、メニュー操作を終了する

メニュー画面が消えます。

BSデコーダーを接続する

図のように、BS デコーダーを接続してください。

AVテレビの場合：(左図の 1 の場合)

WOWOWの番組を見るときは

1 BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 テレビで「外部入力」を選ぶ

St.GIGAを聞くときは

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS音声」で「独立音声」を選ぶ（☞125ページ参照）
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 テレビで「外部入力」を選ぶ
テレビ画面にはWOWOWの映像が映りますが、音声はSt.GIGAの音声になります。

WOWOWの番組を録画するときは

1 BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録画中のWOWOWの番組を見ることができます。

St.GIGAを録音するときは

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS音声」で「独立音声」を選ぶ（☞125ページ参照）
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録音中のSt.GIGAの音声を聞くことができます。
● テレビ画面にはWOWOWの映像が映ります。

BSテレビの場合：(左図の 2 の場合)

WOWOWの番組を見るときは

1 テレビとBSデコーダーの電源を入れる
2 テレビでBS5チャンネルを選ぶ

St.GIGAを聞くときは

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS音声」で「独立音声」を選ぶ（☞125ページ参照）
4 テレビでBS5チャンネルを選ぶ

WOWOWの番組を録画するときは

1 BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、BS5チャンネルを選ぶと、録画中のWOWOWの番組を見ることができます。

St.GIGAを録音するときは

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS音声」で「独立音声」を選ぶ（☞125ページ参照）
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める

WOWOWやSt.GIGAを録画・録音中に、別のBS放送の番組を見るときは

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
● St.GIGAを録音するときは、BSデコーダーと本機の両方で、独立音声を選びます。
3 本機で録画を始める
4 テレビで他のBSチャンネルを選ぶ

BSテレビの場合：(左図の 3 の場合)

WOWOWの番組を見るときは

1 テレビとBSデコーダーの電源を入れる
2 テレビでBS5チャンネルを選ぶ
3 テレビで左図の3で接続した「外部入力」を選ぶ

St.GIGAを聞くときは

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS音声」で「独立音声」を選ぶ（☞125ページ参照）
4 テレビでBS5チャンネルを選ぶ
5 テレビで左図の3で接続した「外部入力」を選ぶ

WOWOWの番組を録画するときは

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、左図の3で接続した「外部入力」を選ぶと、録画中のWOWOWの番組を見ることができます。

St.GIGAを録音するときは

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS音声」で「独立音声」を選ぶ（☞125ページ参照）
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、左図の3で接続した「外部入力」を選ぶと、録音中のSt.GIGAの放送を聞くことができます。

WOWOWやSt.GIGAを録画・録音中に、別のBS放送の番組を見るときは

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
● St.GIGAを録音するときは、BSデコーダーと本機の両方で、独立音声を選びます。
3 本機で録画を始める
4 テレビで他のBSチャンネルを選ぶ

BSデコーダーを接続する(つづき)

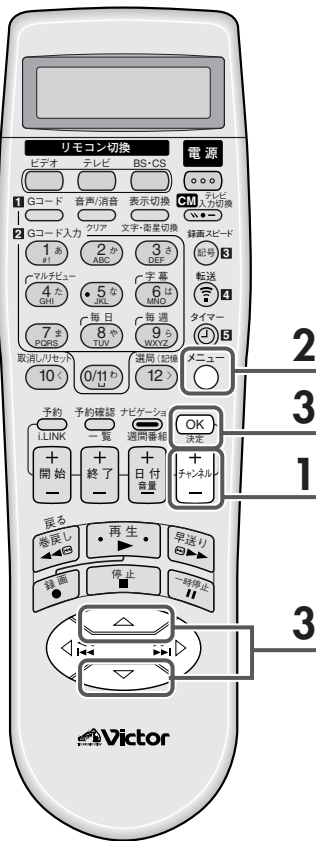
BSデコーダーの設定をする

BSデコーダーに関する本機の設定はお買い上げ時には次のようになっています。

- スクランブルのかかった有料のBS放送（WOWOW、St.GIGA）を見るときには、BSデコーダーの電源を入れてください。スクランブルのかかっていない放送はBSデコーダーを通さずに見ることができるので、有料放送でない番組を見るときは、BSデコーダーの電源は入れる必要はありません。

WOWOWやSt.GIGAは、スクランブルをかけていない無料の番組も放送しています。BS5チャンネルの「デコーダ入力」の設定を「オート」（お買い上げ時の設定）にしておくと、このような無料放送の番組と有料放送の番組の変わり目で、音や映像が途切れることがあります。
そのときは、「デコーダ入力」の設定を「入」にしてください。
WOWOWやSt.GIGAの放送を見たり、聞いたりするときは、必ずBSデコーダーの電源を入れてください。

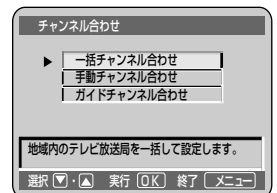
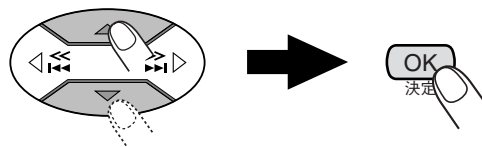
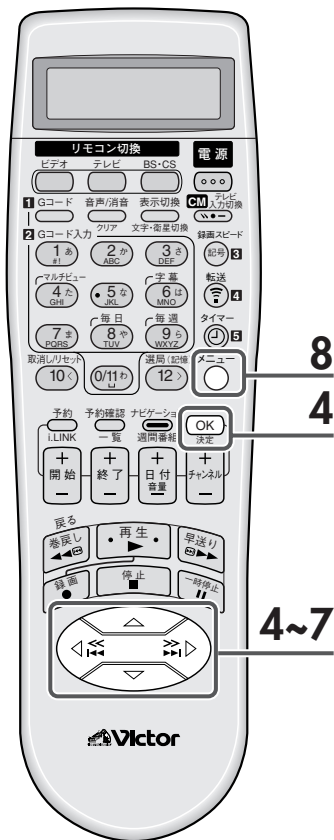
準備

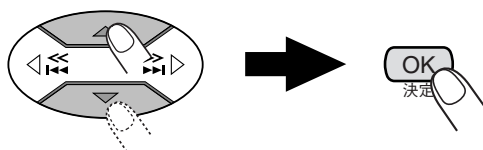
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [チャンネル＋／－]を押して、放送のあるBSチャンネルを選ぶ

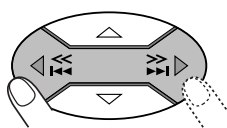
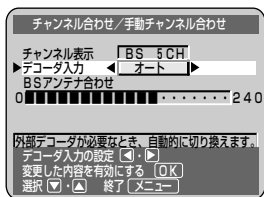
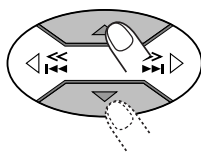
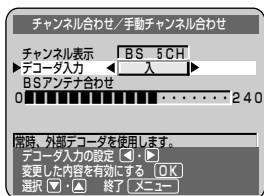
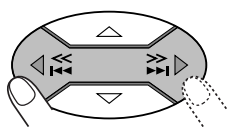
- 本体のチャンネル＋/－ボタンでも操作できます。

2 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

メニュー
▶ ビデオナビゲーション
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
JLIP ID設定
i.LINK設定
選択 ▼・▲ 実行 OK 終了 メニュー

3 [△／▽]を押して、「チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

▶を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

4 [△／▽]を押して、「手動チャンネル合わせ」を選び[OK]を押す

▶を「手動チャンネル合わせ」に合わせてから、

5 [◁／▷]を押してチャンネル表示部分にBSチャンネルを表示させる

6 [△／▽]を押して、「デコーダ入力」を選ぶ

7 [◁／▷]を押して、デコーダ入力を「入」にする

8 [メニュー]を押して、終了する

メニュー画面が消えます。

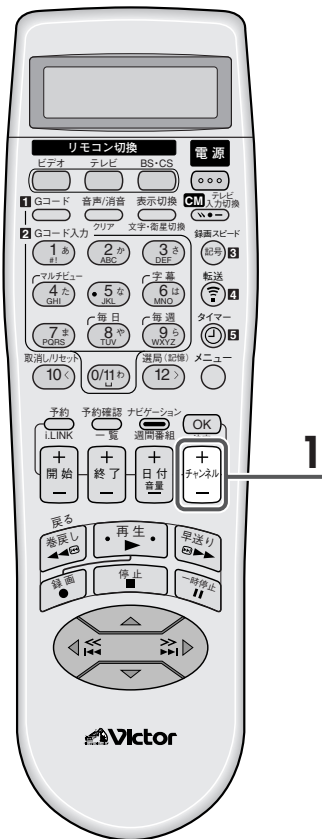
BS放送の番組を見る

お買い上げ時には、BS放送のチャンネルはBS5、7、11が映るようになっています。

- BS5 チャンネルは WOWOW と St.GIGA を有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また、専用の BS デコーダーが必要になります。(☞120 ページ参照)

BS放送の番組を見る

準備

- BSアンテナと本機の接続が終わっていないときは、「設置と準備」編 (☞36〜39ページ) をご覧ください。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 [チャンネル+/ー]を押して、BS放送のチャンネルを選ぶ

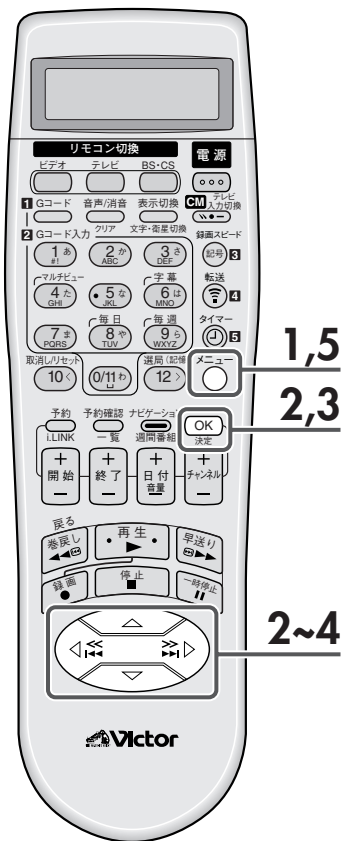
- 本体のチャンネル+/ーボタンでも操作できます。
- BSチャンネルは、数字ボタンでは選べません。

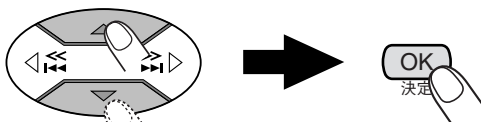
- BS デコーダーを接続してお使いのときは、☞121ページの操作方法も合わせてご覧ください。

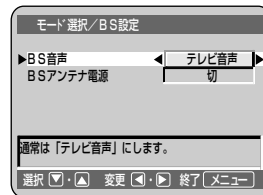
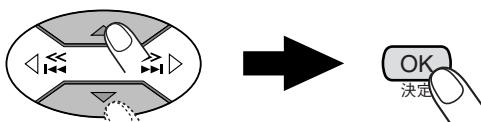
BS放送の独立音声を聞く

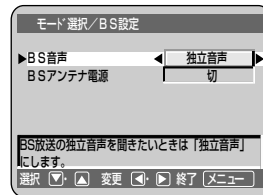
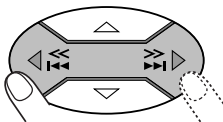
Aモード音声で放送されているBS番組のテレビ音声と独立音声を切り換えます。

BS 放送の音声について

BS 放送の音声には、A モード(FM 放送以上の音質)とBモード(CDと同等の音質)があり、番組ごとに適した音声で放送されています。
A モード放送のときは、番組(映像)の内容に合った音声以外に、番組と全く関係のない独立音声を放送することができます。
BS5チャンネルは主にAモードで放送されており、WOWOW の音声はテレビ音声、St.GIGA は独立音声で放送されています。

1 [メニュー]を押して、「メニュー」画面を表示させる

2 [△ /▽]を押して、「モード選択」を選び[OK]を押す

▶を「モード選択」に合わせてから、

3 [△ /▽]を押して、「B S 設定」を選び[OK]を押す

▶を「BS設定」に合わせてから、

4 [◁ /▷]を押して、「独立音声」に合わせる

- 押すたびに「テレビ音声」と「独立音声」が切り換わります。

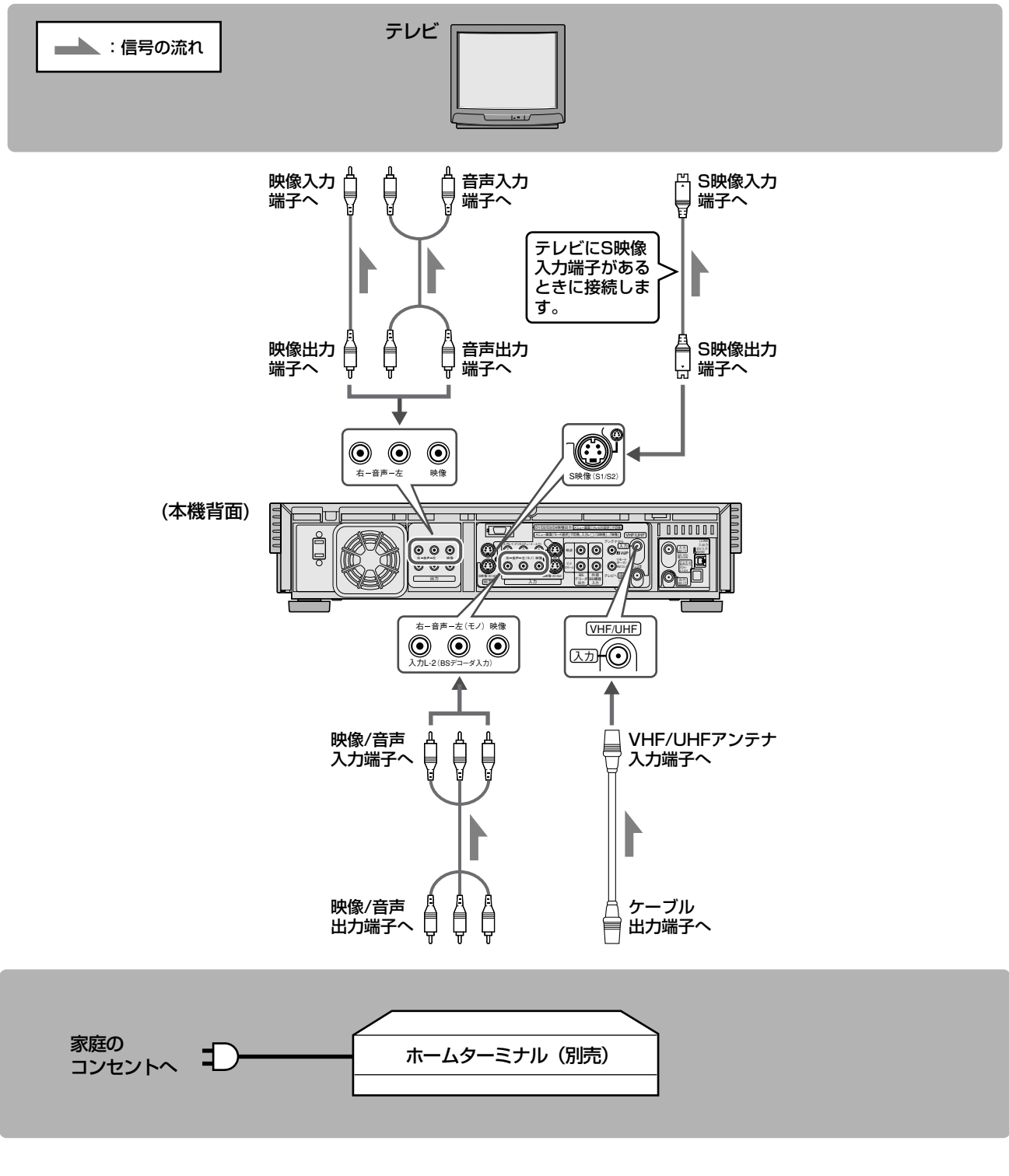
5 メニュー操作を終了する

- メニュー画面が消えます。

お願い

- 独立音声を聞き終わったあとは、「BS 音声」を「テレビ音声」に戻しておいてください。
- St.GIGA などのBS 有料放送の独立音声を聞くときは、BS デコーダーでも音声を切り換えてください。(☞121 ページ参照)

CATVを接続する

図のように、ホームターミナル（アダプター）を接続してください。
お使いのホームターミナルの取扱説明書もご覧ください。

CATV 放送を受信するには

1. アンテナコード（付属）で本機のVHF/UHF アンテナ入力端子とホームターミナルまたは CATV チューナーのケーブル出力端子を接続します。
2. 受信できるCATV放送を空いているチャンネルに割り当てます。（☞50 ページ）

CATV 放送を見るときは

1. ホームターミナルで受信したいチャンネルを選びます。
2. 本機のチャンネルボタンで接続した入力を選びます。
   前面外部入力は「F-1」、背面外部入力は「L-1」または「L-2」を選びます。
   ホームターミナルに映像／音声出力端子がない場合は、CATV 放送が受信できるビデオチャンネルを選びます。

i.LINK対応デジタルCSチューナーとの接続

本機とi.LINK対応デジタルCSチューナーを接続する

（赤）
（白）
（黄）
：信号の流れ
右ー音声ー左　映像
出力
S映像（S1/S2）
出力
LP30811-001
S映像コード（別売）
（S映像端子付きのテレビをつなぐとき）
映像・音声コード（別売）
本機背面
D1/D2/D3/D4映像
メニュー画面「モード選
入力L-1（デジタルチューナー入力）
右ー音声ー左（モノ）映像
i.LINK入出力
DV入力
S200
S映像(S1/S2)　映像　音声(左)　音声(右)
ビデオ入力
（黄）　（白）　（赤）
ビデオデッキのリモコン受光部の近くへ
ビデオリモートコントローラー
（デジタルCSチューナーTU-VCS1に付属）
S映像コード（付属）
デジタルCSチューナーにS映像出力端子がない場合は、本機とデジタルCSチューナーの映像端子どうしをつながないでください。
音声コード（付属）
i.LINKコード（別売）
テレビ
ビデオ
ビデオリモートコントローラー
i.LINK対応デジタルCSチューナー
映像／音声入力端子へ
右（副）　左（主）
D-VHS/MD
（DV端子とは接続不可）
S200　S200
音声出力　映像出力　S1映像出力　i. LINK
映像／音声出力端子へ

i.LINKコード（IEEE1394ケーブル）は、
下記の当社製品をご使用ください。

VX-DV110E（1m）
VX-DV120E（2m）

- 画像の乱れが出たときは、本機とデジタルCSチューナーをなるべく離して設置してください。

- 本機で地上波番組を録画しながら、テレビでデジタルCS放送を見たいときは、デジタルCSチューナーの映像／音声出力端子と、テレビの映像／音声入力端子を接続してください。
- デジタルCS放送をS-VHS/VHS記録で録画予約したいときは、ビデオリモートコントローラーを使った録画予約をしてください。操作については、デジタルCSチューナーTU-VCS1の取扱説明書28ページ「ビデオリモートコントローラーを使って録画予約する」をご覧ください。

デジタルCS番組を録画する

デジタル CS チューナーと接続して録画する

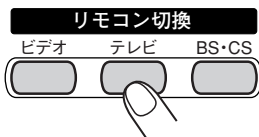
準備

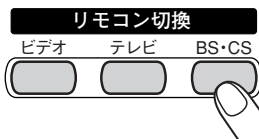
- ☞127 ページの接続方法をご覧になり、本機とデジタル CS チューナー、テレビを接続してください。
- ☞66 ページの「準備」の操作をしてください。

1 つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。
- 表示窓の「－－－－」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をします。
  ビデオナビゲーションについては、☞86 ページをご覧ください。
- 使用するテープと記録方式については、☞62 ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

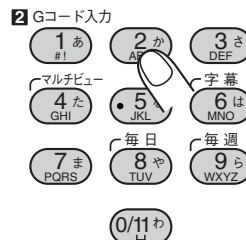
2 [テレビ]を押して、リモコン表示窓に「TV」を表示させる

3 [電源]を押して、テレビの入力を本機をつないだ入力にする

4 「BS･CS」を押して、リモコン表示窓に「CS」を表示させる

5 [電源]を押して、デジタルCSチューナーの電源を入れる

6 数字ボタンを押してデジタルCS放送のチャンネルを選ぶ

- 例：210チャンネルを選ぶときは2、1、0/11と続けて押す。

i.LINK対応デジタルCSチューナーで受信した番組を予約するときは、デジタルCSチューナー側で予約します。くわしくは、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。本機側で予約の設定は必要ありません。ただし、録画スピードのみ、メニューの「i.LINK設定－EPG録画」で「HS優先、LS3優先、強制STD、強制LS3」を設定してください。（☞26、29ページ）

- デジタル CS チューナーの詳しい操作方法については、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 一時停止が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。

- 下のようなときは手順**7**の操作をしてください。
  ❶ i.LINKコードを抜き差ししたとき
  ❷ 停電があったとき
  ❸ 他のi.LINK端子付き機器でLINCしたとき
- コントロールパネルを消したいときは、本機のリモコンのi.LINKボタンを押します。
- 本機はDTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)のコピー・プロテクション技術に対応しています。したがって、コピーを許可されていない番組は録画することができません。DTLAについて詳しくは、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- デジタルCS放送には、著作権の保護上、録画制限のかかった番組があります。録画制限には、録画フリー・1回のみ録画可能・録画不可の3種類があります。1回のみ録画可能な番組をi.LINK接続で録画／再生する場合、「D1/D2/D3/D4映像出力端子」から出力される映像は、すべて525i(D1)信号となります。

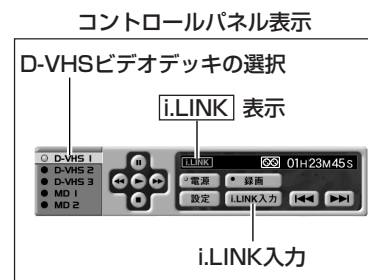
ご注意

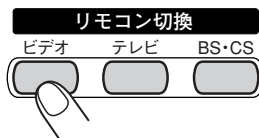
- 手順**9**で、「I-1など」のチャンネルを選んだとき、デジタルCSチューナー側の画面表示（チャンネル、メニュー画面など）を見ることはできません。
  画面表示を見たいときは、録画する前に、本機のチャンネル+/−ボタンで「L-1」にしてください。画面表示確認後は、録画したいチャンネル（I-1など）に切り換えてから録画してください。
  また、出画するまでに多少時間がかかったり、画像が乱れることがあります。
- 「L-1」チャンネルでは、デジタルCSチューナー側の画面表示がそのまま記録されますので、録画中は、デジタルCSチューナー側の操作はしないでください。
- D-VHSテープにi.LINK端子からの信号をデジタル録画するときは、ビクター製デジタルCSチューナー（TU-VCS1）のコントロールパネルを表示したままにしていても、コントロールパネルは録画されません。ただし、アナログ録画するときは、コントロールパネルを表示したままにしておくと、コントロールパネルも一緒に録画されます。

7 [i.LINK]を押して、本機をLINC（リンク）する

- 本機とi.LINK対応デジタルCSチューナーは、接続しただけでは操作できません。必ずデジタルCSチューナーで本機をLINC(☞77ページ)してください。

本機のリモコンを使う場合は、
① ［i.LINK］を押すと、コントロールパネルを表示します。
② ［∇／∆／⊲／⊳］を押して、操作したいD-VHSビデオデッキ（本機）を選び、［決定］を押します。
i.LINK 表示が点灯し、LINCされます。

コントロールパネル表示

- i.LINK 表示が点灯しないときは、
  ① ［∇／∆／⊲／⊳］を押して、「i.LINK入力」を選びます。
  ② ［決定］を押します。
- デジタルＣＳチューナーに付属のリモコンを使って操作する場合は、デジタルＣＳチューナーの取扱説明書をご覧ください。

8 [ビデオ]を押して、リモコン表示窓に「VTR A（またはB、C、D）」を表示させる

9 [チャンネル＋／－]を押して、チャンネルを選ぶ

- HS,STDまたはLS3モードで録画する場合は、デジタルCSチューナーのi.LINK機器番号(I-1など)を選びます。
- 背面の入力L-1端子に接続して録画する場合は、「L-1」を選びます。

10 [録画スピード]を押して、録画スピードを選ぶ

録画スピード
記号

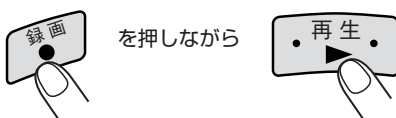
- 押すたびに、録画スピードが切り換わります。

HS	：画質と音質を最も重視するとき デジタルハイビジョンをそのまま録画するとき
STD	：画質と時間を重視するとき デジタルSD放送を録画するとき
LS3	：S-VHS以上の画質でSTDの3倍長く録画するとき
SP（標準）	：S-VHS／S-VHS ET／VHSモードで画質を重視するとき
EP（3倍）	：S-VHS／S-VHS ET／VHSモードで3倍長く録画するとき

11 [録画]を押しながら[再生]を押す

を押しながら

- 本体の録画(●)ボタンでも操作できます。このときは、再生(▶)ボタンを押す必要はありません。

便利な機能

関連システムとの接続

当社のAVコンピュリンク機能付きのテレビ・AVアンプをお持ちのかたは、▭部の接続も行ってください。
各機器の電源を切ってから接続してください。テレビ、AVアンプの取扱説明書も合わせてお読みください。

：信号の流れ

テレビ

映像入力端子へ
モニター出力端子へ
音声出力端子へ
音声入力端子へ
映像/音声出力端子へ
映像/音声入力端子へ

AVコンピュリンク端子へ
ミニプラグコード（別売）
AVコンピュリンク端子（TV側）へ

AVアンプ

ミニプラグコードは下記の当社製品をご使用ください。
CN-120A（1.5m）
CN-125A（3.0m）

VTR再生端子（音声［左/右］）へ
音声出力端子へ
VTR再生端子（映像）へ
映像出力端子へ
VTR録音端子（音声［左/右］）へ
音声入力端子へ
VTR録画端子（映像）へ
映像入力端子へ

AVコンピュリンク端子（VTR側）へ
ミニプラグコード（別売）
AVコンピュリンクⅡ端子へ

右－音声－左　映像
入力L-1（デジタルチューナー入力）
右－音声－左（モノ）映像
リモート ポーズ/AVコンピュリンクⅡ

（本機背面）

テレビ・AVアンプとの連携プレー ―――― AVコンピュリンク

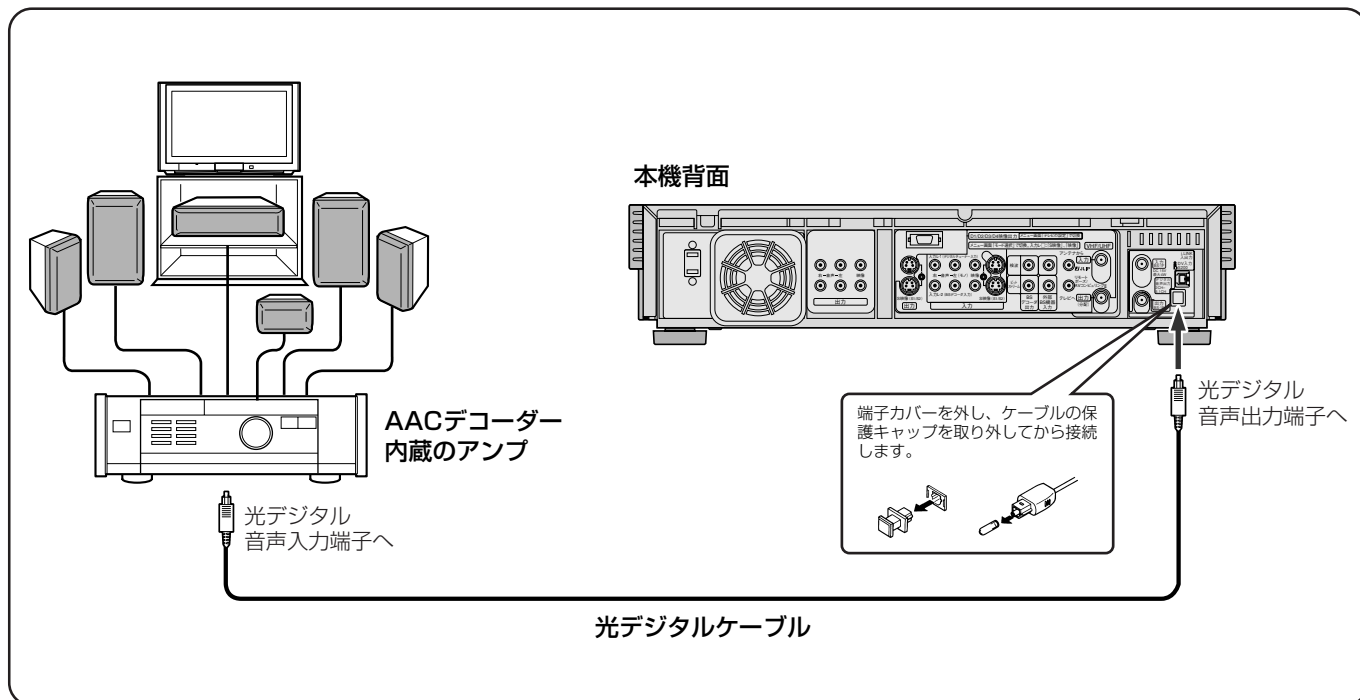
当社のAVコンピュリンクシステムで、複雑な各機器間の操作が簡略化され、本格的なAVシステムを手軽に楽しめます。
モード選択画面のコントロール切換を「AVコンピュリンクⅡ」に設定します。操作方法は ☞26、28ページをご覧ください。

（例）ワンタッチ再生
録画済テープをビデオに入れ、再生ボタンを押すと
オーディオシステム　：電源が入り、ビデオの音声を出力します。
テレビ　：電源が入り、ビデオの映像を出力します。

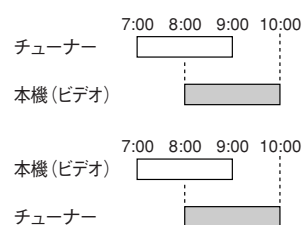
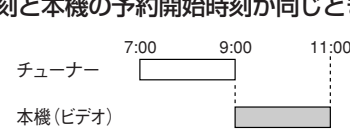
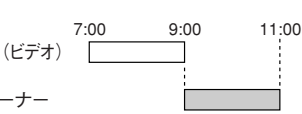
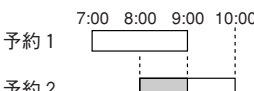
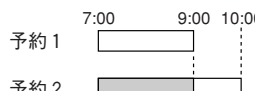
MEMO

- テレビの映像/音声入力端子に接続する場合、本機のリモコンコードが「Aコード」のときは、テレビの「ビデオ1」入力端子へ接続してください。「Bコード」のときは、テレビの「ビデオ2」入力端子へ接続してください。

オーディオ機器との接続

本機とAACデコーダー内蔵アンプを接続する

- メニューの「モード選択ー音声設定ー光デジタル音声出力」を「ダイレクト」にしてください。（☞26、27 ページ）

- ドルビーデジタルで記録されたテープの音声を聞くときは、ドルビーデジタル対応のアンプをご使用になると、さらに臨場感あふれるサウンドをお楽しみいただけます。

便利な機能

故障かな？と思ったら

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても直らないときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

	症　状	処　置	参照ページ
電源	電源が入らない	• 電源コードがコンセントからはずれていませんか? • 本体の表示窓に「◷」が点灯していませんか? • チャイルドロック機能が働いていませんか？	34 69 21
	カウンター表示が 0:00:00 になっている	• 電源プラグを抜き差ししたり、停電があると、カウンター表示は 0:00:00 になります。	—
カセット	カセットが入らない	• 正しい向きで入れてください。	63
	カセットが出ない	• 録画中または本体の表示窓に「◷」が点灯していませんか？ 「◷」を消してから、カセットを取り出してください。	75
再生	テレビに映像が出ない	• テレビで本機をつないだ外部入力を選んでいますか？	40
	映像が乱れる、ちらつく	• 本機とテレビをD端子接続でご覧になっている場合、次のようなときに、映像が乱れることがあります。 ・電波の弱いチャンネルを選んだとき ・S-VHS ／ VHS モードで再生したとき このようなときは、本機とテレビの S 映像または映像端子を接続してご覧ください。 • オートトラッキング中に映像が乱れたり、ちらつきが出るときは、トラッキング調節をします。 • 再生中は、トラッキングを手動で調節してください。 • ビデオヘッドが汚れて再生画が汚くなることがあります。 別売の D-VHS ヘッドクリーナー TCL-DVS で掃除してください。	40 111 8
	メニュー画面の文字がちらちらする	• 本機とBS／CSデジタルチューナー、本機とテレビの接続に映像コード（黄）を使っていませんか？ よりよい映像をお楽しみいただくために、本機と BS ／ CS デジタルチューナー、本機とテレビの接続にはコンポーネントビデオコードまたはS映像コードをお使いください。テレビによっては、文字のちらちらが直らないことがありますが故障ではありません。	40 76 127
	ハイファイステレオ音声が出ない	• モノラルのビデオデッキやビデオムービーで録画したテープを再生してもハイファイステレオ音声は出ません。	107
	音声が出ない	• アナログ入力の音声のみ記録しませんでしたか？ アナログ入力の音声のみの記録はできません。	—
	日本語と外国語が同時に聞こえる	• **音声**ボタンで聞きたい音声を選んでください。	107
	早送り / 巻戻し再生中、静止画再生中に映像が乱れる	• 再生の速さを変えると、映像が乱れるときがあります。故障ではありません。	—
	3倍モードで画面が上下に揺れる	• メニューの「モード選択ー映像設定ー V スタビライズ」を「入」にしてください。	26 65
	再生をやめても、ビデオ内部から動作音が聞こえる	• 再び再生したいときに出画時間を早くするため、ビデオ内部のドラムが約 5 分間は回転しています。故障ではありません。	—
	カウンター表示が点滅する	• 早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になると、カウンター表示が点滅します。	—
リモコン	リモコンが働かない	• リモコンコード(A ／ B ／ C ／ D)が合っていますか? • 電池が消耗していませんか?	30
	テレビが操作できない	• 電池交換をしたら、リモコンのテレビコードをお手持ちのテレビメーカーに合わせてください。	31

	症　状	処　置	参照ページ
録画	日本語だけ録音したい	• メニューの「モード選択ー音声設定ー二カ国語音声録音」を「主」にしてください。	26 27
	録画できない	• カセットのつめが付いていますか？ ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。	67
	希望の番組が録画できない	• チャンネルが合っていますか？ • 本機で希望のチャンネルが選べないときは、そのチャンネルを受信できるようにしてください。	44 50
録画予約	G コード録画予約ができない	• 日付と時刻を設定してありますか? • チャンネル表示を変更したときは、ガイドチャンネルも設定し直してください。 • 新・快速録画予約を行ってください。CATV 放送は G コードで予約できないことがあります。	61 58 70
	録画予約ができない	• 日付と時刻を設定してありますか? • カセットのつめがついていますか? • 本体の表示窓の「⊙」は点灯していますか? • 予約内容を確認してください。 • 停電があったときは正しく動作しません。	61 69 71 72
	本体の表示窓の「⊙」が点滅する	• 設定にまちがいがあるので、予約内容を確認して、正しく設定し直してください。	68 ～ 72
	本体の表示窓の「⊙」と「OO」が点滅する	• カセットが入っていません。つめの付いたカセットを入れてください。	—
	本体の表示窓に「ーー：ーー」を表示している	• 停電がありました。もう 1 度、日付と時刻を設定してください。	61
	予約の録画が始まるまでの間、テープを見たい	• 本体の表示窓の「⊙」を消してから操作します。 操作終了後は、ふたたび、「⊙」を点灯させます。	75
	録画予約終了後、本体の表示窓の「⊙」と「OO」が点滅している	• テープの終わりまで録画すると、自動的にテープが停止し、電源が切れます。 **タイマー**（⊙）ボタンを押すと「⊙」と「OO」は消えます。 タイマー録画するときは、予約する時間よりも余裕のあるカセットを入れてください。	—
	予約の録画中に停止するには	• **タイマー**（⊙）ボタンを押し、本体の表示窓の「⊙」を消してから、**停止**（■）ボタンを押します。	75
	録画予約時、テレビ画面に「予約がいっぱいです」と表示される	• 録画の予約は24番組までしか記憶できません。予約内容を確認し、不要な予約を取り消してから予約してください。	72 74
	録画を予約中に予約中の表示が消えた	• 予約中に約３分間放置すると予約表示は消えます。もう１度やり直してください。	70
	設定した予約内容が消えた	• 予約終了時刻を過ぎても実行しないものは、予約内容が取り消されます。	—
	予約の録画中に、誤って本体の電源ボタンを押してしまったら	• 予約の録画中に本体の**電源**ボタンを押すと、録画を停止し、電源が切れます。 （リモコンの**電源**ボタンを押しても電源は切れません。） 電源が切れた際、他にも予約があるときは、ふたたび録画予約待機中になります。	—
	デジタルCS放送の番組を録画中に停止したいときは	• デジタルCSチューナーの電源ボタンを押してください。デジタルCSチューナーと本機の電源が切れます。	—
	ぴったりクロックが働かない	• 地域番号入力後、NHK教育テレビのチャンネル表示を変更したときは、「時計合わせ」画面のぴったりクロックのチャンネルも変更してください。	61

	症　状	処　置	参照ページ
録画予約	予約したBS／CSデジタル放送の番組が録画されない	• メニューの「モード選択ー機能設定ーディスプレイオフ」を「表示しない」にして、本機の電源を切ると、i.LINK機器の認識ができません。そのため、BS／CSデジタルチューナー側で予約した番組の録画ができません。 「ディスプレイオフ」を「表示する」にしてください。	115
	BS／CSデジタルチューナーと本機の予約が重なったときは	後に予約した番組は録画されません。また、先に始まるBS／CSデジタルチューナーの予約が、放送開始時刻に合わせて変更され、本機の予約と重なった場合も、本機の予約は録画されません。 ■部分：録画しません ●予約が重なったとき 7:00 8:00 9:00 10:00 チューナー／本機（ビデオ） 7:00 8:00 9:00 10:00 本機（ビデオ）／チューナー ●本機の予約終了時刻とBS／CSチューナーの予約開始時刻が同じとき 7:00 9:00 11:00 本機（ビデオ）／チューナー BS／CSチューナーの録画予約を実行するためには、本機の予約終了時刻を1分早めてください。（☞74ページ）ただし、番組の終わりは1分欠けます。 ●BS／CSチューナーの予約終了時刻と本機の予約開始時刻が同じとき 7:00 9:00 11:00 チューナー／本機（ビデオ） 本機の録画予約を実行するためには、本機の予約開始時刻を1分遅らせてください。（☞74ページ）ただし、番組の頭は1分欠けます。	—
	本機の予約が重なったときは	●予約が重なったとき 先に始まる予約が優先され、録画終了後、次の予約を録画します。 7:00 8:00 9:00 10:00 予約1／予約2 ●予約の開始時刻が同じとき 先に予約した番組が優先されます。 7:00 9:00 10:00 予約1／予約2	—
	BSデジタル放送の録画予約ができない	• BSデジタルチューナー側からのi.LINK機器の認識ができていますか？BSデジタルチューナーのi.LINK設定を行ってください。くわしくは、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。 • ビデオリモートコントローラーの接続、設置が正しく行われていますか？BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧になり、正しく接続、設置をしてください。	—
デジタル再生	再生画像が静止画および黒い画面になったり、ブロックノイズが出る	• D-VHSテープを使用しているか確認してください。 • ヘッドの清掃が必要です。別売のヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときには、お買い上げの販売店またはお近くのビクターサービスにご相談ください。 • 再生中につなぎ撮り部分（録画を停止（一時停止）し、再び録画を始めた部分）および、VHS再生（標準/3倍）からD-VHS再生に切り換わる部分を再生すると、画面が出るまで少し時間がかかります。	8
	D-VHSテープを入れて再生しても、本体の表示窓にD VHS表示が点灯しない	• D-VHSモードで録画されていません。録画するときは、本体のD-VHSボタンを押して、本体の表示窓にD VHS表示が点灯していることを確認して録画してください。	62 66

症　状		処　置	参照ページ
衛星放送	BS番組が映らない	• メニューの「モード選択ーBS設定ーBSアンテナ電源」を正しく設定してください。 • WOWOWをご覧になるには、BSデコーダーが必要です。 • BSデコーダーの電源を入れていますか？	37 120
	WOWOWの音声が聞こえない	• BSデコーダーの音声切換は正しいですか？ • メニューの「モード選択ーBS設定ーBS音声」を「テレビ音声」にしてください。	125
BSデジタル放送	i.LINK接続でデジタルチューナーを通して、D-VHS記録したテープを再生できない	次の入力源から録画したテープを再生し、出力されるデジタル信号をデコードできないデジタルチューナーが一部あります。 • アナログ放送またはアナログ信号を外部入力で録画したテープ • DV入力をMPEG変換して録画したテープ • 本機で525iに変換（ダウンコンバート）して録画したテープ • 本機でビットレート変換してSTD、LS3モードで録画したテープ このようなときは、本機のD1/D2/D3/D4映像出力端子からテレビのD端子入力へ接続してご覧ください。	—
	BSデジタル番組が録画できない（黒い画面が録画される）	• BSアンテナを正しく接続しているか確認してください。 • BSデジタル番組の以下の放送は録画できません。録画した番組が該当していないか確認してください。 1）受信契約をしていないチャンネル 2）視聴年齢制限の暗証番号が一致していない番組 3）購入していないペイ・パー・ビュー番組 4）著作者が録画を禁止している番組	—
	動きの激しい画像や画面の切り換え時にモザイク状の歪みが出る	• 映像ビットレートの低い番組の時に発生します。これは放送局側で、すでにモザイク状のノイズが発生していますので、本機の故障ではありません。	—
ビデオナビゲーション	番組情報のデータが登録されない	• 番組情報データの登録数がいっぱいになっています。いらないテープの登録内容を消してください。 • メニューの「ナビゲーション」を「入」にしてください。 • 録画時間が短いときは、登録されません。	100、102 105 86
	見たい番組が探せない	• 本機以外のビデオで録画したテープを使用しているときは、見たい番組を探すことはできません。 • 本機で録画したところまでテープを巻戻しまたは早送りしてから、ナビゲーションボタンを押してください。	86 87
編集	ダビングできない	• 正しい外部入力を選んでいますか？ • デジタルビデオカメラとダビングするときは、本機を再生側にすることはできません。	116 118
	ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	• メニューの「モード選択ー機能設定ーオンスクリーン」を「切」にしてください。	23

エラーメッセージ

区分	エラーコード	メッセージ表示	内　容
録画	102	この番組は録画が禁止されています。	•アナログ信号のみコピー禁止の番組をD-VHS記録したとき •番組をD-VHS記録中に、アナログ信号のみコピー禁止の信号が本機に入力されたとき
	103	この番組は録画が禁止されています。	•デジタルコピー禁止の番組をD-VHS記録でダビングしたとき •D-VHS記録でダビング時、デジタルコピー禁止の情報が本機に入力されたとき •本機は、DTLA などのコピー・プロテクション技術に対応しており、デジタル録画禁止の番組は録画できません。
	104	映像または音声がデコードできません。デジタルチューナーなどで視聴してください。	•本機で対応できない信号が入力されたとき •「L-1」などのアナログ入力に切り換えて録画してください。(再生時に、デジタルチューナーなどを使用すると、視聴できる場合があります。)
	105	デジタル信号のS-VHS/VHS録画はできません。アナログ入力に切り換えて録画してください。	•BS/CSデジタルチューナー以外のi.LINK機器からの信号をS-VHS/VHS録画したとき •本機のi.LINK端子は、D-VHS記録専用です。デジタル信号をアナログ信号に変換しての記録はしません。「L-1」などのアナログ入力に切り換えて録画してください。
	107	デジタル信号のS-VHS/VHS録画はできません。アナログビデオと同じ方法で予約してください。	•BS/CSデジタルチューナー側で、「i.LINK」を選択して予約した番組をS-VHS/VHS録画したとき •本機のi.LINK端子は、D-VHS記録専用です。デジタル信号をアナログ信号に変換しての記録はしません。また、VHSテープにD-VHS記録はできません。入力切換を「L-1」などに切り換えて録画してください。録画スピードは、メニューの「i.LINK設定」—「EPG録画」で設定してください。(☞26、29ページ)
	110	マルチビュー放送または降雨対応放送です。 全てを同時に録るにはＨＳモードを選んでください。	•マルチビュー放送をSTDまたはLS3モードで録画したとき •全てを同時に録画するには、HSモードを選んでください。
再生	200	映像または音声がデコードできません。デジタルチューナーなどで視聴してください。	•本機で対応できない信号を再生したとき •記録時に使用したデジタルチューナーなどで再生してください。
	201	調整中です。しばらくお待ちください。	•モザイク画(ブロック状のノイズ)など、正常に再生できないとき •正常な映像を出画するために、本機が調整中です。しばらくお待ちください。
	202	コピーの制約がある番組はSD映像(525i)で出力します。	•1125i、750p、525pでコピー禁止の番組を視聴または再生するときは、525iにダウンコンバートして出力します。
	203	コピー禁止の番組でした。再生できません。	•コピー禁止の番組を録画したテープを再生したとき •コピー禁止の番組を録画しても再生できません。
	205	このテープは再生できません。	•不正と判断されるD-VHS記録したテープを再生したとき
入力信号	300	映像または音声がデコードできません。デジタルチューナーなどで視聴してください。	•本機で対応できない信号方式が入力されたとき •デジタルチューナーなどで視聴してください。
	301	i.LINK接続機器が多すぎます。詳しくは取扱説明書をお読みください。	•本機のi.LINK端子に入力された信号のデータ容量が多いとき •本機のi.LINK端子に接続したBS/CSデジタルチューナーやデジタルビデオカメラなどのi.LINK端子付きの機器が多すぎます。使用しない機器の電源は切っておいてください。
	302	コピーの制約がある番組はSD映像(525i)で出力します。	•1125i、750p、525pでコピー禁止の番組を視聴または再生するときは、525iにダウンコンバートして出力します。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体の背面に表示されています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（138 ～ 139 ページ参照）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

132～136ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音ができなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	デジタルハイビジョンビデオ
型　名	HM-DH30000
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お　名　前	
電　話　番　号	（　　）　　－

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　●長年ご使用のビデオカセットレコーダーの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声が出ない。 ●電源プラグ、コードが異常に熱い。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常や故障がある。

ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧いただくために

ビデオカセットレコーダーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、およそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。

サービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		北海道		
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館あおば生命ビル1F
		東北		
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101号
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
		関東・甲信越		
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		千葉		
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
		東京		
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
		埼玉		
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
		神奈川		
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
		静岡		
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
		東海・北陸		
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0101

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		近畿		
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		中国		
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
		四国		
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
		九州・沖縄		
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
		山陰		
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター(松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ　JVC CANADA INC.
・トロント〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ　JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA
・ロサンゼルス〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー〔973-396-1000〕
10 New Maple Avenue, Pine Brook, NJ 07058-9641
・ホノルル〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス　JVC（U.K.）LIMITED
・ロンドン〔0208-450-3282〕
JVC BUSINESS PARK, 14 Priestley Way, London NW2 7BA

フランス　JVC FRANCE S.A.
・パリ〔01-61-04-11-11〕
1, Avenue, Eiffel 78422 Carrieres Sur Seine Cedex

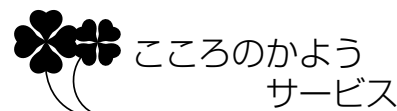
シンガポール　JVC ASIA PTE. LTD.
・シンガポール〔255-8155〕
31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

（注）・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル
	(06)6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル

その他

サービスネットワークＢＳ　9001

用語解説

ガイドチャンネル
Gコード録画予約のために、各放送局に付けられた番号です。この番号が正しく設定されていないと、Gコード予約録画はできません。

デジタルCS（シーエス）放送
通信衛星（Communication Satellite）を利用したテレビ放送です。一般的には単に「CS放送」と呼ばれています。この放送を受信するには、CS放送各社との契約が必要です。加入は有料で、専用のパラボラアンテナと受信機を購入する必要があります。

受信チャンネル
受信できる放送局のチャンネル（周波数帯域）のことです。新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル番号のことをいいます。

チャンネル表示
本機で特定の放送局を選ぶときに、本機の表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネル番号です。
本機でチャンネル表示を変更しているときは、「受信チャンネル」と違った番号になります。
本機で、その受信チャンネルを選びたいときは、チャンネル表示の番号を選びます。
例えば、テレビ神奈川（受信チャンネル：42チャンネル）のチャンネル表示を本機で「9チャンネル」に設定してある場合は、テレビ神奈川の番組を見るときには、本機では「9チャンネル」を選びます。

ハイファイステレオ音声
本機のS-VHS/VHSモードでは、2種類の音声を録音・再生できるようになっています。
そのうちのひとつが「ハイファイステレオ音声」です。この音声はテープの「ハイファイステレオトラック」と呼ばれる部分に録音されています。
ハイファイステレオトラックに録音された音声は、モノラルのビデオデッキなどでは再生することができません。

二重音声放送
ステレオの左チャンネルと右チャンネルに、別々の音声を入れた放送です。映画などの放送でよく使われる二カ国語放送も二重音声放送のひとつです。プロ野球の中継放送などにも使われています。

ノーマル音声
本機のS-VHS/VHSモードでは、2種類の音声を録音・再生できるようになっています。
そのうちのひとつが「ノーマル音声」です。この音声はテープの「ノーマルトラック」と呼ばれる部分に録音されています。
これにより、モノラルのビデオデッキやビデオムービーで録画されたテープの音声を本機でも再生することができます。
また、逆に本機で録画したテープを、モノラルのビデオデッキで再生しても、音声を聞くことができます。

A（エー）モード音声
BSで放送される音声の種類のひとつです。音質はFM放送以上で、テレビ音声と独立音声があります。

B（ビー）モード音声
BSで放送される音声の種類のひとつです。音質はCD（コンパクトディスク）と同等です。

BS（ビーエス）デコーダー
BS有料放送のスクランブルを解除する機器です。
WOWOWやSt.GIGAを受信するときに必要になります。

CATV（シーエーティービー）放送
有線テレビ放送のことです。サービスの行われている地域でのみ受信できます。受信するためには、CATV放送各社との契約が必要です。

Gコード
録画の予約を簡単にするためにジェムスター社が考案したシステムです。すべての番組に付けられる8桁までの番号です。本機ではこの番号を入力することにより簡単に録画予約をすることができます。

NTSC（エヌティーエスシー）方式
現行の日本や米国で使われている映像（カラー）方式です。ヨーロッパや東南アジアの国々では、PAL方式やSECAM方式という違った方式が使われています。
この映像（カラー）方式が違うビデオテープは本機では再生することができません。

技術解説

デジタル放送とD-VHS

いまVHSビデオを取り巻く環境は大きく変わろうとしています。その代表がテレビ放送のデジタル化です。
日本におけるデジタル放送は1996年のCS放送（現スカイパーフェクTV!）から始まり、1997年にはディレクTVが放送を開始し、2000年以降に地上波までデジタル化される予定で進んでいます。
放送のデジタル化は高画質・高音質、多チャンネル化、多機能化だけでなく、資源として有限な電波の効率的な使用という側面も持っています。
放送の変化にあわせて進化・発展を遂げてきたVHSは、その資産を引き継ぎつつ放送のデジタル化への対応が求められています。
また、デジタル放送では映像や音声に限らず様々なデータも送られてきます。このようなデジタル放送情報の全てをデジタル信号のまま記録でき、しかも膨大な数のVHSアナログ記録の映像も再生できるビデオ、それがD-VHSです。
D-VHSはアナログからデジタルへのスムーズな受け渡しを実現し、ホームビデオという20世紀に定着した家庭の映像文化を21世紀へ継続していく 次世代のホームビデオです。

放送方式変換
（フォーマット変換　ダウン／アップコンバート）

HD映像（1125i/750p方式）を、525iに変換したり、750pを1125iに変換したりすることです。
録画するときに必要なテープの量を節約するために、低位の方式にすることがあります。
また、テレビに映せる信号に限りがあるとき、例えば、D1端子付きテレビには、D3の1125iは映せなかったり、525i専用のVHSには、1125iが録画できない・ダビングできないような場合に、本機やBSデジタルチューナー搭載のこの変換機能が役立ちます。

ビットレートコンバーター（レート変換）

デジタル放送は、デジタルハイビジョン(HD)放送のような２０数Mbps (Mega Bit Per Second = 100万ビット／毎秒）で送られるものから、SD放送のように10Mbps～4Mbps程度で送られる物など様々です。
一方、D-VHS側も、DF480テープにHD画質で４時間のHSモード、SD画質で8時間のSTDモード、24時間のLS3モードがあります。
22MbpsのHD放送を８時間録画するときは、まずダウンコンバートで525iに変換してから、11Mbps程度にビットレートコンバートします。
同様に、8Mbps程度のSD放送をLS3モードで24時間録画するときも、ビットレート変換で4Mbps以下程度に変換します。
尚、本機では方式変換時に、音声をMPEG2　AACからMPEG1レイヤー２（2Chのみ）に変換します。

ドルビーデジタル

ドルビーラボラトリーズが開発したデジタル音声の圧縮技術です。5-1チャンネル「フロントL/R、センター、リアーL/R、LFE (Low Frequency Effect)」のサラウンド音声まで対応しています。
ドルビーデジタルで記録されたテープを再生した場合、デジタル音声出力端子からドルビーデジタルのビットストリームが出力されます。（メニューの「モード選択ー音声設定ー光デジタル音声出力」を「ダイレクト」に切り換えてください。）

i.LINK (アイリンク)

i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINKは、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 1394 － 1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。

MPEG2

MPEG2とは、Moving Picture Experts Group（メディア統合系動画像圧縮の国際基準）Phase2の略です。
MPEG2は従来の圧縮方法と違い、高画質を維持したまま高圧縮する技術です。むだなデータを省くために1コマ1コマの画像がそれほど変化しない事を前提に動きの予測をしながら圧縮しています。具体的にはフレーム情報の相関性を利用してフレーム間圧縮と、DCT（離散コサイン変換）によるフレーム内圧縮の組み合わせで効率良く圧縮してゆきます。

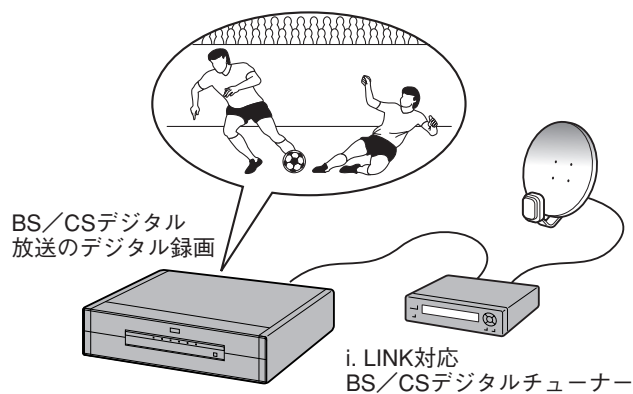
MPEG2 AAC

BSデジタル放送では、MPEG2AACフォーマットの音声方式を採用しています。非常に高い圧縮率で放送衛星から送られてきますが高音質のデジタルサウンドです。一般には「AAC-5-1chサラウンド音声」とも呼ばれています。
MPEG2 AACデコーダを搭載したアンプとスピーカーを6本「フロントL,Rとセンター、リアーL、RとLFE (Low Frequency Enhancement)」を接続することにより、映画館で聞いている様な臨場感あふれるリアルなデジタルサウンドをお楽しみ頂けます。
AACとは、Advanced Audio Codingの略です。

i.LINKとは

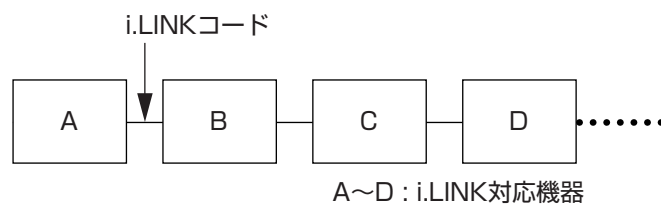
(アイリンク)

i.LINK とは？

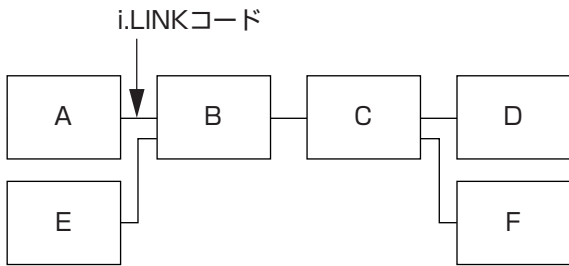
i.LINK は、i.LINK 端子を装備した機器間で、ケーブル 1 本でデジタル映像信号やデジタル音声、他機制御信号を双方向でやりとりできるデジタルシリアルインターフェイスです。

i.LINK は、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 1394 －1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。

本機では、４ピンタイプの i.LINK 端子を使用して MPEG2 圧縮（☞141 ページ）された映像信号とオーディオ、制御信号を入出力します。またデジタルビデオカメラのDV出力からのDV 圧縮信号の入力端子として使用しています。

i.LINK の接続方法について

i.LINK 対応の機器は、デイジー・チェーン（数珠つなぎ）にして i.LINK コードで接続します。

データをやりとりする機器の間に他の機器が接続されていても双方向での通信が可能です。
また、入力された MPEG2 や DV 信号をそのまま次の機器に接続する「リピーター機能」があります。

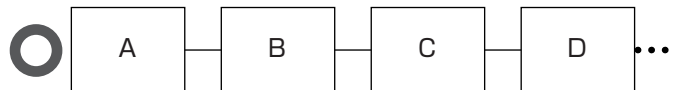
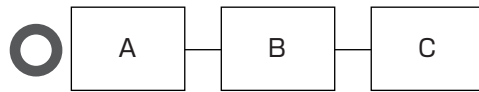
i.LINK の分岐接続について

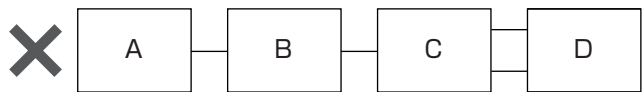
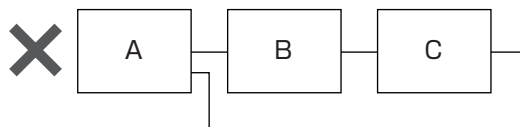
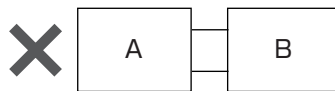
もし、i.LINK 端子を３つ以上搭載する機器があれば、途中で分岐接続を行なえます。

A～F : i.LINK対応機器
B, C : i.LINK端子が3つ以上ある機器

- i.LINK 接続は本機を含めて 63 台まで接続可能です。ただし分岐接続の場合は最長経路で 17 台まで接続できます。
- パソコンや一部の機器では、電源が切られているとデータを中継しない場合があります。
  また、本機のメニューの「モード選択ー機能設定ーディスプレイオフ」を「表示しない」(☞115ページ）にしているときも、データを中継しません。
  接続機器の取扱説明書もお読みください。
- 本機のｉ.ＬＩＮＫ 端子の最大データ転送速度は 200Mbps（1 秒間に約 200M ビット）です。最大データ転送速度は、転送速度の異なる機器を接続した場合や、仕様により、転送速度が遅くなる場合があります。
- i.LINK コードは、S200 または S400 と表示された4ピンのコードを使用してください。S100は使用しないでください。

i.LINK の接続例について

正しい接続例と悪い接続例を記します。デジタル信号は接続したすべての機器に流れます。デジタル信号を出力した機器に信号が戻らないように、接続します。決して接続がループ（輪）にならないようにしてください。

正しい接続（A～D : i.LINK対応機器）
接続がループしていません。

悪い接続（A～D : i.LINK対応機器）
接続がループになっています。

その他

区点コード一覧表

タイトルを入力するときにお使いください。

- 区、点の数字の小さい順に、あいうえお順で配列されています。
- 区点コード表の文字とテレビ画面の文字は多少異なることがあります。
- 　　部分は、記号や文字はありません。
- 本機で表示できる文字は、JISコード第1水準、第2水準および、一部の記号や文字に対応しています。それ以外の文字には対応していません。

区＼点	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
01		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々
02	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	＝	′	″	⁑	⁂	〳	〴	〵	〻	〼	ヿ	ゟ
03	▷	▶	◁	◀	↗	↘	↖	↙	⇄	⇨	⇦	⇧	⇩	⤴	⤵	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
04	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す
05	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス
06	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	⓵
07	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч
08	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨
09	€		¡	¤	¦	©	ª	«		®	¯	²	³	·	¸	¹	º	»	¼	½	¾	¿	À	Á	Â
10	Ą	˘	Ł	Ľ	Ś	Š	Ş	Ť	Ź	Ž	Ż	ą	˛	ł	ľ	ś	ˇ	š	ş	ť	ź	˝	ž	ż	Ŕ
11	ʡ	ɦ	ʘ	ǂ	ɓ	ɗ	ʄ	ɠ	ʛ	œ	Œ	ɨ	ʉ	ɘ	ɵ	ə	ɜ	ɞ	ɐ	ɯ	ʊ	ɤ	ʌ	ɔ	ɑ
12	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽	❾	❿	⓫	⓬	⓭	⓮	⓯	⓰	⓱	⓲	⓳	⓴	ⅰ	ⅱ	ⅲ	ⅳ	ⅴ
13	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
14																									
15																									
16	亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐
17	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩
18	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温
19	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街
20	粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換
21	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜
22	供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭
23	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾
24	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦
25	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更
26	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差
27	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊
28	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執
29	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜
30	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷
31	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森
32	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛
33	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌
34	臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫
35	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛
36	帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長
37	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店
38	董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴
39	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢
40	函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙

点

区	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
01	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈
02	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	⊄	⊅	⊊	⊋	∉	∅	⌅	⌆	∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	⊕	⊖
03	⦿	◉	〽	﹆	﹅	◦	•	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ
04	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ
05	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ
06	⓶	⓷	⓸	⓹	⓺	⓻	⓼	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ
07	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	⎾	⎿	⏀	⏁	⏂	⏃	⏄	⏅	⏆	⏇	⏈	⏉	⏊	⏋	⏌	а	б
08	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳
09	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï	Ð	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	Ø	Ù	Ú	Û	Ü
10	Ă	Ĺ	Ć	Č	Ę	Ě	Ď	Ń	Ň	Ő	Ř	Ů	Ű	Ţ	ŕ	ă	ĺ	ć	č	ę	ě	ď	đ	ń	ň
11	ɒ	ʍ	ɥ	ʢ	ʡ	ɕ	ʑ	ɺ	ɧ	ɚ	æ̀	ǽ	ɑ̀	ɑ́	ɔ̀	ɔ́	ʌ̀	ʌ́	ə̀	ə́	ɚ̀	ɚ́	ɛ̀	ɛ́	⁀
12	ⅵ	ⅶ	ⅷ	ⅸ	ⅹ	ⅺ	ⅻ	ⓐ	ⓑ	ⓒ	ⓓ	ⓔ	ⓕ	ⓖ	ⓗ	ⓘ	ⓙ	ⓚ	ⓛ	ⓜ	ⓝ	ⓞ	ⓟ	ⓠ	ⓡ
13	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	Ⅺ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞
14																									
15																									
16	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威
17	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛
18	穏	音	下	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍
19	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫
20	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌
21	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客
22	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾
23	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋
24	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊
25	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航
26	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災
27	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子
28	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社
29	什	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述
30	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹
31	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋
32	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍
33	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉
34	尊	損	村	遜	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱
35	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智
36	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬
37	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭
38	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅
39	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝
40	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒

区点コード一覧表（つづき）

区＼点	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75
01	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	−	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°
02	⊗	⫽	⫻	⦅	⦆	〘	〙	〚	〛	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	≢
03	S	T	U	V	W	X	Y	Z	∓	ℵ	ℏ	㏋	ℓ	℧	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
04	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る
05	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル
06	τ	υ	ϕ	χ	ψ	ω	ς	⓵	⓶	⓷	⓸	⓹	⓺	⓻	⓼	⓽	⓾	☖	☗	〠	☎	☀	☁	☂	☃
07	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ
08	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	RSV	RSV	RSV	RSV	RSV	RSV	RSV	RSV	◐	◑	◒	◓	‼
09	Ý	Þ	ß	à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î	ï	ð	ñ	ò	ó	ô	õ
10	ő	ř	ů	ű	ţ	˙	Ĉ	Ĝ	Ĥ	Ĵ	Ŝ	Ŭ	ĉ	ĝ	ĥ	ĵ	ŝ	ŭ	ɱ	ʋ	ɾ	ʃ	ʒ	ɬ	ɮ
11	ˈ	ˌ	ː	ˑ	˘	‿	˝	ˊ	ˉ	ˋ	˵	ˇ	ˆ	˥	˦	˧	˨	˩	˩˥	˥˩	˳	̬	˒	˓	˖
12	ⓢ	ⓣ	ⓤ	ⓥ	ⓦ	ⓧ	ⓨ	ⓩ	㋐	㋑	㋒	㋓	㋔	㋕	㋖	㋗	㋘	㋙	㋚	㋛	㋜	㋝	㋞	㋟	㋠
13	㎎	㎏	㏄	㎡	Ⅻ								㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲
14																									
15																									
16	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯
17	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔
18	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾
19	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛
20	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企
21	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給
22	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩
23	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結
24	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁
25	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪
26	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼
27	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視
28	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱
29	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑
30	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城
31	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂
32	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣
33	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓
34	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹
35	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼
36	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝
37	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭
38	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴
39	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩
40	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘

区	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
01	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
02	≃	≅	≈	⋚	⋛	↔	Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶	♮	♫	♬	♩	○
03	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	＝	一	‖	⫴
04	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん	ゔ	ゕ	ゖ	か゚	き゚	く゚	け゚	こ゚	RSV	RSV	RSV
05	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ	カ゚	キ゚	ク゚	ケ゚	コ゚	セ゚	ツ゚	ト゚
06	☞	⌬	ㇰ	ㇱ	ㇲ	ㇳ	ㇴ	ㇵ	ㇶ	ㇷ	ㇸ	ㇹ	ㇷ゚	ㇺ	ㇻ	ㇼ	ㇽ	ㇾ	ㇿ
07	ъ	ы	ь	э	ю	я	ヷ	ヸ	ヹ	ヺ	⪋	⪌	⅓	⅔	⅕	✓	⌘	␣	⏎
08	⁇	⁈	⁉	Ǎ	ǎ	ǐ	Ḿ	ḿ	Ǹ	ǹ	Ǒ	ǒ	ǔ	ǖ	ǘ	ǚ	ǜ	RSV	RSV
09	ö	ø	ù	ú	û	ü	ý	þ	ÿ	Ā	Ī	Ū	Ē	Ō	ā	ī	ū	ē	ō
10	ɹ	ʈ	ɖ	ɳ	ɽ	ʂ	ʐ	ɻ	ɭ	ɟ	ɲ	ʝ	ʎ	ɡ	ŋ	ɰ	ʁ	ħ	ʕ
11	ˍ	¨	×	ˌ	⌢	˞	¨	˜	˜	˜	˔	˕	⊣	⊢	⌐	˽	▫	˜	˥
12	㋡	㋢	㋣	㋺	㋩	㋥	㋭	㋬	RSV	RSV	RSV	RSV	RSV	RSV	RSV	RSV	RSV	⁑	⁂
13	㈹	㍾	㍽	㍼	RSV	RSV	RSV	§	RSV	RSV	RSV	RSV	∟	⊿	RSV	RSV	RSV	❖	☞
14																			
15																			
16	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
17	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
18	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
19	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
20	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
21	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
22	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
23	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
24	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
25	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
26	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
27	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
28	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
29	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
30	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
31	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
32	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
33	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
34	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
35	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
36	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
37	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
38	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
39	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
40	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美

区点コード一覧表（つづき）

区＼点	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
41	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷
42	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞
43	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽
44	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡
45	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵
46	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅
47	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋
48	弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶
49	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿
50	辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚
51	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸
52	圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤
53	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢
54	屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭
55	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭
56	悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺
57	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗
58	據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅
59	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞
60	棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾
61	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜
62	沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤
63	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆
64	燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢
65	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊
66	癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥
67	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮
68	筐	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙
69	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛
70	罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚
71	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵
72	茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵
73	蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕
74	蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾
75	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜
76	譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺
77	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪
78	遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱
79	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐
80	陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍
81	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽
82	髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃
83	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙
84	堯	槇	遙	瑤	凜	熙																			

区＼点	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
41	漂	瓢	票	表	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏
42	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片
43	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧
44	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟
45	雄	融	夕	予	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯
46	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘
47	郎	六	麓	禄	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗
48	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑
49	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫
50	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰
51	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔
52	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟
53	婁	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀
54	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢
55	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠
56	愃	惚	惻	惱	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴
57	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍
58	攤	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷
59	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢
60	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧
61	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯
62	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙
63	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲
64	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎
65	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃
66	盧	盪	蘯	盻	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎
67	穰	禹	禺	秉	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢
68	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟
69	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡
70	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙
71	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍
72	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻
73	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋
74	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵
75	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨
76	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻
77	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌
78	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪
79	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷
80	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤
81	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲
82	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔
83	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭
84	彅																								

その他

区点コード一覧表(つづき)

区＼点	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75
41	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴
42	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮
43	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕
44	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜
45	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷
46	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴
47	腕																								
48	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬
49	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹
50	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎
51	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥
52	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐
53	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞
54	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃
55	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚
56	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺
57	搜	揑	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴
58	旆	旃	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞
59	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛
60	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣
61	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂
62	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄
63	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖
64	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺
65	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠
66	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅
67	穩	穐	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站
68	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳
69	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼
70	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓
71	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫
72	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚
73	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍
74	衽	衵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨
75	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡
76	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌
77	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢
78	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉
79	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	門	閇	閊	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍
80	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜
81	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪
82	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬
83	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡
84																									

区 \ 点	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
41	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
42	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
43	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
44	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
45	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
46	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
47																			
48	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
49	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
50	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
51	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
52	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
53	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
54	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
55	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
56	懋	懌	懍	懐	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
57	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
58	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
59	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
60	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
61	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
62	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
63	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
64	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
65	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
66	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
67	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
68	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
69	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
70	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
71	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
72	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
73	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
74	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
75	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
76	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
77	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
78	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
79	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
80	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
81	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
82	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
83	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
84																			

その他

主な仕様

- **電源** .... AC100 V 50/60 Hz
- **消費電力** .... 55 W（BSアンテナ電源使用時 62W）

待機時消費電力*	11.2 W
待機時消費電力:時刻表示点灯時	13.0 W
待機時消費電力:時刻表示消灯時	4.0 W

*省エネ法に定める待機時消費電力です。

- **外形寸法** .... 455 mm x 105 mm x 385 mm（幅×高さ×奥行き）
- **質量** .... 6.1 kg
- **許容動作温度** .... ＋5℃ ～ ＋40℃
- **許容相対湿度** .... 35 %～80 %
- **許容保存温度** .... －20 ℃ ～ ＋60 ℃
- **使用カセット** .... D-VHS、S-VHS、VHS マークのついたビデオカセット

ビデオ（映像）/オーディオ（音声）【D-VHS】

- **ヘッド数** 5個:デジタル用 4個:映像用 2個:Hi-Fi音声用
- **フォーマット** .... D-VHS方式(MTP) MPEG2 HS/STD/LS3モード
  音声方式−エンコード
  MPEG1 レイヤー2
  量子化16bit サンプリング周波数48kHz
  音声方式−デコード
  MPEG1 レイヤー2/MPEG2AAC/Dolby Digital
- **トラック構成** .... テープスピード HSモード 33.4 mm/sec
  STDモード:16.67 mm/sec
  LS3モード:5.55 mm/sec
  ヘッドアジマス ± 30°
  ドラム回転数 1800 rpm
  トラッキング方式 CTLトラック方式
- **記録仕様** .... メインデータ入力レート 28.2 Mbps (HS)
  14.1Mbps(STD)
  4.7Mbps(LS3)
- **インターフェース** IEEE1394デジタルインターフェース準拠
  DTCPデジタルコピープロテクション対応

ビデオ（映像）【S-VHS】

- **録画・再生方式** 回転2ヘッドヘリカルスキャン輝度信号FM方式
  色信号低域変換直接記録方式
- **映像信号** .... NTSC 日米標準信号

ハイファイオーディオ（音声）【VHS】

- **録音方式** .... VHSステレオハイファイ方式
- **周波数特性** .... 20 Hz ～ 20 kHz
- **ダイナミックレンジ** .... 90 dB以上
- **ワウ・フラッター** .... 0.005 %以下
- **チャンネルセパレーション** .... 60 dB以上

ノーマルオーディオ（音声）【VHS】

- **録音方式** .... リニアトラック
- **音声トラック** .... 1チャンネル（モノラル）

チューナー（テレビ受信）

- **受信方式** .... 周波数シンセサイザー方式
- **音声多重受信方式** .... インターキャリア方式
- **受信チャンネル** .... VHF 1 ～ 12チャンネル
  UHF 13 ～ 62チャンネル
  BS 1,3,5,7,9,11,13,15チャンネル
  CATV C13(63)～C63(113)チャンネル

タイマー（タイマー予約・時計）

- **タイマー予約** 1年間24番組予約
- **時計** .... 12時間（午前・午後）方式
- **停電補償時間** 約60分

接続端子

- **アンテナ** .... 75 Ω F型コネクター
  VHF/UHF一軸
- **BSアンテナ** .... 75 Ω F型コネクター
  アンテナ電源出力 DC15V 最大4W
- **BS-IF出力** .... 75 Ω F型コネクター
- **S映像** .... 入力 Y p-p : 0.8 ～ 1.2 V 75 Ω
  C p-p : 0.2 ～ 0.4 V 75 Ω
  出力 Y p-p : 1.0 V 75 Ω
  C p-p : 0.29 V 75 Ω
- **映像** .... 入力 p-p : 0.5～2.0 V 75 Ω（ピンジャック）
  出力 p-p : 1.0 V 75 Ω（ピンジャック）
- **音声** .... 入力－8 dBs 50 kΩ（ピンジャック）
  モノ（左）対応
  出力 －8 dBs 1kΩ（ピンジャック）
- **i.LINK** 4ピン S200
  MPEG2入/出力用、DV入力用
- **D1/D2/D3/D4映像出力** .. Y p-p : 1.0 V 75 Ω
  Cb/Cr、P_B/P_R p-p : 0.7 V 75 Ω
  D4/D3/D1からメニュー選択
  コピープロテクション対応
- **検波入／出力** .... p-p : 0.67 V 75 Ω（ピンジャック）
- **ビットストリーム入／出力** .... p-p : 0.5 V 75 Ω（ピンジャック）
- **リモートポーズ／AVコンピュリンクⅡ** .... ビクタービデオムービー・デッキとの編集用
- **JLIP** .... φ 3.5 mm
- **光デジタル音声出力** .... －18 dbm、660 nm
  MPEG2 AAC・Dolby Digital
  ビットストリーム
  ダイレクト/2CH PCM変換からメニュー選択

テープ走行

- **早送り/巻戻し時間** .... D-VHS：約1分40秒（DF-300テープ使用時）
  VHS ：約1分20秒（T-120テープ使用時）

テープによっては早送り/巻戻しに時間がかかる場合があります。

- CATVチャンネル対応表

送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示
C13	63	C30	80	C47	97
C14	64	C31	81	C48	98
C15	65	C32	82	C49	99
C16	66	C33	83	C50	100
C17	67	C34	84	C51	101
C18	68	C35	85	C52	102
C19	69	C36	86	C53	103
C20	70	C37	87	C54	104
C21	71	C38	88	C55	105
C22	72	C39	89	C56	106
C23	73	C40	90	C57	107
C24	74	C41	91	C58	108
C25	75	C42	92	C59	109
C26	76	C43	93	C60	110
C27	77	C44	94	C61	111
C28	78	C45	95	C62	112
C29	79	C46	96	C63	113

（単位：mm）

- 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このビデオは日本国内のみ使用できます。
  外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
  This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 本商品は「外国為替および外国貿易法」で定められた規制貨物に該当します。本商品を国外へ持ち出すときは日本国政府の許可が必要です。

索引

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング**	本製品についての技術的なお問い合わせは **ビデオ事業部**
138～139ページをご覧ください。	☎(045)450-2550

お買い物情報や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**	
東京 ☎(03) 5684-9311 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル	**大阪** ☎(06) 6765-4161 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

ホームAVネットワークビジネスユニット
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

0201MNV＊SW＊VP